

はじめに

あなたは、次の言葉について知っていますか。

【①～④について、それぞれあてはまる数字1つに○】

	① 男女共同参画社会				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	359	314	44	22	739
全体 (%)	48.6	42.5	6.0	3.0	100.0
前回 (%)	44.6	44.3	6.9	4.2	
女性人数	207	179	25	14	425
女性 (%)	48.7	42.1	5.9	3.3	100.0
前回 (%)	43.5	46.2	7.5	2.7	
男性人数	148	135	19	7	309
男性 (%)	47.9	43.7	6.1	2.3	100.0
前回 (%)	45.9	41.8	6.2	6.2	
女性 18・19 歳	3	7	1	1	12
20 代	14	17	1	2	34
30 代	29	28	3	2	62
40 代	32	35	11	1	79
50 代	50	23	5	2	80
60 代	58	41	4	3	106
70 代	15	21	0	1	37
80 歳以上	6	7	0	2	15
男性 18・19 歳	1	4	0	0	5
20 代	9	12	2	0	23
30 代	18	18	5	1	42
40 代	24	22	2	1	49
50 代	27	23	5	4	59
60 代	49	31	4	0	84
70 代	15	19	1	0	35
80 歳以上	5	6	0	1	12

	② ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	366	211	137	25	739
全体 (%)	49.5	28.6	18.5	3.4	100.0
前回 (%)	42.5	35.5	17.5	4.5	
女性人数	216	118	74	17	425
女性 (%)	50.8	27.8	17.4	4.0	100.0
前回 (%)	43.0	36.0	17.7	3.2	
男性人数	147	93	62	7	309
男性 (%)	47.6	30.1	20.1	2.3	100.0
前回 (%)	41.8	34.9	17.1	6.2	
女性 18・19 歳	8	1	2	1	12
20 代	19	8	5	2	34
30 代	37	15	8	2	62
40 代	46	16	16	1	79
50 代	49	19	10	2	80
60 代	47	39	16	4	106
70 代	8	17	9	3	37
80 歳以上	2	3	8	2	15
男性 18・19 歳	4	0	1	0	5
20 代	10	11	2	0	23
30 代	23	9	9	1	42
40 代	25	18	5	1	49
50 代	29	16	10	4	59
60 代	42	23	19	0	84
70 代	9	14	12	0	35
80 歳以上	5	2	4	1	12

	③ 固定的な性別役割分担意識				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	307	192	211	29	739
全体 (%)	41.5	26.0	28.6	3.9	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性人数	181	104	121	19	425
女性 (%)	42.6	24.5	28.5	4.5	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
男性人数	122	88	90	9	309
男性 (%)	39.5	28.5	29.1	2.9	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性 18・19 歳	5	1	5	1	12
20 代	11	8	13	2	34
30 代	27	14	19	2	62
40 代	30	20	26	3	79
50 代	41	17	20	2	80
60 代	46	31	24	5	106
70 代	15	8	12	2	37
80 歳以上	6	5	2	2	15
男性 18・19 歳	1	1	2	1	5
20 代	7	4	12	0	23
30 代	18	12	11	1	42
40 代	21	15	12	1	49
50 代	25	17	13	4	59
60 代	35	22	27	0	84
70 代	12	10	12	1	35
80 歳以上	3	7	1	1	12

	④ アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	153	142	419	25	739
全体 (%)	20.7	19.2	56.7	3.4	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性人数	88	77	244	16	425
女性 (%)	20.7	18.1	57.4	3.8	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
男性人数	62	65	174	8	309
男性 (%)	20.1	21.0	56.3	2.6	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性 18・19 歳	4	0	7	1	12
20 代	9	5	18	2	34
30 代	13	10	37	2	62
40 代	18	13	47	1	79
50 代	20	14	44	2	80
60 代	18	27	58	3	106
70 代	4	7	23	3	37
80 歳以上	2	1	10	2	15
男性 18・19 歳	0	1	4	0	5
20 代	8	5	9	1	23
30 代	12	3	26	1	42
40 代	16	13	19	1	49
50 代	13	14	28	4	59
60 代	9	18	57	0	84
70 代	3	8	24	0	35
80 歳以上	1	3	7	1	12

	⑤ SOGI (性的指向・性自認)				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	113	176	427	23	739
全体 (%)	15.3	23.8	57.8	3.1	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性人数	65	93	252	15	425
女性 (%)	15.3	21.9	59.3	3.5	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
男性人数	45	83	174	7	309
男性 (%)	14.6	26.9	56.3	2.3	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性 18・19 歳	1	2	8	1	12
20 代	7	5	20	2	34
30 代	10	12	38	2	62
40 代	13	19	46	1	79
50 代	16	14	48	2	80
60 代	15	30	58	3	106
70 代	3	10	22	2	37
80 歳以上	0	1	12	2	15
男性 18・19 歳	0	3	2	0	5
20 代	4	7	12	0	23
30 代	9	7	25	1	42
40 代	11	12	25	1	49
50 代	8	17	30	4	59
60 代	9	23	52	0	84
70 代	4	10	21	0	35
80 歳以上	0	4	7	1	12

	⑥ LGBT/LGBTs				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	429	205	82	23	739
全体 (%)	58.1	27.7	11.1	3.1	100.0
前回 (%)	47.3	36.7	12.0	3.9	
女性人数	253	110	47	15	425
女性 (%)	59.5	25.9	11.1	3.5	100.0
前回 (%)	47.8	37.6	11.8	2.7	
男性人数	172	95	35	7	309
男性 (%)	55.7	30.7	11.3	2.3	100.0
前回 (%)	46.6	35.6	12.3	5.5	
女性 18・19 歳	11	0	0	1	12
20 代	23	6	3	2	34
30 代	44	10	6	2	62
40 代	56	16	6	1	79
50 代	54	18	6	2	80
60 代	52	39	12	3	106
70 代	11	16	8	2	37
80 歳以上	2	5	6	2	15
男性 18・19 歳	4	1	0	0	5
20 代	13	9	1	0	23
30 代	27	11	3	1	42
40 代	33	11	4	1	49
50 代	32	19	4	4	59
60 代	48	26	10	0	84
70 代	10	17	8	0	35
80 歳以上	5	1	5	1	12

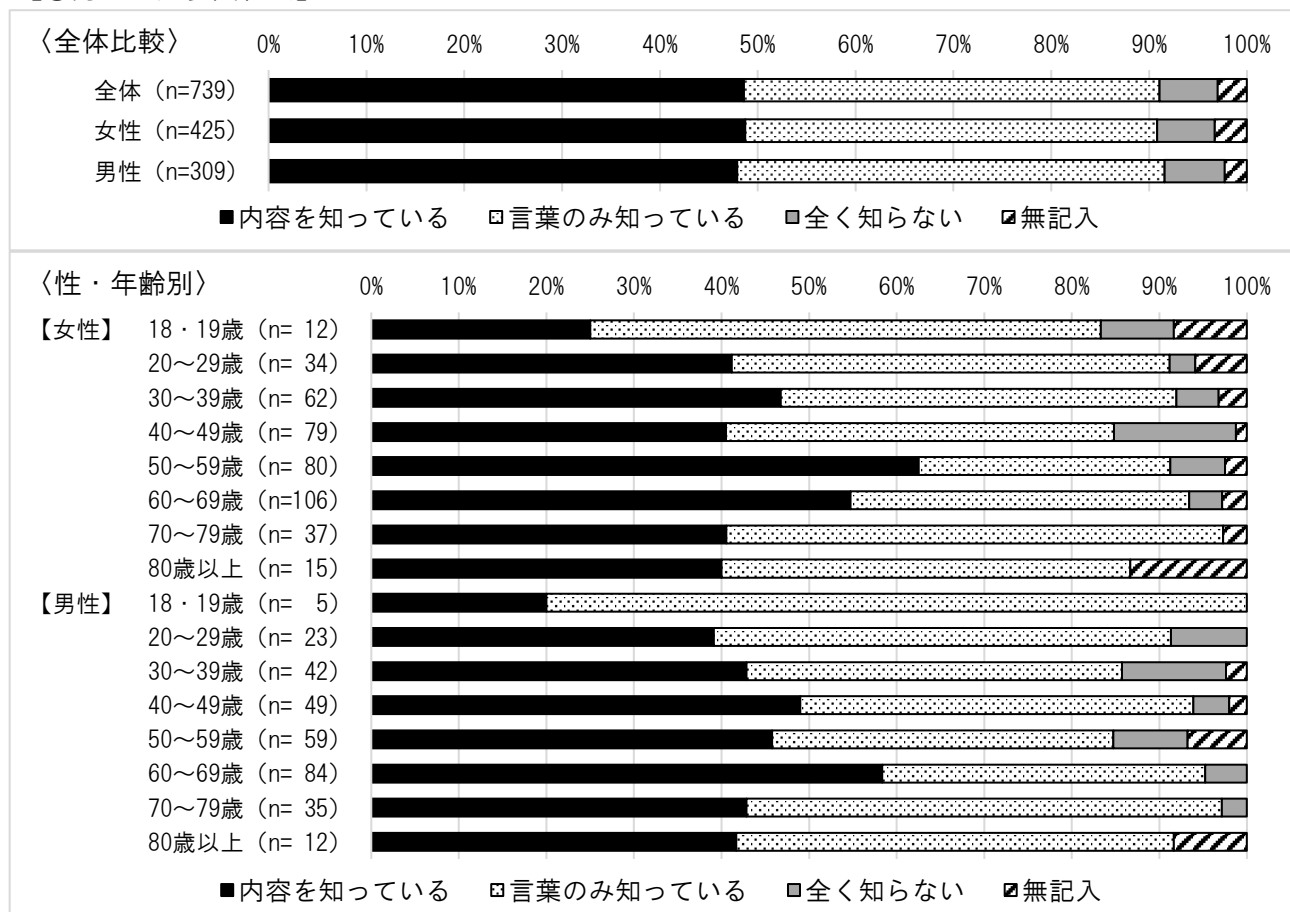
	⑦ とっとり安心ファミリーシップ制度				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	56	130	528	25	739
全体 (%)	7.6	17.6	71.4	3.4	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性人数	30	81	298	16	425
女性 (%)	7.1	19.1	70.1	3.8	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
男性人数	24	49	228	8	309.0
男性 (%)	7.8	15.9	73.8	2.6	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性 18・19 歳	0	1	10	1	12
20 代	1	5	26	2	34
30 代	2	10	48	2	62
40 代	4	14	60	1	79
50 代	14	8	56	2	80
60 代	6	30	66	4	106
70 代	3	12	20	2	37
80 歳以上	0	1	12	2	15
男性 18・19 歳	0	0	5	0	5
20 代	2	2	19	0	23
30 代	3	7	31	1	42
40 代	5	8	35	1	49
50 代	5	7	43	4	59
60 代	6	16	62	0	84
70 代	2	7	25	1	35
80 歳以上	1	2	8	1	12

	⑧ 鳥取県男女共同参画推進企業				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	196	274	245	24	739
全体 (%)	26.5	37.1	33.2	3.2	100.0
前回 (%)	21.7	44.3	29.8	4.2	
女性人数	117	156	136	16	425
女性 (%)	27.5	36.7	32.0	3.8	100.0
前回 (%)	22.6	46.2	28.0	3.2	
男性人数	78	117	107	7	309
男性 (%)	25.2	37.9	34.6	2.3	100.0
前回 (%)	20.5	41.8	32.2	5.5	
女性 18・19 歳	2	0	9	1	12
20 代	4	13	15	2	34
30 代	12	20	28	2	62
40 代	16	32	30	1	79
50 代	37	20	21	2	80
60 代	28	49	25	4	106
70 代	13	16	6	2	37
80 歳以上	5	6	2	2	15
男性 18・19 歳	0	1	4	0	5
20 代	5	7	11	0	23
30 代	7	11	23	1	42
40 代	16	14	18	1	49
50 代	14	30	11	4	59
60 代	26	29	29	0	84
70 代	7	19	9	0	35
80 歳以上	3	6	2	1	12

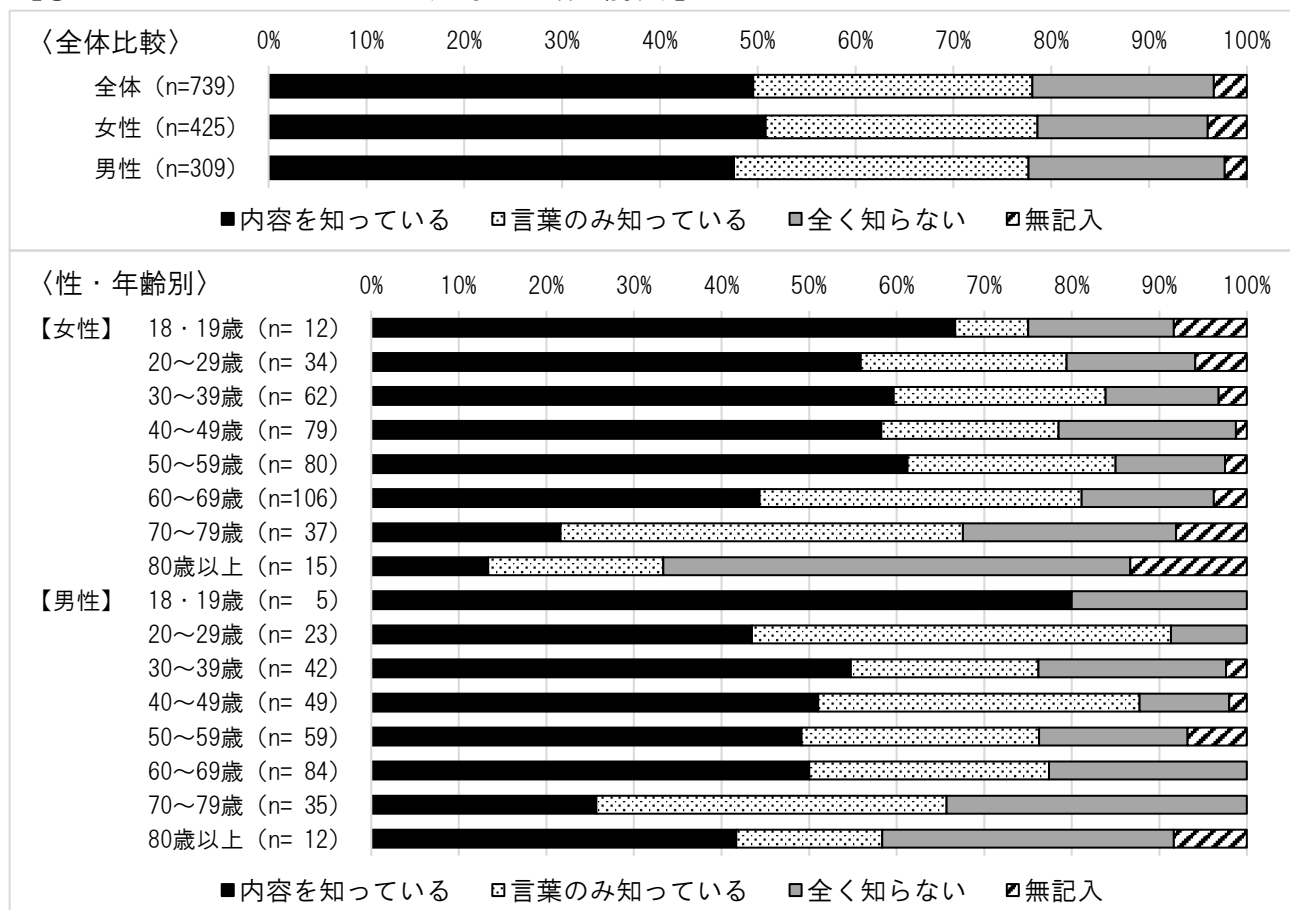
	⑨ 家族経営協定				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	51	127	531	30	739
全体 (%)	6.9	17.2	71.9	4.1	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性人数	31	69	304	21	425
女性 (%)	7.3	16.2	71.5	4.9	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
男性人数	20	58	223	8	309
男性 (%)	6.5	18.8	72.2	2.6	100.0
前回 (%)	-	-	-	-	
女性 18・19 歳	0	1	10	1	12
20 代	1	3	28	2	34
30 代	4	6	48	4	62
40 代	3	10	64	2	79
50 代	6	8	64	2	80
60 代	12	23	67	4	106
70 代	4	13	17	3	37
80 歳以上	1	5	6	3	15
男性 18・19 歳	0	0	5	0	5
20 代	0	6	17	0	23
30 代	3	5	33	1	42
40 代	2	11	35	1	49
50 代	1	12	42	4	59
60 代	8	16	60	0	84
70 代	4	5	25	1	35
80 歳以上	2	3	6	1	12

	⑩ デートＤＶ				
	内容を知っている	言葉のみ知っている	全く知らない	無記入	合計
全体人数	353	173	189	24	739
全体 (%)	47.8	23.4	25.6	3.2	100.0
前回 (%)	36.7	27.4	31.6	4.2	
女性人数	229	90	90	16	425
女性 (%)	53.9	21.2	21.2	3.8	100.0
前回 (%)	39.8	28.0	29.6	2.7	
男性人数	120	83	99	7	309
男性 (%)	38.8	26.9	32.0	2.3	100.0
前回 (%)	32.9	26.7	34.2	6.2	
女性 18・19 歳	7	1	3	1	12
20 代	25	4	3	2	34
30 代	36	13	11	2	62
40 代	50	14	14	1	79
50 代	49	18	11	2	80
60 代	52	23	27	4	106
70 代	7	12	16	2	37
80 歳以上	3	5	5	2	15
男性 18・19 歳	4	0	1	0	5
20 代	10	7	6	0	23
30 代	17	13	11	1	42
40 代	27	12	9	1	49
50 代	21	13	21	4	59
60 代	32	19	33	0	84
70 代	6	15	14	0	35
80 歳以上	3	4	4	1	12

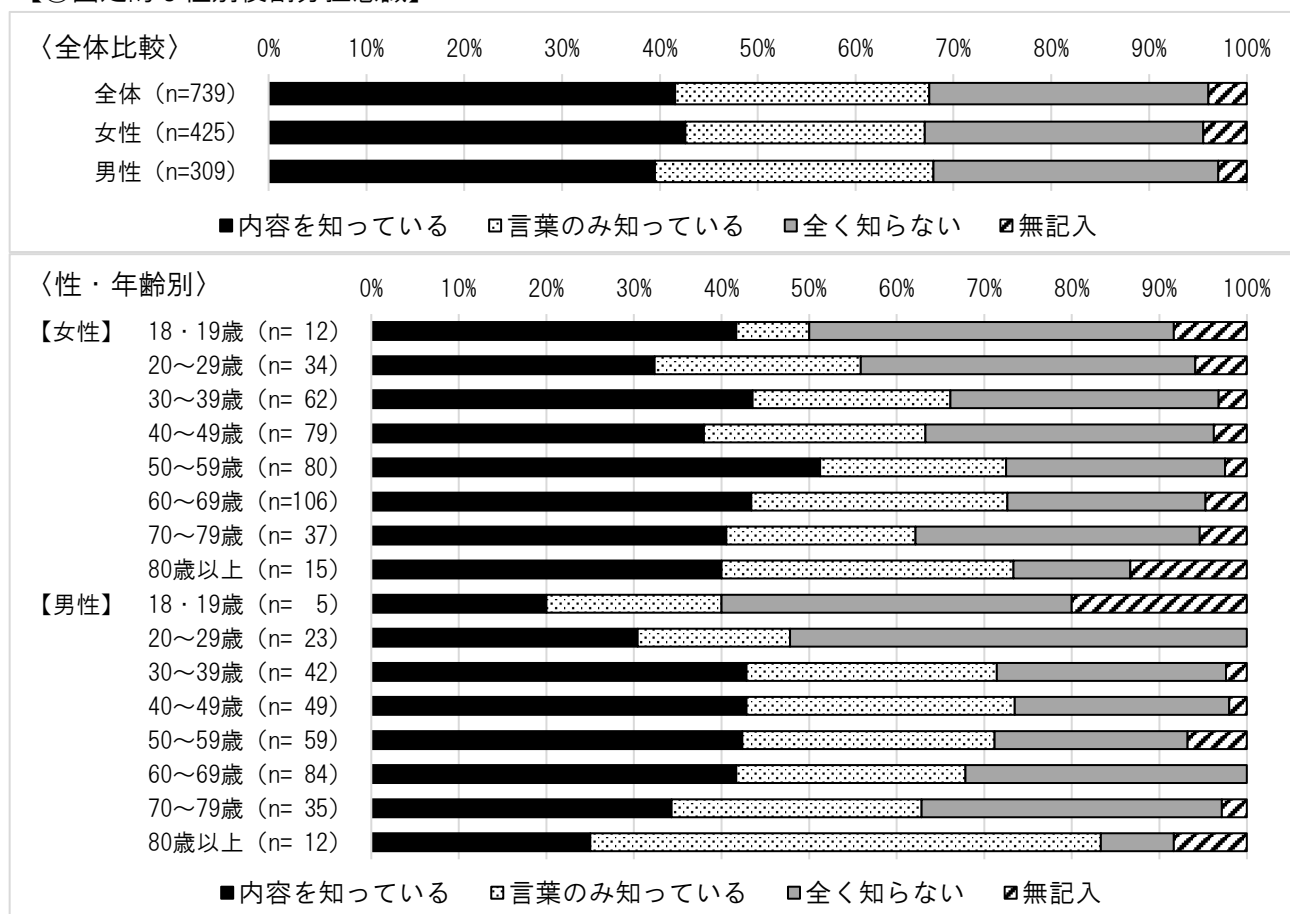
【①男女共同参画社会】



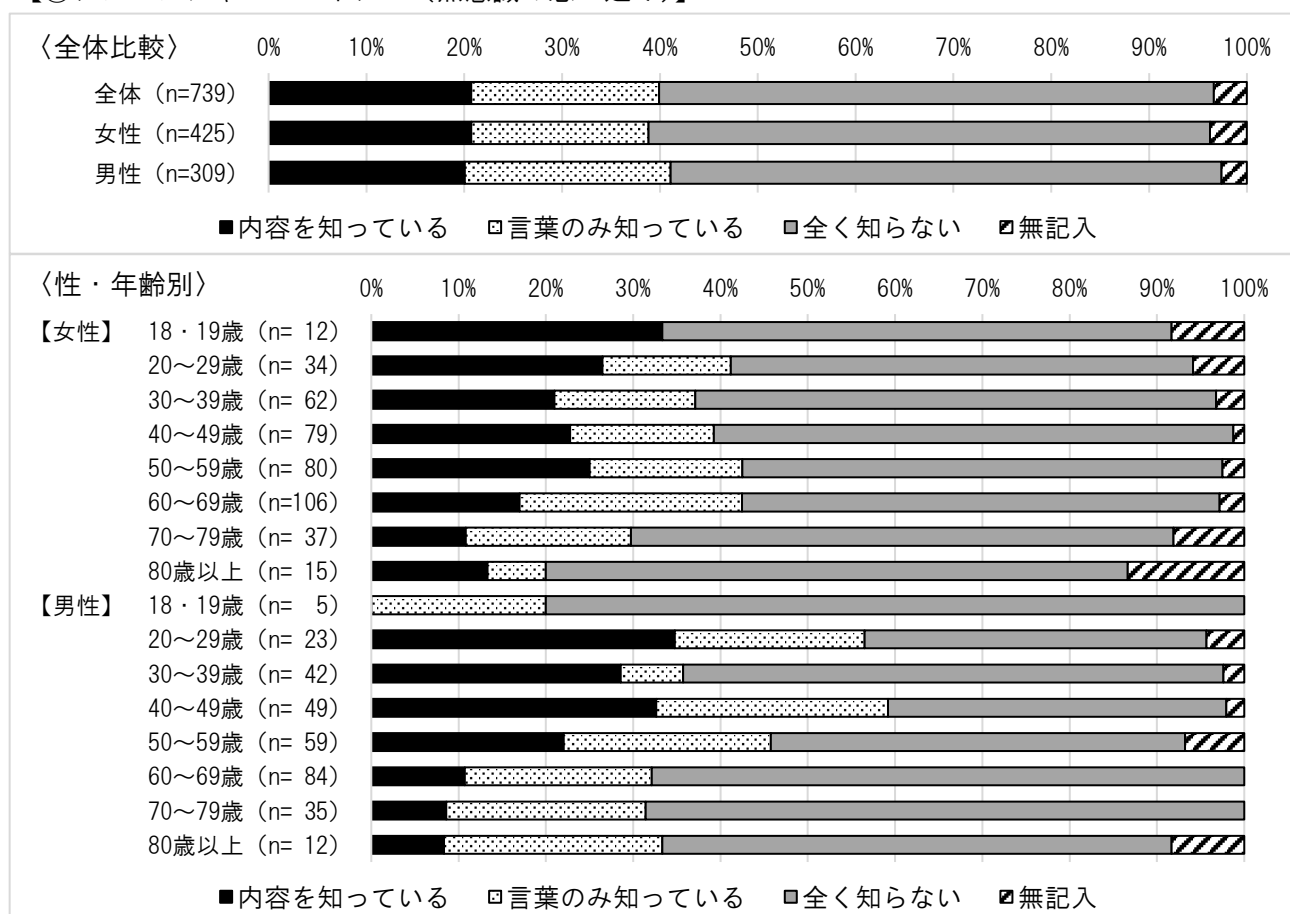
【②ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】



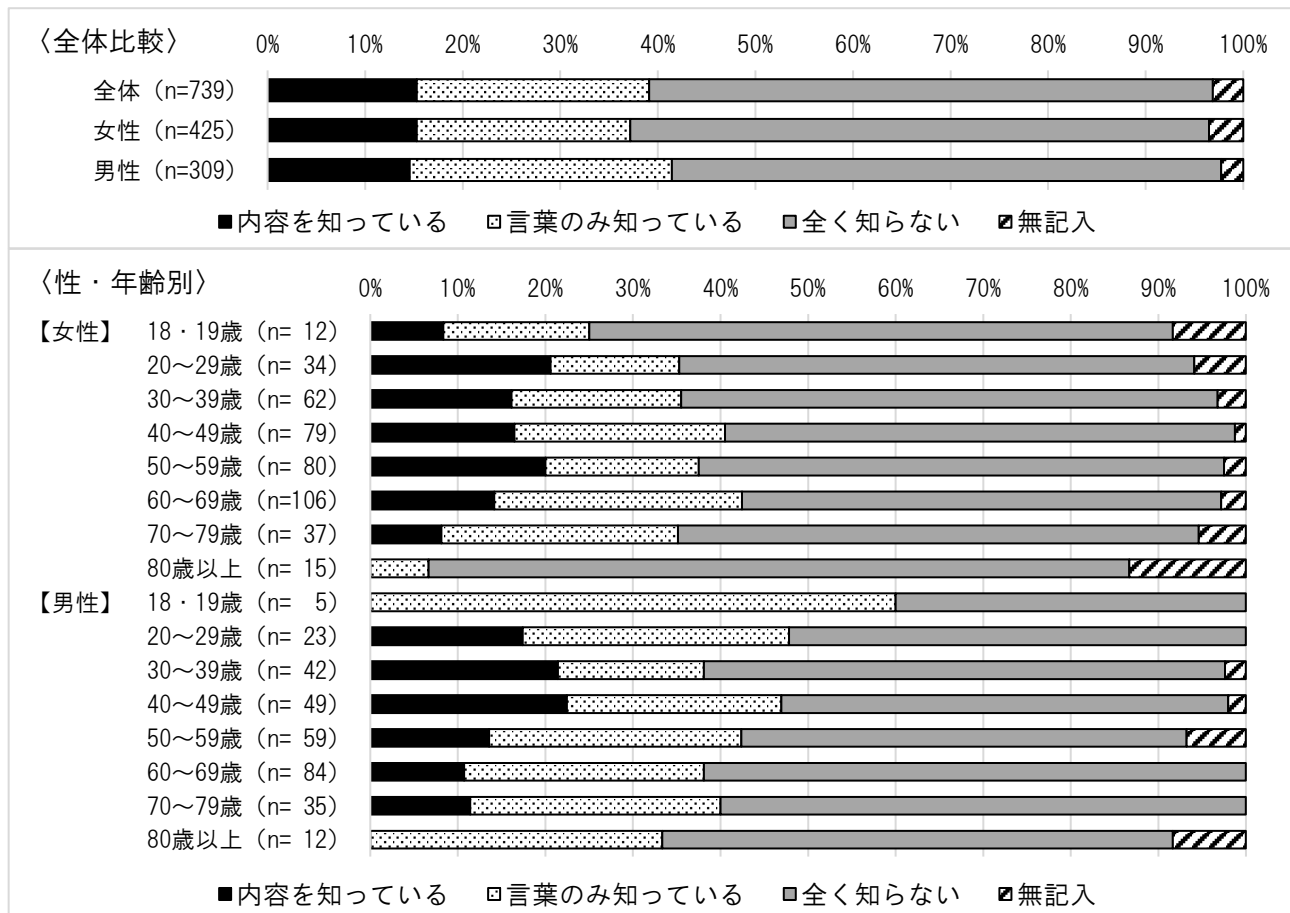
【③固定的な性別役割分担意識】



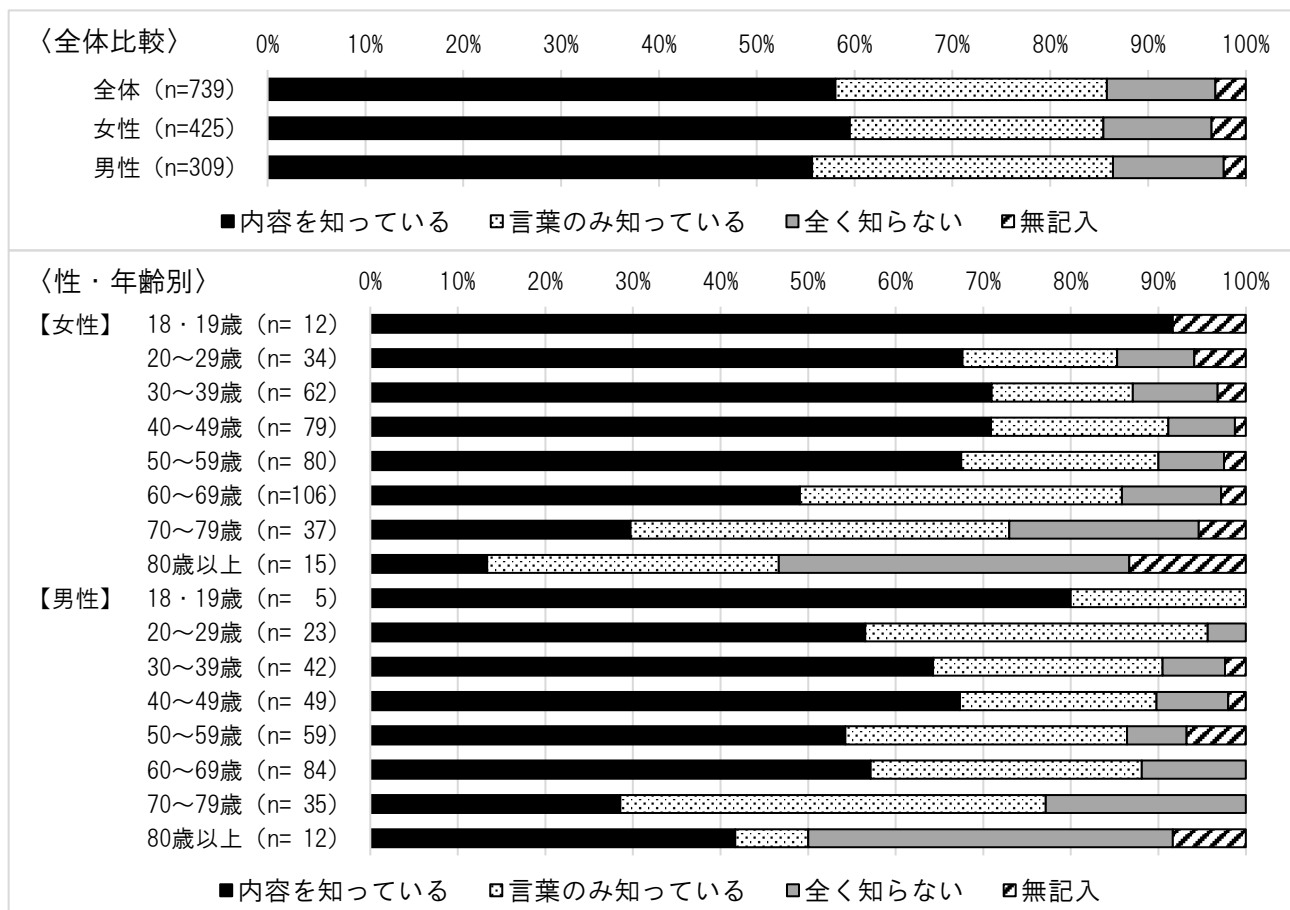
【④アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）】



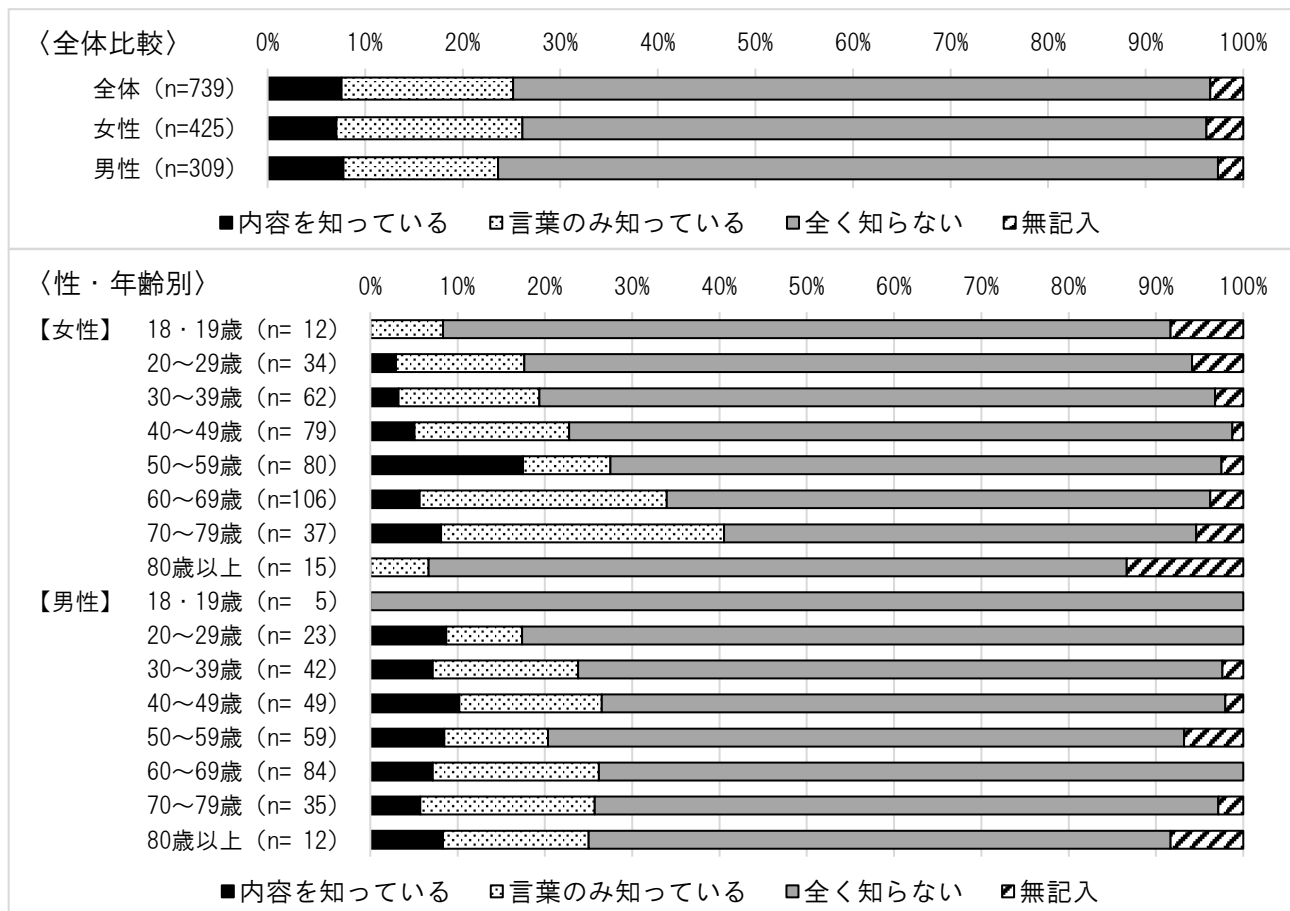
【⑤ S O G I（性的指向・性自認）】



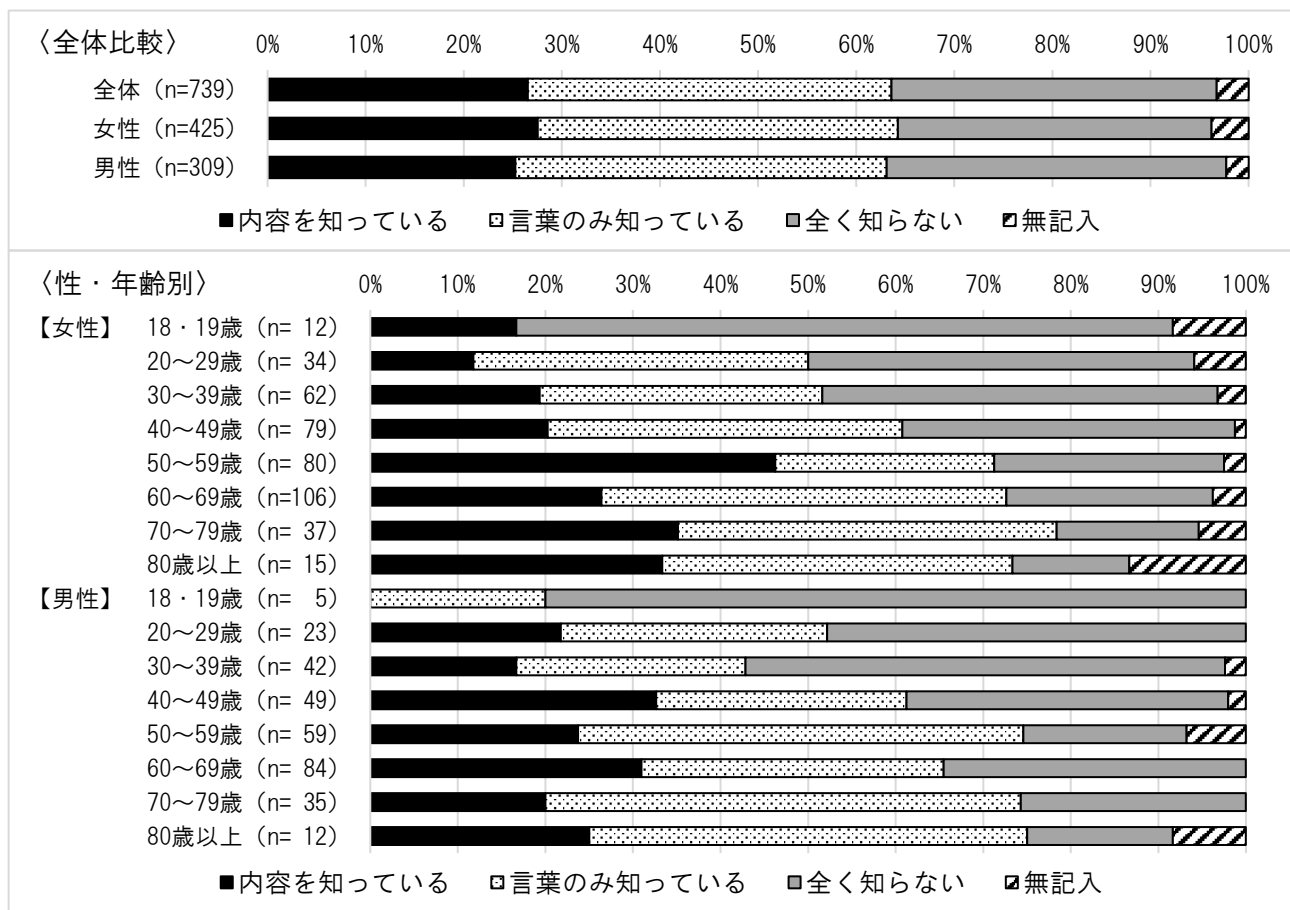
【⑥ L G B T／L G B T s】



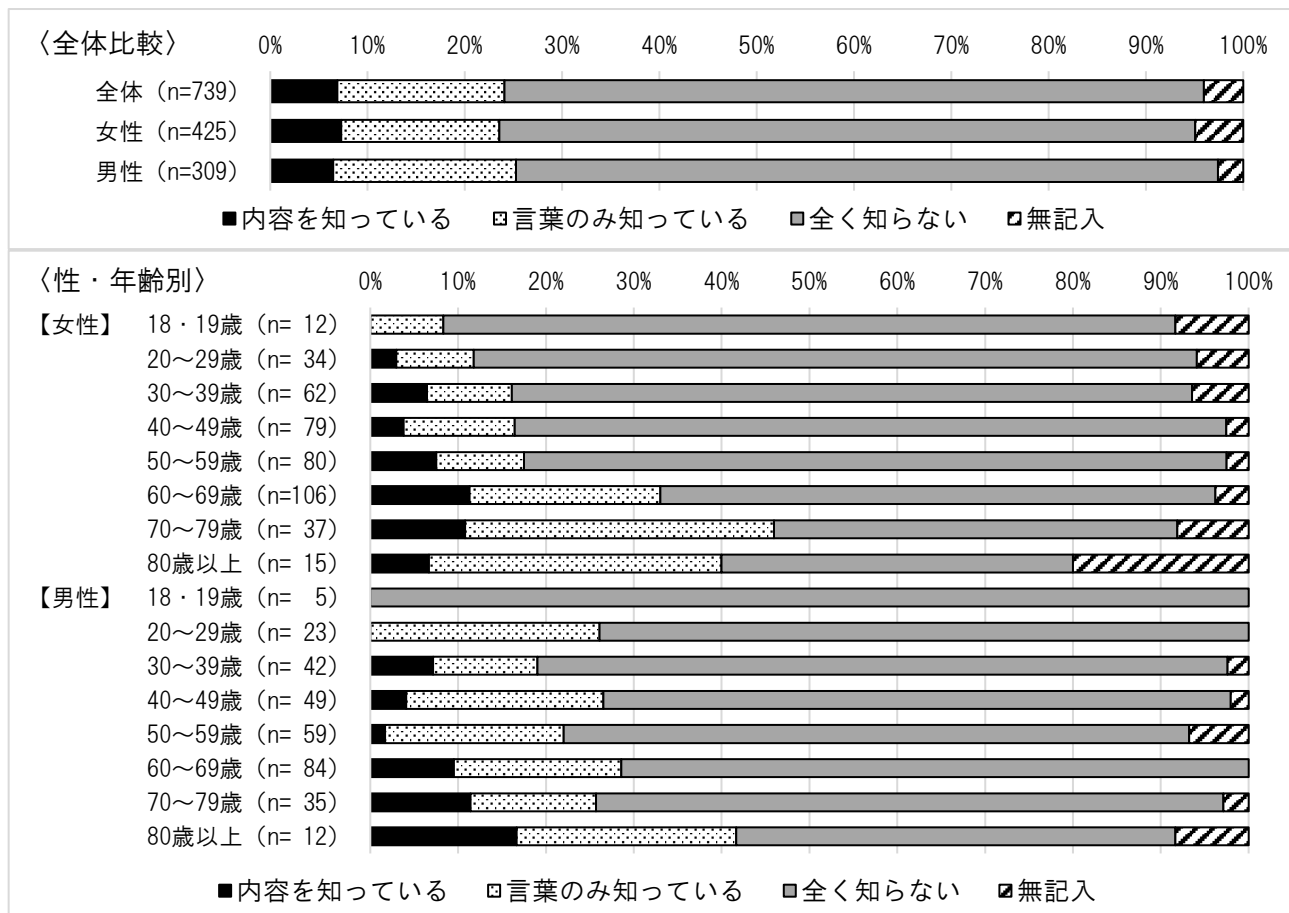
【⑦とっとり安心ファミリーシップ制度】



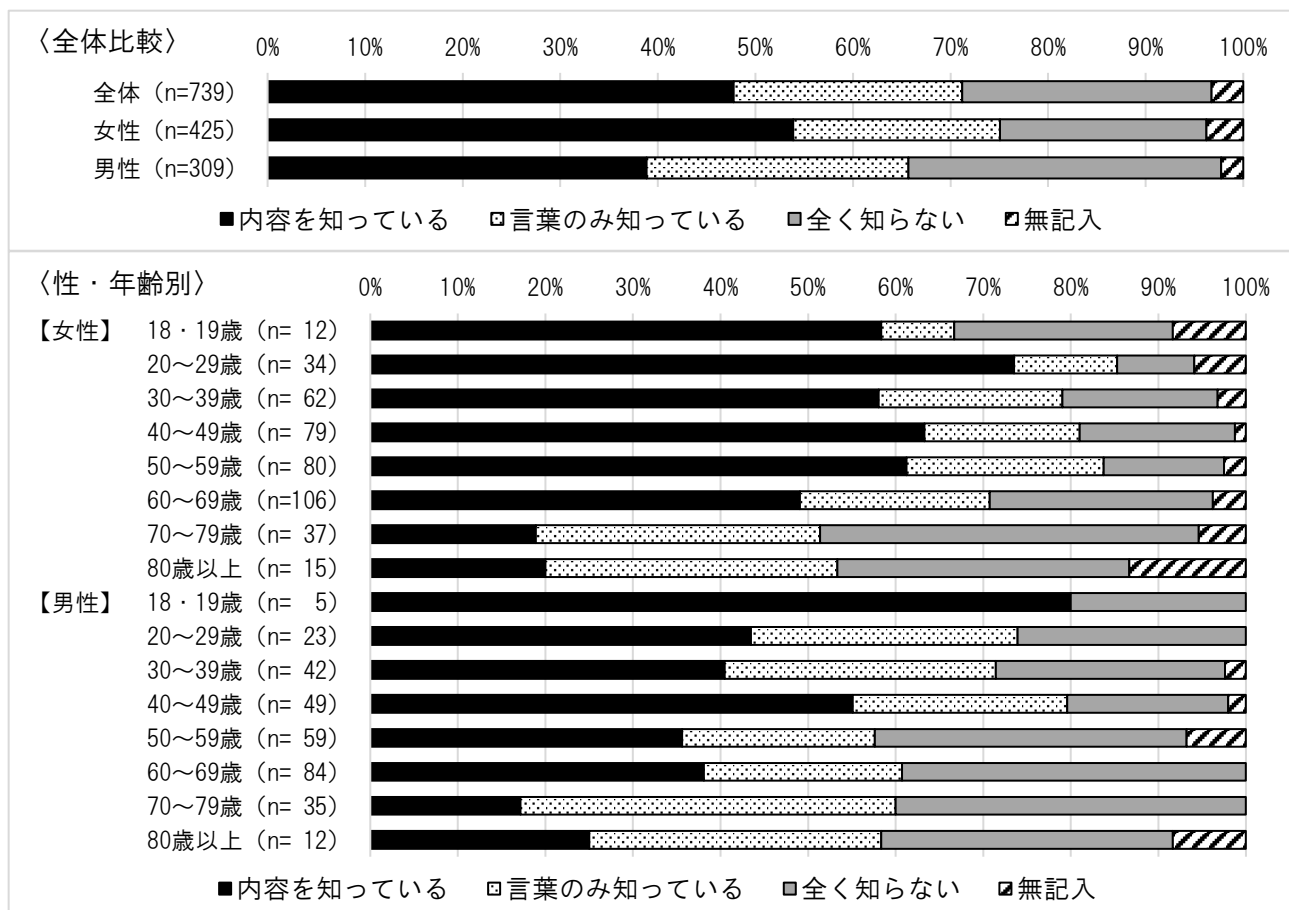
【⑧鳥取県男女共同参画推進企業】



【⑨家族経営協定】



【⑩デートDV】



男女平等についての質問です

問 8 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

【①～⑧の項目それぞれについて、あてはまる数字 1 つに○】

	問 8-① 学校教育で					
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が い る	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が い る	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	41	492	7	183	16	739
全体 (%)	5.5	66.6	0.9	24.8	2.2	100.0
前回 (%)	6.0	68.1	1.5	22.0	2.4	
女性人数	30	269	5	110	11	425
女性 (%)	7.1	63.3	1.2	25.9	2.6	100.0
前回 (%)	5.9	66.7	1.6	22.6	3.2	
男性人数	10	223	2	70	4	309
男性 (%)	3.2	72.2	0.6	22.7	1.3	100.0
前回 (%)	6.2	69.9	1.4	21.2	1.4	
女性 18・19 歳	0	11	0	0	1	12
20 代	2	24	1	7	0	34
30 代	5	41	1	14	1	62
40 代	9	49	0	21	0	79
50 代	4	50	2	24	0	80
60 代	5	63	1	33	4	106
70 代	4	21	0	8	4	37
80 歳以上	1	10	0	3	1	15
男性 18・19 歳	0	4	0	1	0	5
20 代	1	18	1	3	0	23
30 代	1	28	1	11	1	42
40 代	2	33	0	13	1	49
50 代	2	40	0	17	0	59
60 代	4	63	0	16	1	84
70 代	0	27	0	7	1	35
80 歳以上	0	10	0	2	0	12

	問 8-② 職場で					
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が い る	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が い る	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	287	277	25	134	16	739
全体 (%)	38.8	37.5	3.4	18.1	2.2	100.0
前回 (%)	21.4	42.5	5.1	16.6	14.5	
女性人数	173	143	9	89	11	425
女性 (%)	40.7	33.6	2.1	20.9	2.6	100.0
前回 (%)	21.5	40.3	3.8	18.8	15.6	
男性人数	111	134	16	44	4	309
男性 (%)	35.9	43.4	5.2	14.2	1.3	100.0
前回 (%)	21.2	45.2	6.8	13.7	13.0	
女性 18・19 歳	2	5	0	4	1	12
20 代	10	16	1	7	0	34
30 代	27	22	1	11	1	62
40 代	34	25	0	20	0	79
50 代	29	38	4	9	0	80
60 代	54	30	2	17	3	106
70 代	14	2	1	15	5	37
80 歳以上	3	5	0	6	1	15
男性 18・19 歳	2	1	0	2	0	5
20 代	9	8	2	3	1	23
30 代	11	19	6	5	1	42
40 代	12	28	5	4	0	49
50 代	18	29	2	9	1	59
60 代	34	36	1	13	0	84
70 代	20	8	0	6	1	35
80 歳以上	5	5	0	2	0	12

	問 8-③ 家庭で					
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が い る	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が い る	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	241	328	31	123	16	739
全体 (%)	32.6	44.4	4.2	16.6	2.2	100.0
前回 (%)	28.9	55.7	2.4	9.9	3.0	
女性人数	166	163	16	68	12	425
女性 (%)	39.1	38.4	3.8	16.0	2.8	100.0
前回 (%)	35.5	50.0	0.5	10.8	3.2	
男性人数	74	164	15	53	3	309
男性 (%)	23.9	53.1	4.9	17.2	1.0	100.0
前回 (%)	20.5	63.0	4.8	8.9	2.7	
女性 18・19 歳	5	5	1	0	1	12
20 代	5	16	2	11	0	34
30 代	14	35	1	11	1	62
40 代	36	28	4	10	1	79
50 代	40	25	1	14	0	80
60 代	48	35	5	14	4	106
70 代	14	12	2	5	4	37
80 歳以上	4	7	0	3	1	15
男性 18・19 歳	0	3	1	1	0	5
20 代	5	8	1	8	1	23
30 代	6	26	3	6	1	42
40 代	11	26	3	9	0	49
50 代	15	26	6	12	0	59
60 代	23	49	0	12	0	84
70 代	11	19	0	4	1	35
80 歳以上	3	7	1	1	0	12

	問 8-④ 町内会や地域で					
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が い る	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が い る	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	276	199	53	195	16	739
全体 (%)	37.3	26.9	7.2	26.4	2.2	100.0
前回 (%)	34.9	31.6	4.5	26.2	2.7	
女性人数	167	101	22	125	10	425
女性 (%)	39.3	23.8	5.2	29.4	2.4	100.0
前回 (%)	33.9	27.4	2.7	32.8	3.2	
男性人数	108	96	31	69	5	309
男性 (%)	35.0	31.1	10.0	22.3	1.6	100.0
前回 (%)	36.3	37.0	6.8	17.8	2.1	
女性 18・19 歳	1	6	1	3	1	12
20 代	6	9	1	18	0	34
30 代	21	16	2	22	1	62
40 代	31	16	4	28	0	79
50 代	34	18	3	24	1	80
60 代	51	23	9	20	3	106
70 代	19	8	2	5	3	37
80 歳以上	4	5	0	5	1	15
男性 18・19 歳	1	2	0	2	0	5
20 代	7	6	0	10	0	23
30 代	10	13	4	13	2	42
40 代	18	11	10	10	0	49
50 代	17	21	7	14	0	59
60 代	33	28	10	12	1	84
70 代	19	9	0	5	2	35
80 歳以上	3	6	0	3	0	12

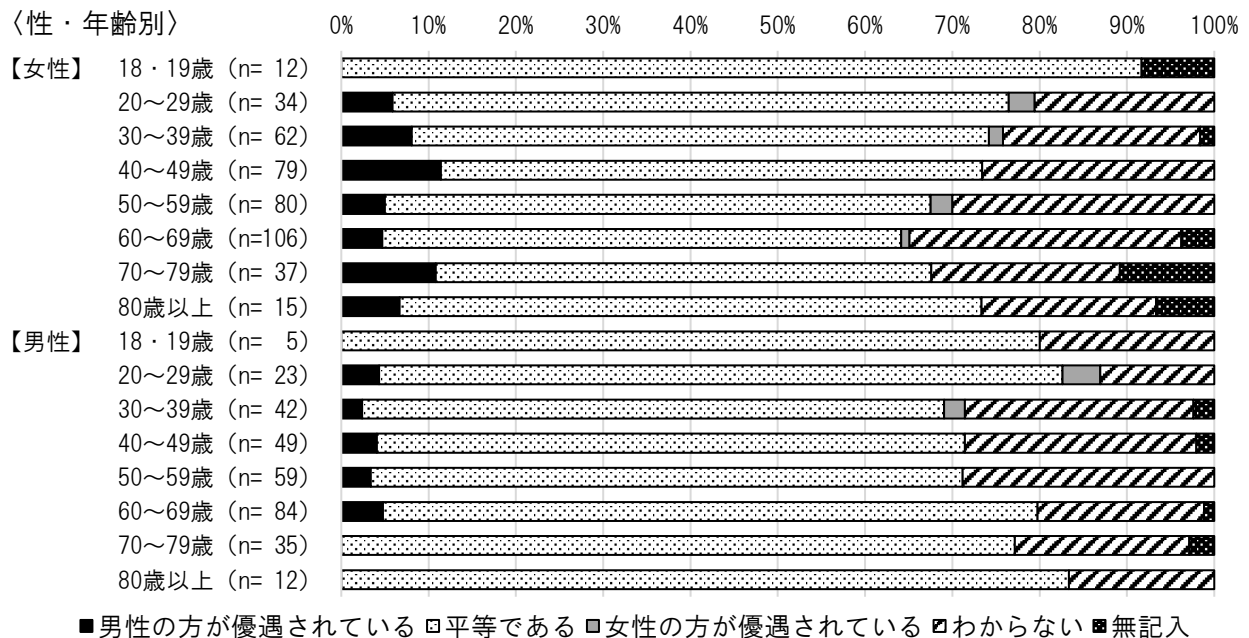
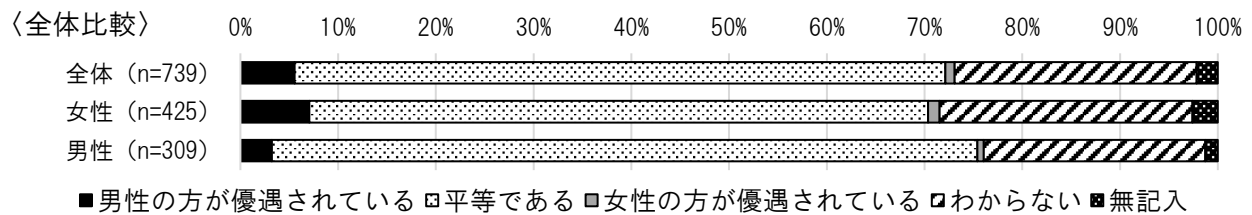
	問 8-⑤ 政治や行政の施策・方針決定の場で					
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が い る	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が い る	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	408	138	8	170	15	739
全体 (%)	55.2	18.7	1.1	23.0	2.0	100.0
前回 (%)	46.7	20.8	1.8	27.7	3.0	
女性人数	241	52	3	117	12	425
女性 (%)	56.7	12.2	0.7	27.5	2.8	100.0
前回 (%)	47.8	18.3	0.0	30.1	3.8	
男性人数	163	86	5	53	2	309
男性 (%)	52.8	27.8	1.6	17.2	0.6	100.0
前回 (%)	45.2	24.0	4.1	24.7	2.1	
女性 18・19 歳	4	1	0	6	1	12
20 代	14	5	0	15	0	34
30 代	40	9	0	12	1	62
40 代	46	7	0	26	0	79
50 代	51	13	2	13	1	80
60 代	63	9	1	29	4	106
70 代	18	6	0	9	4	37
80 歳以上	5	2	0	7	1	15
男性 18・19 歳	2	1	0	2	0	5
20 代	13	5	1	4	0	23
30 代	16	10	3	12	1	42
40 代	21	20	0	8	0	49
50 代	30	20	0	9	0	59
60 代	54	18	1	11	0	84
70 代	23	6	0	5	1	35
80 歳以上	4	6	0	2	0	12

	問 8-⑥ 法律や制度の上で					
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が い る	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が い る	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	262	249	23	182	23	739
全体 (%)	35.5	33.7	3.1	24.6	3.1	100.0
前回 (%)	35.5	32.8	2.7	26.5	2.4	
女性人数	170	107	6	128	14	425
女性 (%)	40.0	25.2	1.4	30.1	3.3	100.0
前回 (%)	41.4	21.5	2.7	31.2	3.2	
男性人数	88	142	17	54	8	309
男性 (%)	28.5	46.0	5.5	17.5	2.6	100.0
前回 (%)	28.1	47.3	2.7	20.5	1.4	
女性 18・19 歳	4	4	0	3	1	12
20 代	11	9	1	13	0	34
30 代	33	12	0	16	1	62
40 代	32	17	2	27	1	79
50 代	31	23	2	22	2	80
60 代	44	26	1	31	4	106
70 代	11	13	0	10	3	37
80 歳以上	4	3	0	6	2	15
男性 18・19 歳	0	3	0	2	0	5
20 代	7	8	1	7	0	23
30 代	7	13	8	12	2	42
40 代	15	23	4	6	1	49
50 代	14	33	1	10	1	59
60 代	30	38	3	12	1	84
70 代	11	18	0	4	2	35
80 歳以上	4	6	0	1	1	12

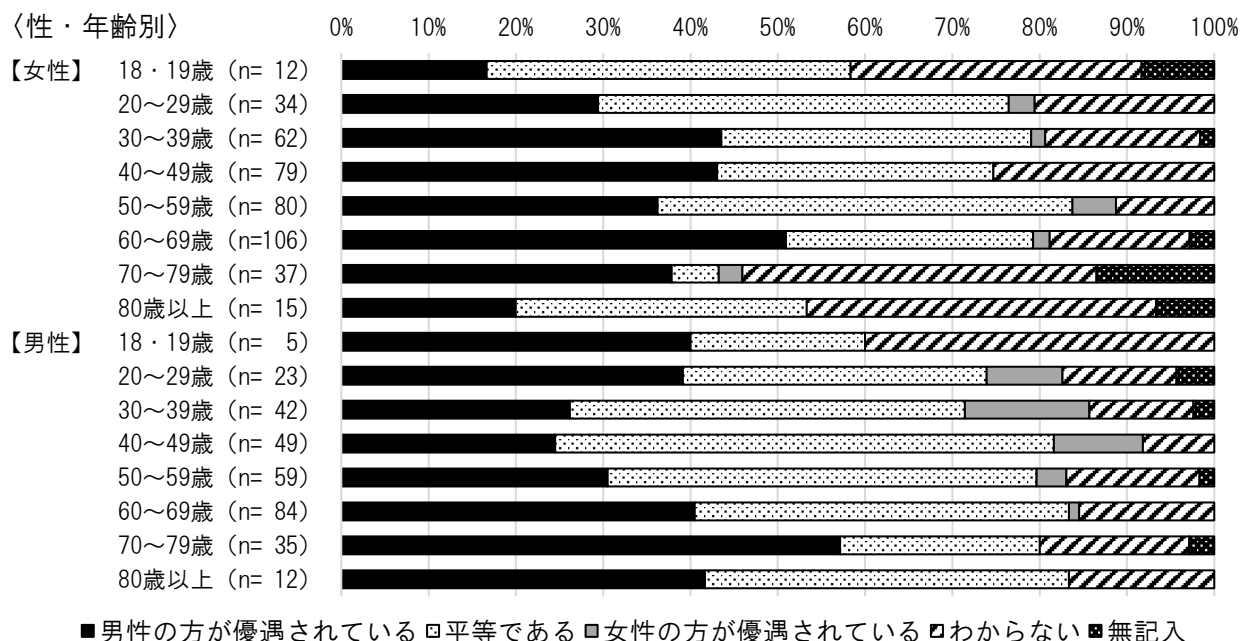
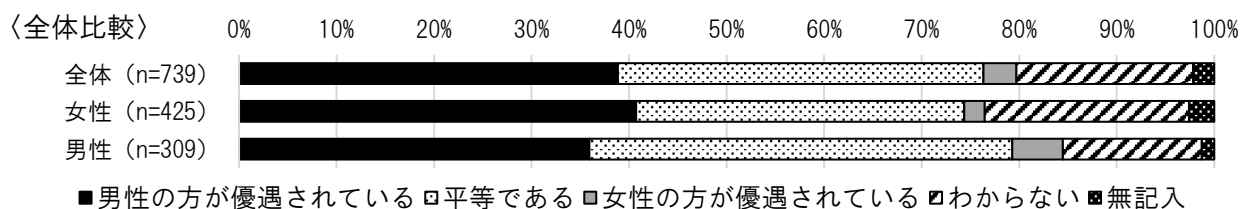
	問 8-⑦ 社会通念や習慣しきたりなどで					
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が い る	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が い る	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	502	76	12	134	15	739
全体 (%)	67.9	10.3	1.6	18.1	2.0	100.0
前回 (%)	71.7	11.1	1.2	14.2	1.8	
女性人数	292	27	6	88	12	425
女性 (%)	68.7	6.4	1.4	20.7	2.8	100.0
前回 (%)	71.0	10.8	0.5	15.6	2.2	
男性人数	206	49	6	46	2	309
男性 (%)	66.7	15.9	1.9	14.9	0.6	100.0
前回 (%)	72.6	11.6	2.1	12.3	1.4	
女性 18・19 歳	4	2	0	4	2	12
20 代	15	2	0	17	0	34
30 代	45	3	1	13	0	62
40 代	57	4	1	16	1	79
50 代	61	6	1	11	1	80
60 代	82	6	2	13	3	106
70 代	22	3	1	8	3	37
80 歳以上	6	1	0	6	2	15
男性 18・19 歳	1	1	0	3	0	5
20 代	17	3	0	3	0	23
30 代	22	6	2	11	1	42
40 代	32	9	2	6	0	49
50 代	40	9	1	9	0	59
60 代	61	13	1	9	0	84
70 代	25	6	0	3	1	35
80 歳以上	8	2	0	2	0	12

	問 8-⑧ 社会全体として					
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が い る	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が い る	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	428	113	19	166	13	739
全体 (%)	57.9	15.3	2.6	22.5	1.8	100.0
前回 (%)	60.5	15.7	4.2	16.9	2.7	
女性人数	251	46	7	111	10	425
女性 (%)	59.1	10.8	1.6	26.1	2.4	100.0
前回 (%)	61.8	13.4	2.7	18.8	3.2	
男性人数	173	67	12	55	2	309
男性 (%)	56.0	21.7	3.9	17.8	0.6	100.0
前回 (%)	58.9	18.5	6.2	14.4	2.1	
女性 18・19 歳	5	1	0	5	1	12
20 代	13	6	1	14	0	34
30 代	36	8	0	17	1	62
40 代	47	9	2	20	1	79
50 代	54	9	1	15	1	80
60 代	69	8	2	24	3	106
70 代	23	1	1	10	2	37
80 歳以上	4	4	0	6	1	15
男性 18・19 歳	0	1	1	3	0	5
20 代	10	6	1	6	0	23
30 代	16	9	4	12	1	42
40 代	21	16	3	9	0	49
50 代	33	14	2	10	0	59
60 代	59	14	1	10	0	84
70 代	26	5	0	3	1	35
80 歳以上	8	2	0	2	0	12

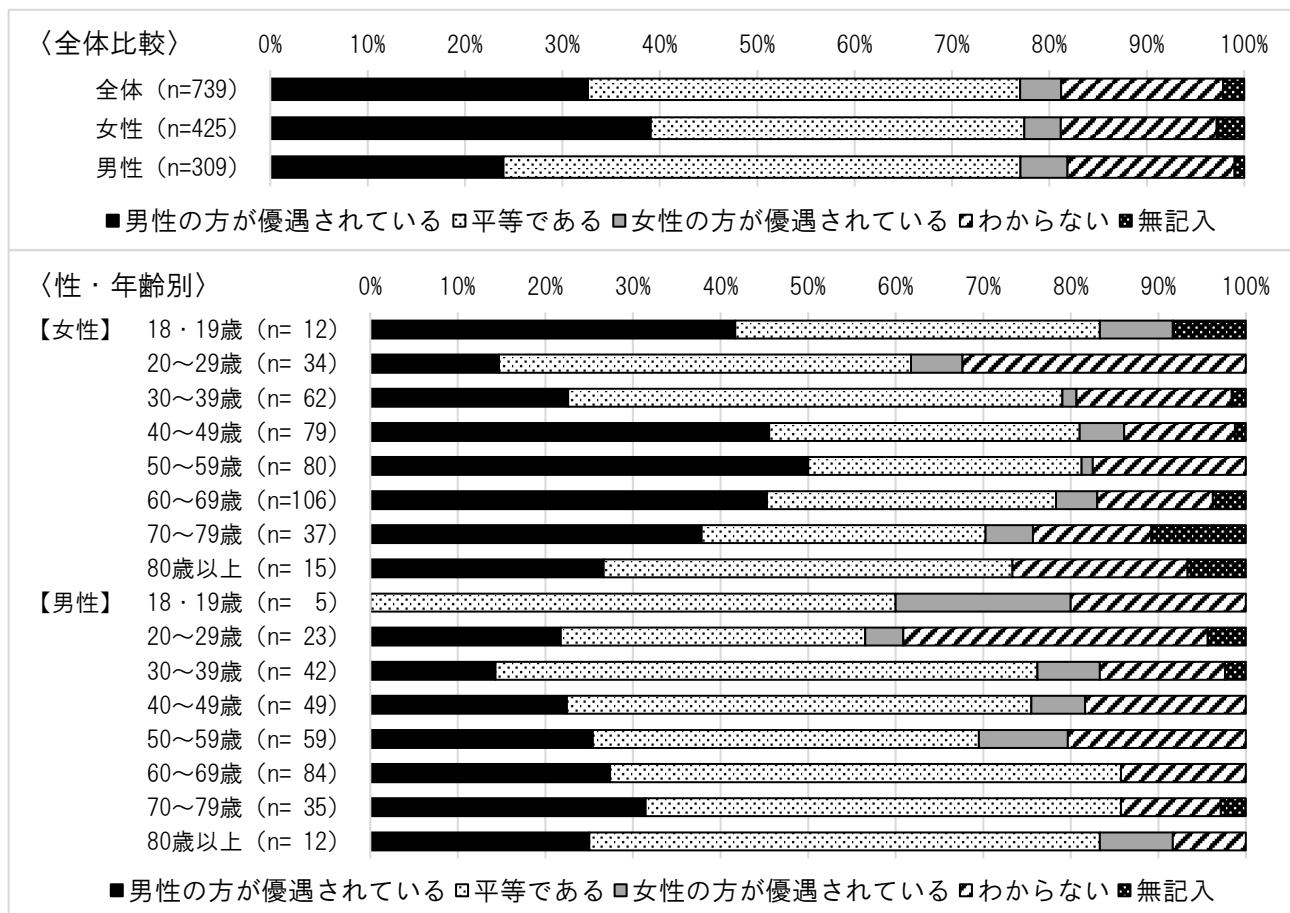
【①学校教育で】



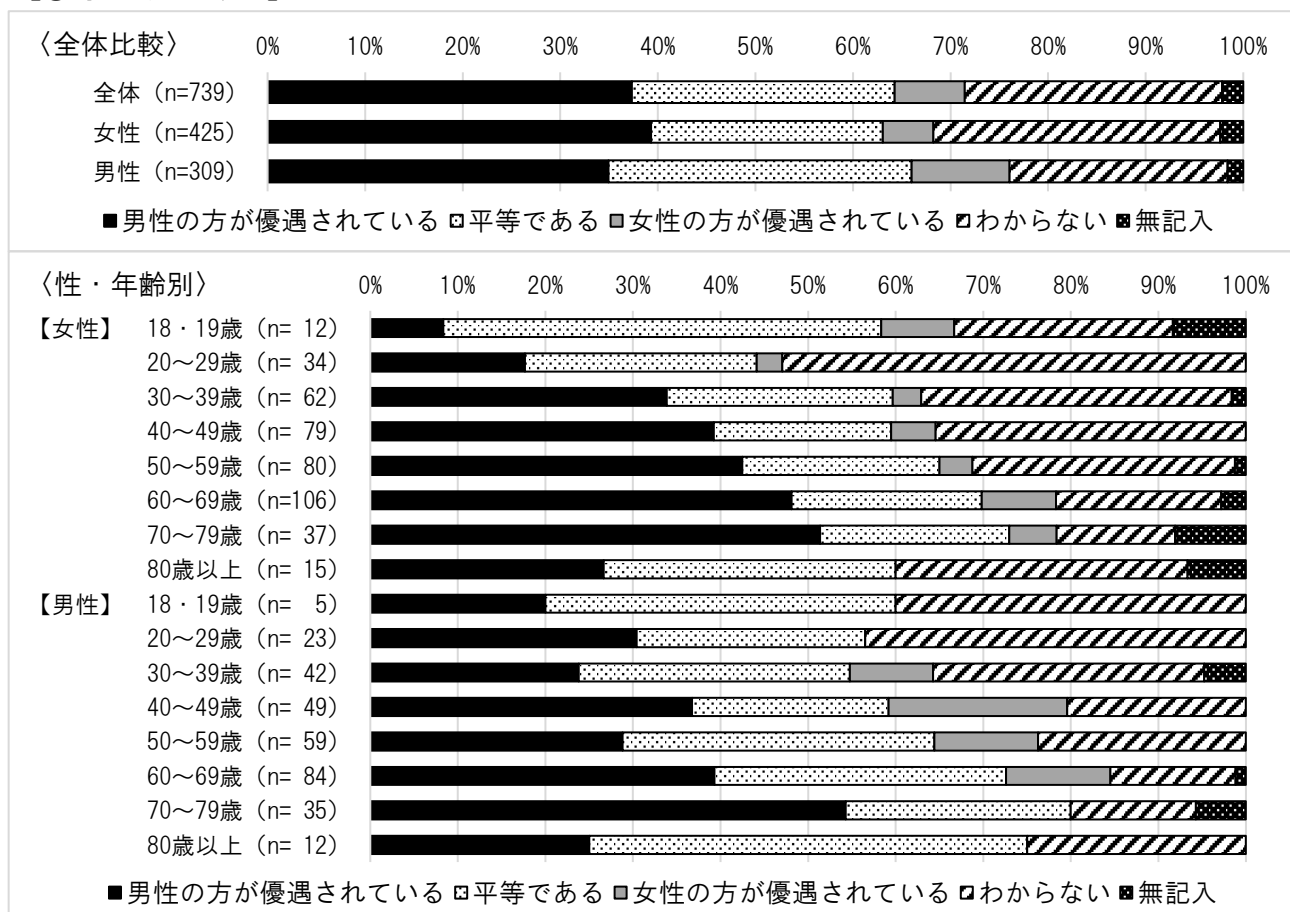
【②職場で】



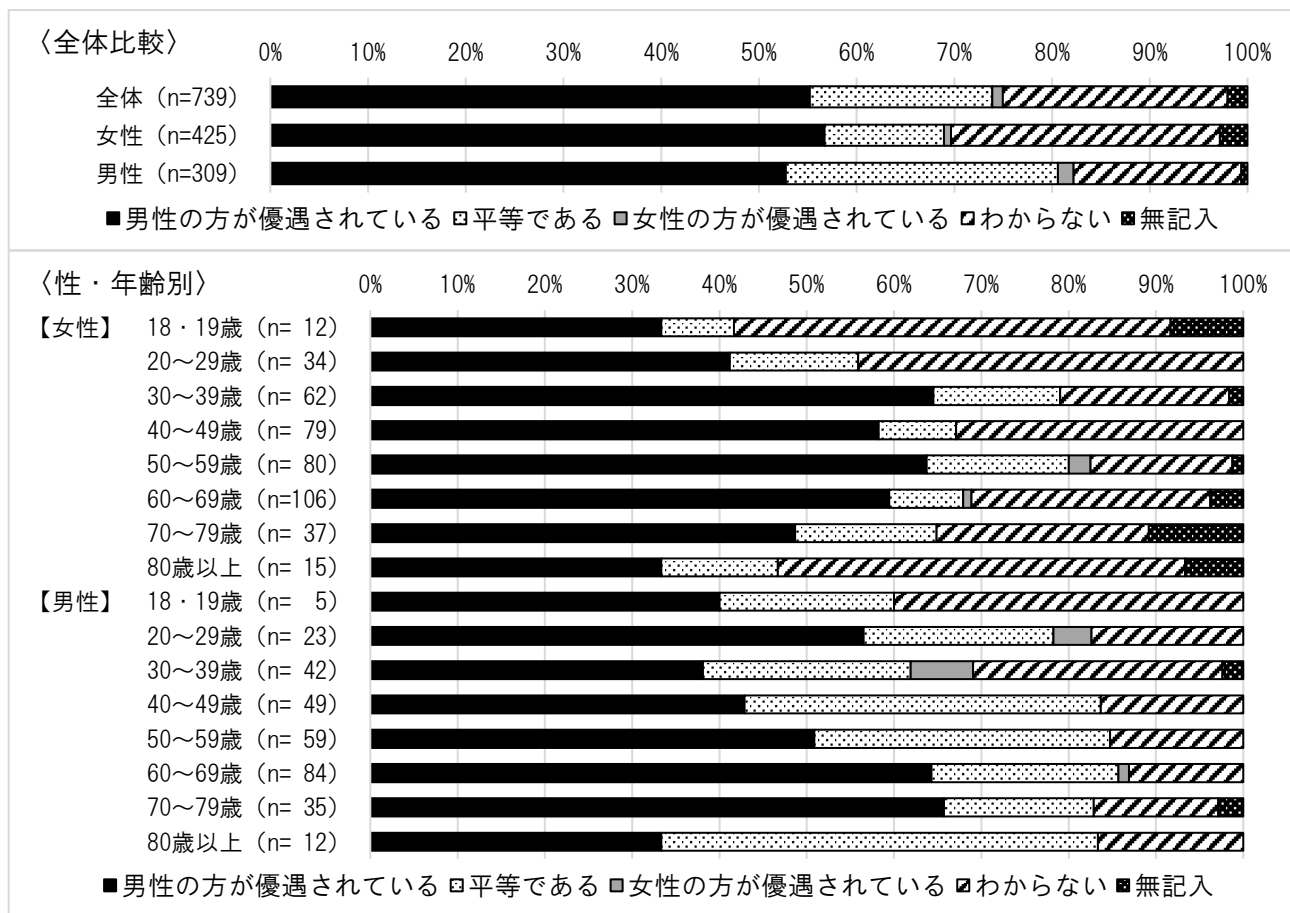
【③家庭で】



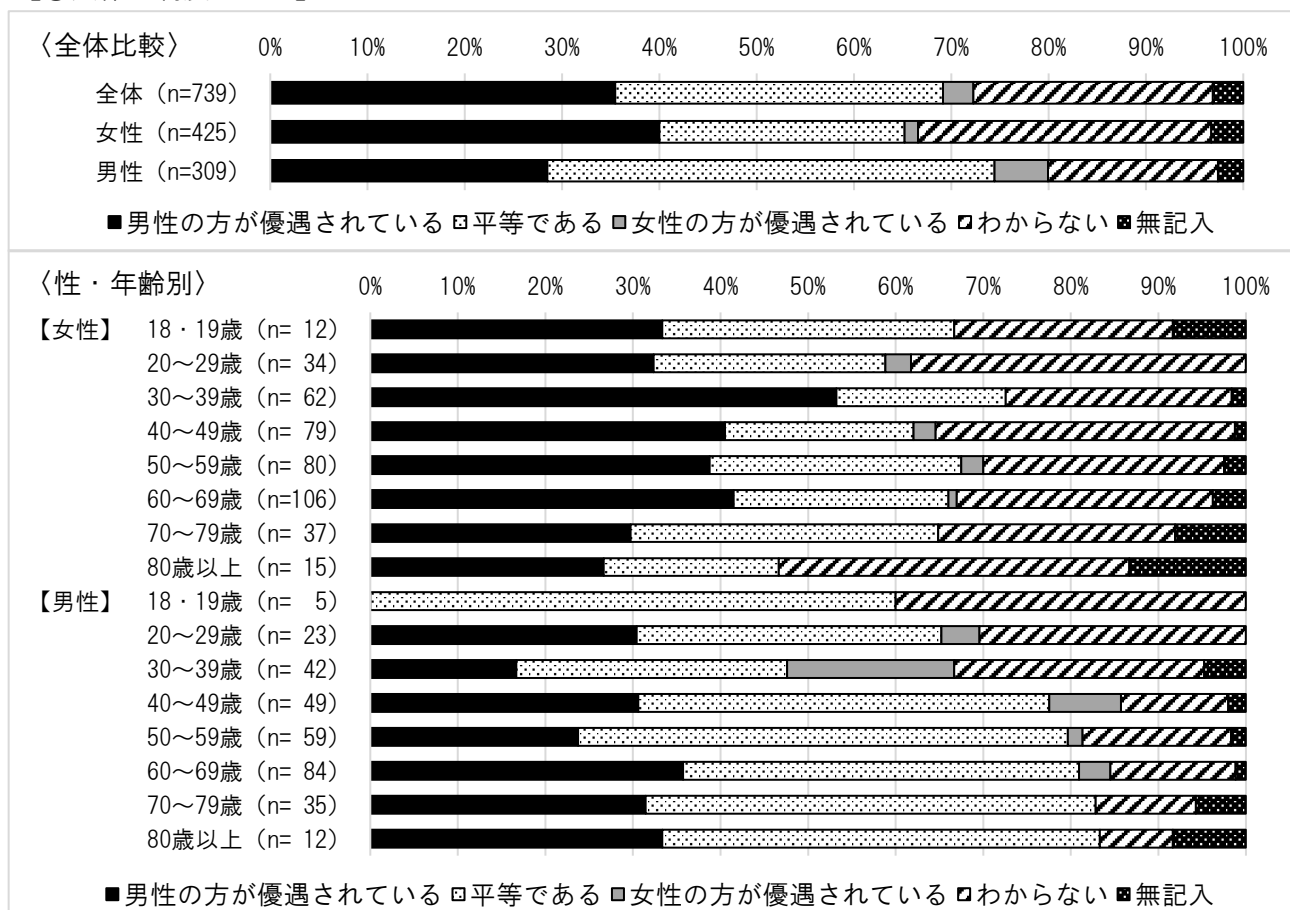
【④町内会や地域で】



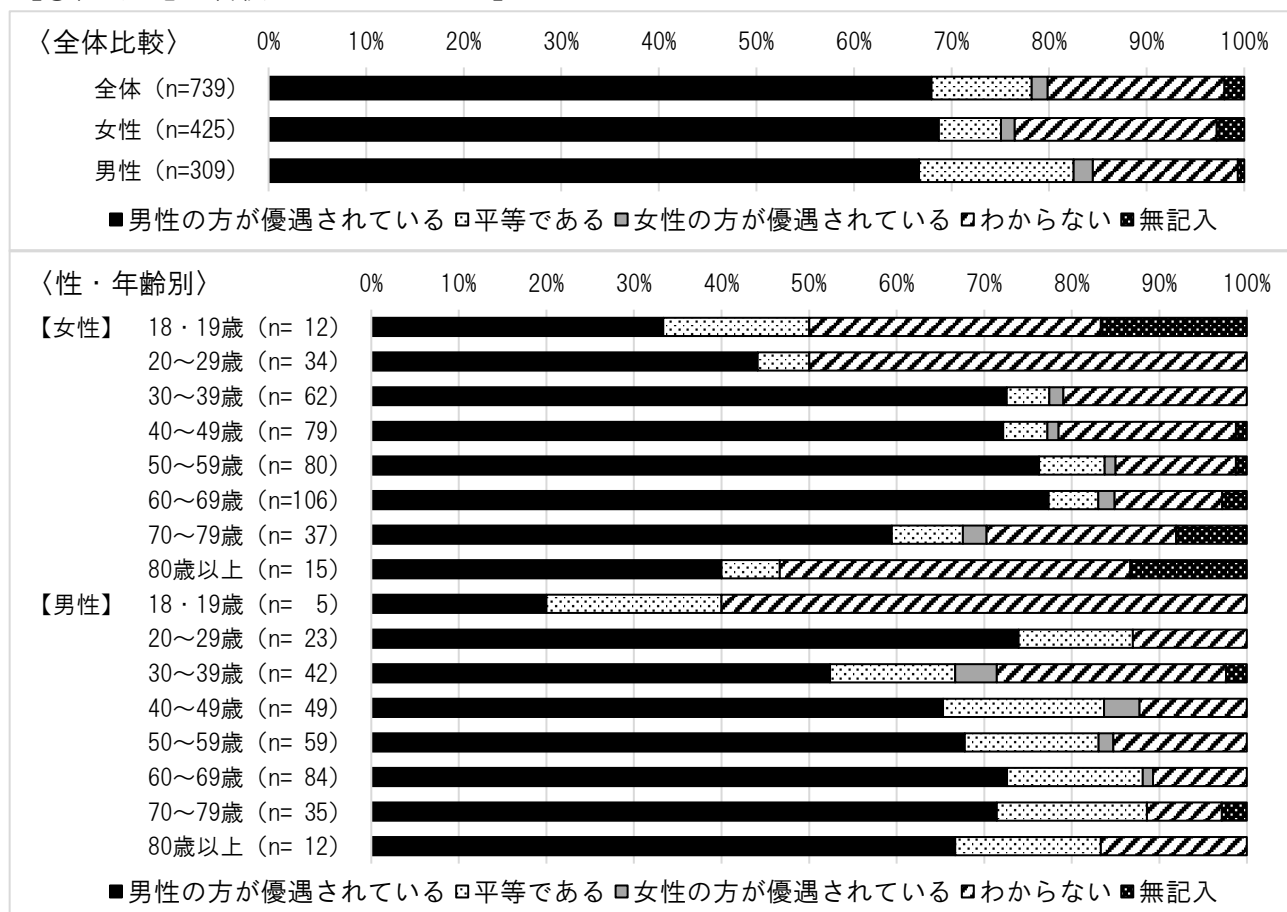
【⑤政治や行政の施策・方針決定の場で】



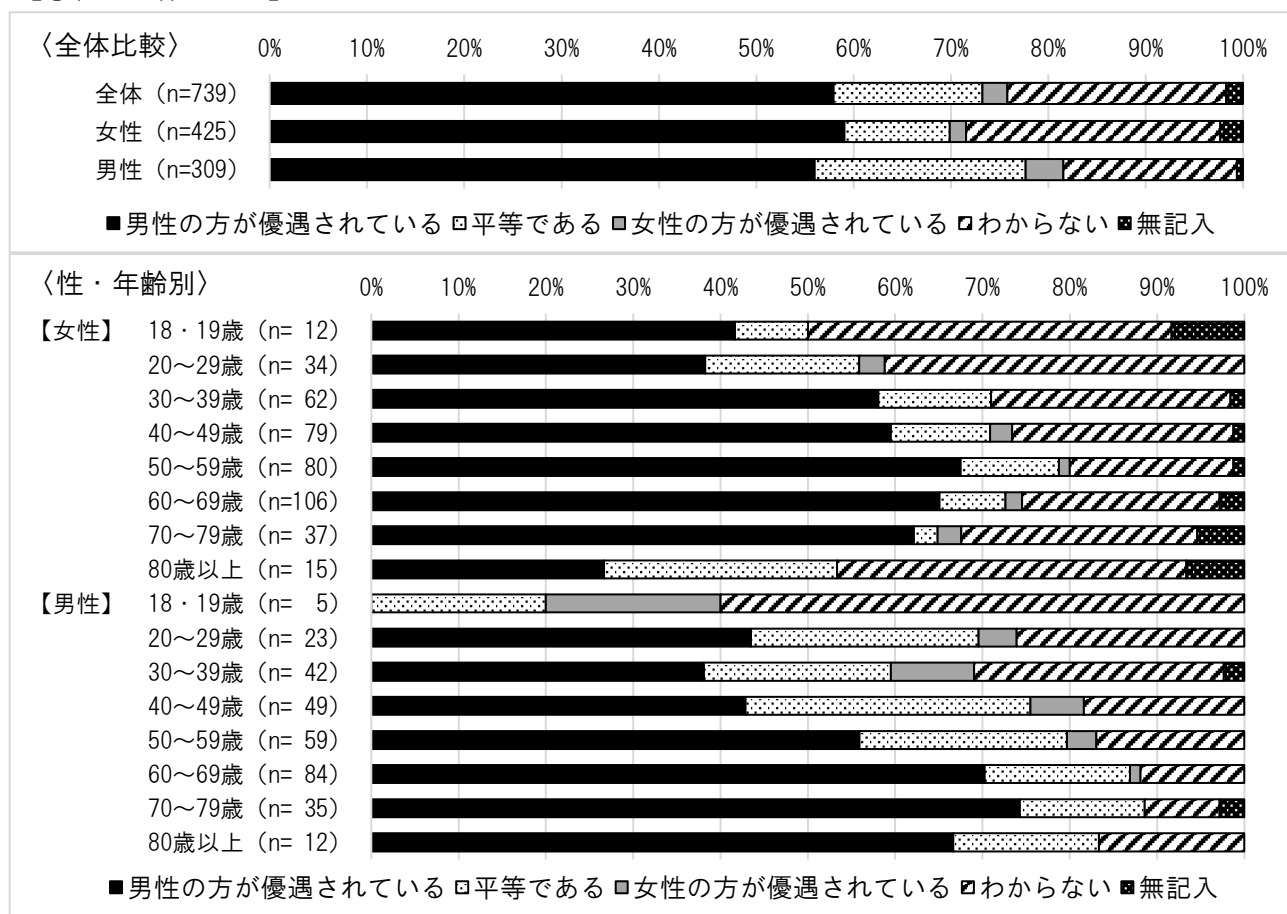
【⑥法律や制度の上で】



【⑦社会通念・習慣やしきたりなどで】

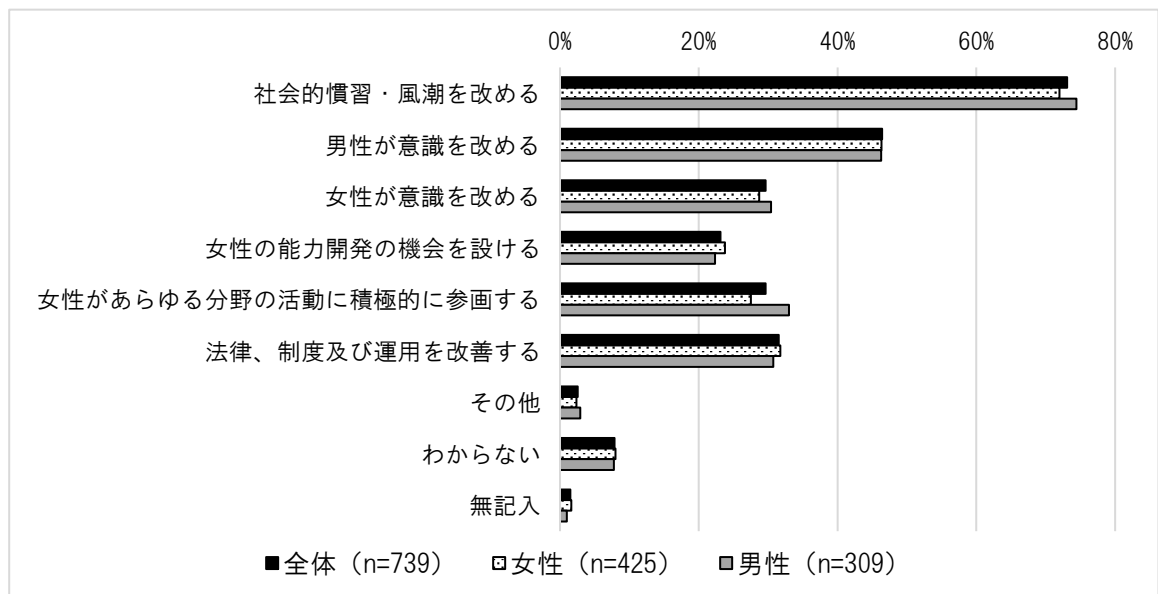


【⑧社会全体として】



問9 男女が社会のあらゆる分野においてもっと平等になるために、重要だと思われるものは何ですか。【あてはまる数字すべてに○】

	社会的慣習・ 風潮を改める	男性が意識を改める	女性が意識を改める	女性の能力開発の 機会を設ける	女性があらゆる 分野の活動に 積極的に参画する	法律、制度及び 運用を改善する	その他	わからない	無記入	n
全体人数	540	343	219	171	219	233	19	58	11	739
全体 (%)	73.1	46.4	29.6	23.1	29.6	31.5	2.6	7.8	1.5	
前回 (%)	69.2	48.5	32.6	27.1	34.1	31.7	3.7	7.0	1.2	
女性人数	306	197	122	101	117	135	10	34	7	425
女性 (%)	72.0	46.4	28.7	23.8	27.5	31.8	2.4	8.0	1.6	
前回 (%)	69.9	50.8	31.1	29.0	29.0	29.5	2.7	6.0	1.6	
男性人数	230	143	94	69	102	95	9	24	3	309
男性 (%)	74.4	46.3	30.4	22.3	33.0	30.7	2.9	7.8	1.0	
前回 (%)	68.3	45.5	34.5	24.8	40.7	34.5	4.8	8.3	0.7	
女性 18・19 歳	8	4	2	4	4	2	0	0	1	12
20 代	21	14	9	5	6	16	1	2	0	34
30 代	52	26	17	10	8	26	0	2	0	62
40 代	60	32	20	11	14	25	1	8	0	79
50 代	59	45	28	23	18	23	5	4	1	80
60 代	73	55	34	30	43	34	3	10	2	106
70 代	27	17	9	12	15	6	0	3	2	37
80 歳以上	6	4	3	6	9	3	0	5	1	15
男性 18・19 歳	5	0	0	0	0	3	0	0	0	5
20 代	17	6	5	3	6	5	0	2	0	23
30 代	29	17	15	7	11	17	5	4	0	42
40 代	33	28	19	11	10	14	2	2	0	49
50 代	42	23	14	12	14	20	1	7	0	59
60 代	65	45	29	22	37	23	1	3	2	84
70 代	29	15	7	10	20	10	0	4	1	35
80 歳以上	10	9	5	4	4	3	0	2	0	12



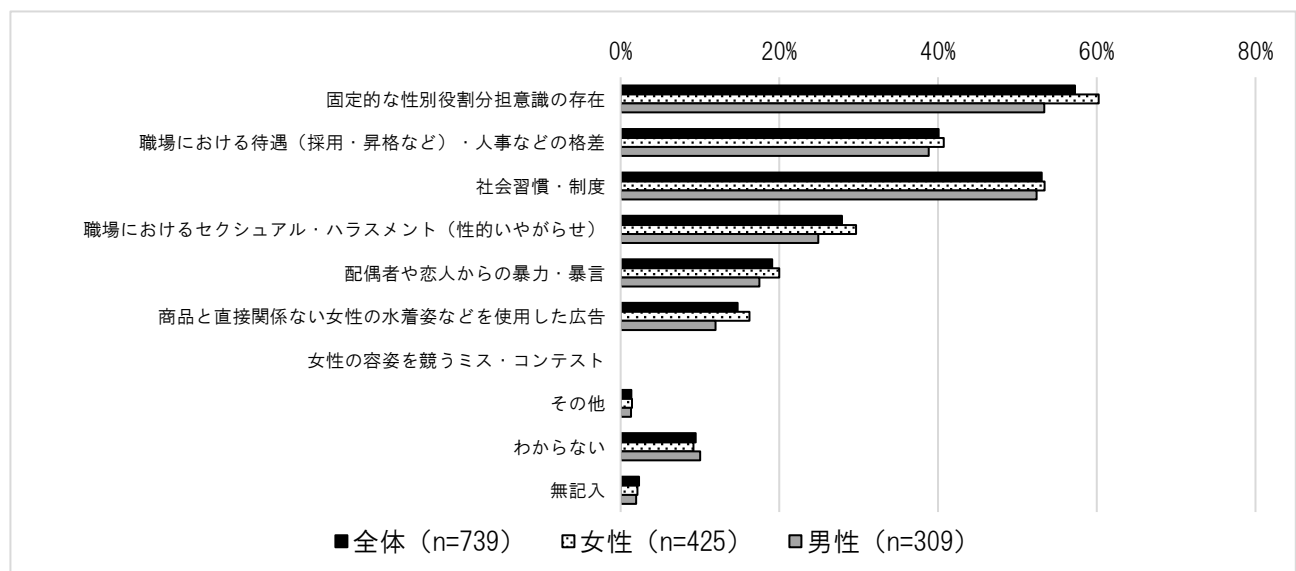
問9 「その他」意見

男性に子がなせないように、前提として違いが確立されている以上、あらゆる分野においての平等など不可能。
教育を行う。
女性が都市部に出て帰ってこないのは女性が活躍できる職場がないからだとか〇〇前市長もいっている。女性回復率を高める努力をしてください。
昔みたいに男女が差があるように感じることはない。すでに平等になっている。
まずは平等ではないと気づけるよう、出かけられない人にもわかるよう様々なメディアを活用して。
男性、女性の特性を社会全体が理解し配慮を持って環境をととのえる。
会社でも家庭でもお茶、掃除、家事は女性との感覚がある。
家庭内で男性の役割、女性の役割を尊重しながら夫婦が協力している姿を子どもに見せる。
男性の弱い方面への、男性参画も重要。
拙速に進めるのではなく、社会や人が多様な性のあり方を受容できるまで待つ。
人を人として尊重する。男女の別はない。
一部、会社・家庭で男性も弱い立場のこともある。女性のいきすぎを改める。
私は女性ですが、女性は悪い面が多過ぎて社会の仕組みにはマイナス面が多い。
あらゆる機会に女性だから、男性だからの観念を考えない。男性も女性も同じ、〇〇だからをなくす。
「全て平等」にはならないと考えている。体力的、肉体的な差がある。
職場制度の改定。
男女共に人が変わらなければ改善しないのでは・・・。

問１０ 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてでしょうか。

【あてはまる数字すべてに○】

	性別役割分担意識の存在 固定的な	職場における待遇 (採用・昇格など)・ 人事などの格差	社会習慣・制度	職場における セクシュアル・ハラス メント(性的いやがらせ)	配偶者や恋人からの 暴力・暴言	商品と直接関係ない 女性の水着姿などを 使用した広告	女性の容姿を競う ミス・コンテスト	その他	わからない	無記入	n
全体人数	423	296	392	206	141	109	-	10	70	17	739
全体 (%)	57.2	40.1	53.0	27.9	19.1	14.7	-	1.4	9.5	2.3	
前回 (%)	65.3	37.8	58.5	23.8	18.0	12.4	11.1	2.8	9.9	2.7	
女性人数	256	173	227	126	85	69	-	6	39	9	425
女性 (%)	60.2	40.7	53.4	29.6	20.0	16.2	-	1.4	9.2	2.1	
前回 (%)	63.4	36.6	56.8	24.6	20.2	13.1	7.1	2.2	8.2	1.6	
男性人数	165	120	162	77	54	37	-	4	31	6	309
男性 (%)	53.4	38.8	52.4	24.9	17.5	12.0	-	1.3	10.0	1.9	
前回 (%)	67.9	39.3	60.7	22.9	15.0	11.4	16.4	3.6	12.1	4.1	
女性 18・19 歳	5	3	4	6	3	3	-	0	1	1	12
20 代	14	13	11	10	8	1	-	0	2	0	34
30 代	38	27	33	22	10	12	-	0	7	0	62
40 代	52	41	44	23	17	11	-	3	6	0	79
50 代	51	29	50	24	15	15	-	1	4	1	80
60 代	68	42	59	30	20	20	-	2	11	3	106
70 代	22	12	20	7	8	4	-	0	3	3	37
80 歳以上	6	6	6	4	4	3	-	0	5	1	15
男性 18・19 歳	3	2	2	2	1	0	-	0	0	0	5
20 代	8	7	8	7	2	2	-	0	5	1	23
30 代	21	12	22	17	11	3	-	2	2	0	42
40 代	29	19	22	8	7	8	-	1	6	0	49
50 代	33	18	30	15	10	8	-	1	4	0	59
60 代	48	32	51	21	14	9	-	0	6	3	84
70 代	18	22	21	6	8	6	-	0	5	1	35
80 歳以上	5	8	6	1	1	1	-	0	3	1	12



問１０ 「その他」意見

人権は尊重されている。むしろ、人権を盾に過剰に権利を主張する輩が増えている気がする。
人権が尊重されていないとは感じない。
そのようなことは無い。
お客さまからの性的いやがらせ。
今の時代、男性の方が受難では？！
無意識な差別(あの人は・・・だから etc.) がまだまだある。
子どもがいないと仕事で残業や休日出勤ができるという圧を感じる。

家庭生活についての質問です

問 1 1 「男性は外で働き、女性は家庭を守る」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
【あてはまる数字 1 つに○】

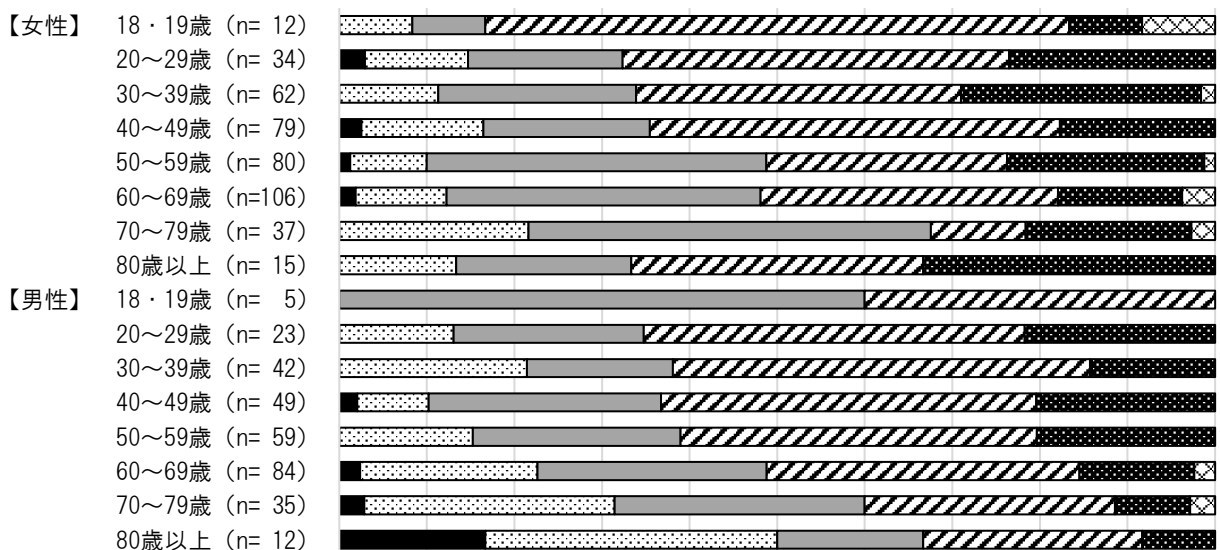
	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無記入	合計
全体人数	12	107	203	271	133	13	739
全体 (%)	1.6	14.5	27.5	36.7	18.0	1.8	100.0
前回 (%)	2.4	18.7	28.0	30.7	13.6	6.6	
女性人数	6	51	125	150	85	8	425
女性 (%)	1.4	12.0	29.4	35.3	20.0	1.9	100.0
前回 (%)	2.2	15.6	30.1	32.8	14.0	5.4	
男性人数	6	56	76	120	48	3	309
男性 (%)	1.9	18.1	24.6	38.8	15.5	1.0	100.0
前回 (%)	2.7	22.6	25.3	28.1	13.0	8.2	
女性 18・19 歳	0	1	1	8	1	1	12
20 代	1	4	6	15	8	0	34
30 代	0	7	14	23	17	1	62
40 代	2	11	15	37	14	0	79
50 代	1	7	31	22	18	1	80
60 代	2	11	38	36	15	4	106
70 代	0	8	17	4	7	1	37
80 歳以上	0	2	3	5	5	0	15
男性 18・19 歳	0	0	3	2	0	0	5
20 代	0	3	5	10	5	0	23
30 代	0	9	7	20	6	0	42
40 代	1	4	13	21	10	0	49
50 代	0	9	14	24	12	0	59
60 代	2	17	22	30	11	2	84
70 代	1	10	10	10	3	1	35
80 歳以上	2	4	2	3	1	0	12

〈全体比較〉 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■賛成 □どちらかといえば賛成 ▨どちらかといえば反対 ▩反対 ■わからない □無記入

〈性・年齢別〉 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■賛成 □どちらかといえば賛成 ▨どちらかといえば反対 ▩反対 ■わからない □無記入

問 1 2 単身世帯以外の方におたずねします。次のような家庭の仕事は、どなたが担当されていますか。【①～⑪の項目のそれぞれについて、あてはまる数字 1 つに○】

	問 12-① 食事のしたく								
	夫 又は ほとんど 男性	どちらか 又は男性 といえば	夫婦が 同じ程度	どちらか 又は女性 といえば	妻 又は女性 ほとんど	家族 全体	該当する世 話や 活動がない	無記入	合計
全体人数	21	11	46	127	385	43	3	43	679
全体 (%)	3.1	1.6	6.8	18.7	56.7	6.3	0.4	6.3	100.0
前回 (%)	1.3	0.9	3.8	19.9	61.2	1.6	0.3	11.0	
女性人数	8	4	28	58	246	27	2	19	392
女性 (%)	2.0	1.0	7.1	14.8	62.8	6.9	0.5	4.8	100.0
前回 (%)	0.0	1.1	2.8	15.2	72.5	1.7	0.0	6.7	
男性人数	13	7	18	68	138	16	1	23	284
男性 (%)	4.6	2.5	6.3	23.9	48.6	5.6	0.4	8.1	100.0
前回 (%)	2.9	0.7	5.0	25.9	46.8	1.4	0.7	16.5	
女性 18・19 歳	0	0	1	2	3	0	0	1	7
20 代	0	0	1	4	26	2	0	0	33
30 代	1	2	4	9	40	2	0	1	59
40 代	3	0	8	11	45	5	1	3	76
50 代	1	1	3	5	48	10	1	4	73
60 代	2	1	8	17	55	5	0	9	97
70 代	0	0	2	9	21	0	0	1	33
80 歳以上	1	0	1	1	8	3	0	0	14
男性 18・19 歳	0	0	0	0	2	2	0	0	4
20 代	1	0	0	1	12	3	0	2	19
30 代	1	3	3	7	21	3	0	2	40
40 代	1	1	1	15	22	5	0	2	47
50 代	2	2	7	14	23	0	1	6	55
60 代	6	1	7	20	31	2	0	5	72
70 代	1	0	0	7	23	1	0	3	35
80 歳以上	1	0	0	4	4	0	0	3	12

	問 12-② 食事の片づけ								
	夫 又は ほとんど 男性	どちらか 又は男性 といえば	夫婦が 同じ程度	どちらか 又は女性 といえば	妻 又は女性 ほとんど	家族 全体	該当する世 話や 活動がない	無記入	合計
全体人数	20	42	97	142	279	52	3	44	679
全体 (%)	2.9	6.2	14.3	20.9	41.1	7.7	0.4	6.5	100.0
前回 (%)	3.2	2.8	8.8	23.0	45.1	5.7	0.3	11.0	
女性人数	4	16	47	64	204	34	2	21	392
女性 (%)	1.0	4.1	12.0	16.3	52.0	8.7	0.5	5.4	100.0
前回 (%)	1.7	1.7	6.2	20.8	58.4	4.5	0.0	6.7	
男性人数	16	26	50	78	73	18	1	22	284
男性 (%)	5.6	9.2	17.6	27.5	25.7	6.3	0.4	7.7	100.0
前回 (%)	5.0	4.3	12.2	25.9	28.1	7.2	0.7	16.5	
女性 18・19 歳	0	0	1	2	2	2	0	1	7
20 代	0	2	4	7	17	3	0	0	33
30 代	1	7	8	9	29	4	0	1	59
40 代	1	3	15	10	38	5	1	3	76
50 代	0	1	7	12	41	7	1	4	73
60 代	2	3	8	17	52	6	0	9	97
70 代	0	0	4	6	18	3	0	2	33
80 歳以上	0	0	0	2	7	4	0	1	14
男性 18・19 歳	0	0	0	1	2	1	0	0	4
20 代	2	2	0	4	7	2	0	2	19
30 代	2	4	11	9	9	3	0	2	40
40 代	4	4	10	14	9	4	0	2	47
50 代	2	7	10	15	11	3	1	6	55
60 代	4	5	12	24	19	3	0	5	72
70 代	1	3	5	7	15	1	0	3	35
80 歳以上	1	1	2	4	1	1	0	2	12

	問 12-③ ゴミ出し								
	夫 又は ほとんど 男性	どちらかとい え 夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかとい え 妻又は女性	妻 又は ほとんど 女性	家族全 体	該 当 する 世 話 や 活 動 が ない	無 記 入	合 計
全体人数	143	74	77	77	207	56	2	43	679
全体 (%)	21.1	10.9	11.3	11.3	30.5	8.2	0.3	6.3	100.0
前回 (%)	14.8	14.5	12.0	9.1	32.8	5.4	0.3	11.0	
女性人数	57	42	38	38	153	43	2	19	392
女性 (%)	14.5	10.7	9.7	9.7	39.0	11.0	0.5	4.8	100.0
前回 (%)	12.9	14.6	10.1	10.7	39.9	5.1	0.0	6.7	
男性人数	86	32	39	39	53	12	0	23	284
男性 (%)	30.3	11.3	13.7	13.7	18.7	4.2	0.0	8.1	100.0
前回 (%)	17.3	14.4	14.4	7.2	23.7	5.8	0.7	16.5	
女性 18・19 歳	1	0	1	0	2	2	0	1	7
20 代	6	3	2	3	12	7	0	0	33
30 代	15	6	9	4	17	7	0	1	59
40 代	13	8	6	5	33	7	1	3	76
50 代	10	9	5	7	29	8	1	4	73
60 代	10	9	9	13	39	8	0	9	97
70 代	2	7	4	4	14	1	0	1	33
80 歳以上	0	0	2	2	7	3	0	0	14
男性 18・19 歳	0	1	1	0	1	1	0	0	4
20 代	4	4	2	2	4	1	0	2	19
30 代	11	6	5	7	7	2	0	2	40
40 代	19	5	3	5	9	4	0	2	47
50 代	17	7	7	7	11	0	0	6	55
60 代	22	6	16	9	12	2	0	5	72
70 代	8	2	5	8	8	1	0	3	35
80 歳以上	5	1	0	1	1	1	0	3	12

	問 12-④ 洗濯								
	夫 又は ほとんど 男性	どちらかとい え 夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかとい え 妻又は女性	妻 又は ほとんど 女性	家族全 体	該 当 する 世 話 や 活 動 が ない	無 記 入	合 計
全体人数	21	20	110	104	333	48	1	42	679
全体 (%)	3.1	2.9	16.2	15.3	49.0	7.1	0.1	6.2	100.0
前回 (%)	1.6	2.2	7.3	17.7	58.0	1.9	0.3	11.0	
女性人数	7	5	50	45	231	34	1	19	392
女性 (%)	1.8	1.3	12.8	11.5	58.9	8.7	0.3	4.8	100.0
前回 (%)	0.6	2.2	6.7	15.2	66.9	1.7	0.0	6.7	
男性人数	14	15	60	59	101	13	0	22	284
男性 (%)	4.9	5.3	21.1	20.8	35.6	4.6	0.0	7.7	100.0
前回 (%)	2.9	2.2	7.9	20.9	46.8	2.2	0.7	16.5	
女性 18・19 歳	0	0	2	0	2	2	0	1	7
20 代	1	0	3	1	23	5	0	0	33
30 代	3	2	13	2	34	4	0	1	59
40 代	1	2	13	10	40	6	1	3	76
50 代	1	1	8	9	42	8	0	4	73
60 代	1	0	6	13	65	3	0	9	97
70 代	0	0	5	9	17	1	0	1	33
80 歳以上	0	0	0	1	8	5	0	0	14
男性 18・19 歳	1	0	1	0	2	0	0	0	4
20 代	1	0	4	3	7	2	0	2	19
30 代	0	4	14	9	8	3	0	2	40
40 代	2	4	9	12	13	5	0	2	47
50 代	2	4	11	11	21	0	0	6	55
60 代	5	2	16	14	28	2	0	5	72
70 代	2	1	2	9	18	0	0	3	35
80 歳以上	1	0	3	1	4	1	0	2	12

	問 12-⑤ 掃除								
	夫 又は ほとんど 男性	どちらかといえ ば 夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかといえ ば 妻又は女性	妻 又は ほとんど 女性	家族全 体	該 当 する 世 話 や 活 動 が ない	無 記 入	合 計
全体人数	18	21	124	136	279	56	2	43	679
全体 (%)	2.7	3.1	18.3	20.0	41.1	8.2	0.3	6.3	100.0
前回全体 (%)	1.3	1.6	15.5	18.3	44.5	6.9	0.6	11.4	
女性人数	2	7	60	60	206	36	2	19	392
女性 (%)	0.5	1.8	15.3	15.3	52.6	9.2	0.5	4.8	100.0
前回 (%)	0.6	1.7	12.4	17.4	53.9	7.3	0.0	6.7	
男性人数	16	14	64	75	72	20	0	23	284
男性 (%)	5.6	4.9	22.5	26.4	25.4	7.0	0.0	8.1	100.0
前回 (%)	2.2	1.4	19.4	19.4	32.4	6.5	1.4	17.3	
女性 18・19 歳	0	0	1	1	2	2	0	1	7
20 代	0	0	6	4	21	2	0	0	33
30 代	0	4	9	9	34	2	0	1	59
40 代	1	1	15	12	37	6	1	3	76
50 代	0	1	11	12	35	10	0	4	73
60 代	1	1	9	16	53	7	1	9	97
70 代	0	0	7	5	17	3	0	1	33
80 歳以上	0	0	2	1	7	4	0	0	14
男性 18・19 歳	0	0	1	0	2	1	0	0	4
20 代	0	0	3	5	6	3	0	2	19
30 代	1	3	12	9	9	4	0	2	40
40 代	5	2	11	12	11	4	0	2	47
50 代	2	4	13	14	13	3	0	6	55
60 代	6	1	19	20	17	3	0	6	72
70 代	1	3	3	12	12	1	0	3	35
80 歳以上	1	1	2	3	2	1	0	2	12

	問 12-⑥ 日常の買い物								
	夫 又は ほとんど 男性	どちらかといえ ば 夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかといえ ば 妻又は女性	妻 又は ほとんど 女性	家族全 体	該 当 する 世 話 や 活 動 が ない	無 記 入	合 計
全体人数	14	15	164	133	253	55	3	42	679
全体 (%)	2.1	2.2	24.2	19.6	37.3	8.1	0.4	6.2	100.0
前回 (%)	0.9	2.2	17.4	19.9	43.2	4.7	0.3	11.4	
女性人数	2	6	78	73	180	33	1	19	392
女性 (%)	0.5	1.5	19.9	18.6	45.9	8.4	0.3	4.8	100.0
前回 (%)	0.6	0.0	12.4	21.9	53.9	4.5	0.0	6.7	
男性人数	12	9	85	60	72	22	2	22	284
男性 (%)	4.2	3.2	29.9	21.1	25.4	7.7	0.7	7.7	100.0
前回 (%)	1.4	5.0	23.7	17.3	29.5	5.0	0.7	17.3	
女性 18・19 歳	1	0	0	1	1	3	0	1	7
20 代	0	0	6	8	14	5	0	0	33
30 代	0	1	15	9	32	1	0	1	59
40 代	0	1	18	11	36	6	1	3	76
50 代	0	0	9	17	34	9	0	4	73
60 代	1	2	20	18	42	5	0	9	97
70 代	0	0	7	8	15	2	0	1	33
80 歳以上	0	2	3	1	6	2	0	0	14
男性 18・19 歳	0	0	3	0	1	0	0	0	4
20 代	1	1	3	5	3	3	1	2	19
30 代	0	1	14	9	7	7	0	2	40
40 代	1	1	11	11	16	5	0	2	47
50 代	3	1	14	12	15	4	0	6	55
60 代	5	2	27	11	19	3	0	5	72
70 代	1	0	11	10	9	0	1	3	35
80 歳以上	1	3	2	2	2	0	0	2	12

	問 12-⑦ 小さい子どもの世話								
	夫 又はは男性 ほとんど	どちらかといえ ば 夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかといえ ば 妻又は女性	妻 又はは女性 ほとんど	家族全 体	該 当する世話 や 活動がない	無 記 入	合 計
全体人数	2	2	71	91	118	38	275	82	679
全体 (%)	0.3	0.3	10.5	13.4	17.4	5.6	40.5	12.1	100.0
前回 (%)	0.3	0.3	12.6	11.7	18.3	4.4	32.8	19.6	
女性人数	0	1	36	53	86	22	156	38	392
女性 (%)	0.0	0.3	9.2	13.5	21.9	5.6	39.8	9.7	100.0
前回 (%)	0.0	0.0	10.1	12.4	20.8	5.1	37.1	14.6	
男性人数	2	1	35	37	32	15	119	43	284
男性 (%)	0.7	0.4	12.3	13.0	11.3	5.3	41.9	15.1	100.0
前回 (%)	0.7	0.7	15.8	10.8	15.1	3.6	27.3	25.9	
女性 18・19 歳	0	0	0	0	1	1	4	1	7
20 代	0	0	4	5	6	2	16	0	33
30 代	0	1	11	11	17	3	15	1	59
40 代	0	0	7	14	20	5	25	5	76
50 代	0	0	1	12	18	5	31	6	73
60 代	0	0	9	10	17	3	44	14	97
70 代	0	0	4	0	5	2	16	6	33
80 歳以上	0	0	0	1	2	1	5	5	14
男性 18・19 歳	0	0	0	0	0	1	3	0	4
20 代	0	0	1	2	2	0	12	2	19
30 代	1	0	5	11	6	4	10	3	40
40 代	0	1	14	6	7	5	12	2	47
50 代	0	0	6	5	5	1	30	8	55
60 代	1	0	8	11	10	1	27	14	72
70 代	0	0	0	1	2	3	19	10	35
80 歳以上	0	0	1	1	0	0	6	4	12

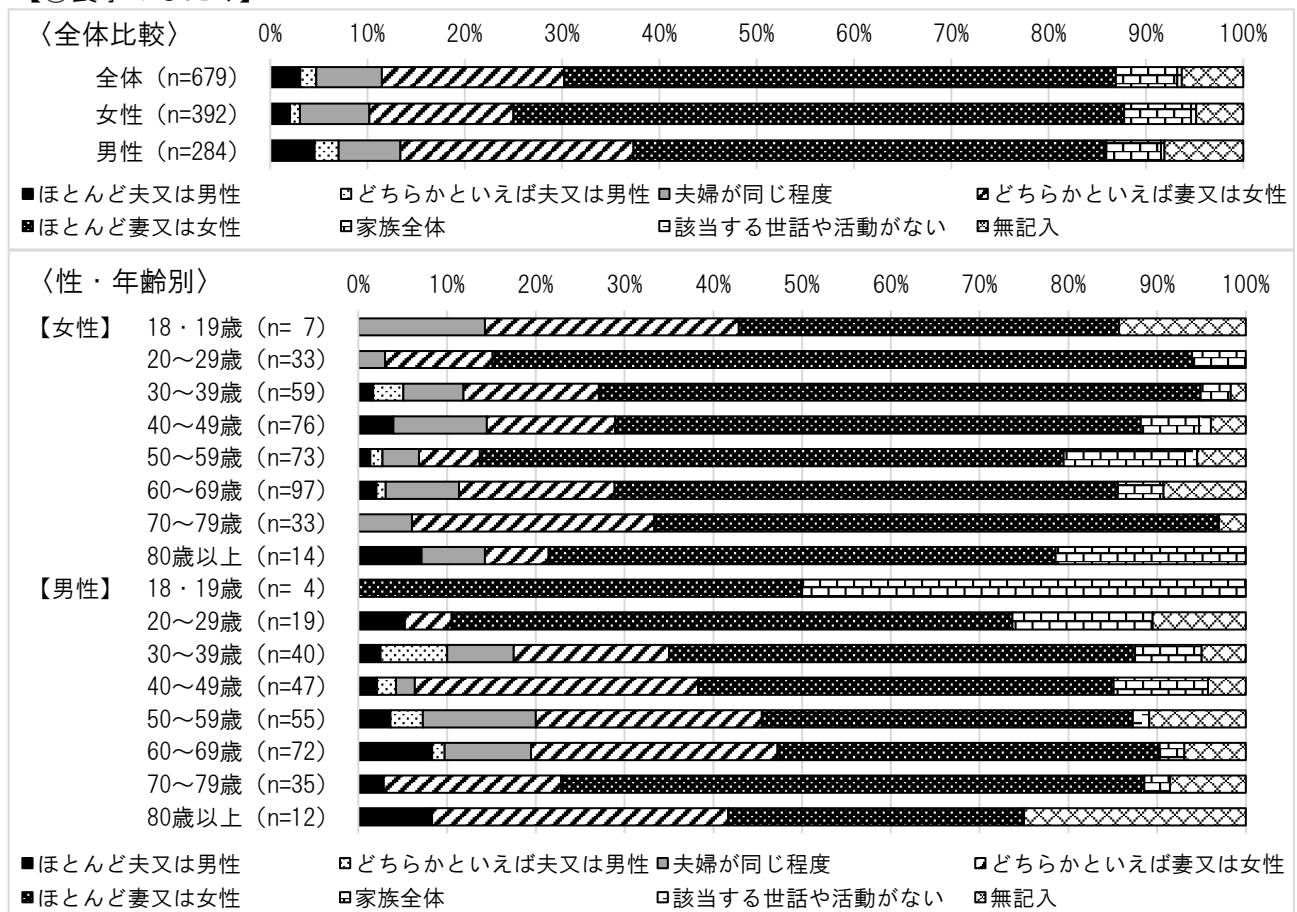
	問 12-⑧ 保育所・幼稚園等への送迎								
	夫 又はは男性 ほとんど	どちらかといえ ば 夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかといえ ば 妻又は女性	妻 又はは女性 ほとんど	家族全 体	該 当する世話 や 活動がない	無 記 入	合 計
全体人数	12	7	53	56	113	34	315	89	679
全体 (%)	1.8	1.0	7.8	8.2	16.6	5.0	46.4	13.1	100.0
前回 (%)	1.9	3.2	6.3	5.7	14.8	3.8	42.0	22.4	
女性人数	3	3	30	31	77	23	183	42	392
女性 (%)	0.8	0.8	7.7	7.9	19.6	5.9	46.7	10.7	100.0
前回 (%)	0.6	1.7	5.1	5.6	19.7	3.4	46.1	18.0	
男性人数	9	4	23	25	35	11	131	46	284
男性 (%)	3.2	1.4	8.1	8.8	12.3	3.9	46.1	16.2	100.0
前回 (%)	3.6	5.0	7.9	5.8	8.6	4.3	36.7	28.1	
女性 18・19 歳	0	0	0	0	1	1	4	1	7
20 代	0	0	3	3	6	2	19	0	33
30 代	2	1	8	5	18	4	20	1	59
40 代	1	1	7	7	22	4	29	5	76
50 代	0	0	3	7	14	8	34	7	73
60 代	0	1	7	7	11	2	54	15	97
70 代	0	0	2	2	3	1	18	7	33
80 歳以上	0	0	0	0	2	1	5	6	14
男性 18・19 歳	0	0	0	0	0	1	3	0	4
20 代	0	0	2	1	2	0	12	2	19
30 代	1	0	4	6	8	4	14	3	40
40 代	4	1	5	8	5	4	18	2	47
50 代	0	2	5	4	6	1	29	8	55
60 代	3	1	4	4	13	1	31	15	72
70 代	1	0	2	1	1	0	18	12	35
80 歳以上	0	0	1	1	0	0	6	4	12

	問 12-⑨ 介護の必要な高齢者・病人の世話								
	夫 又はは男性 ほとんど	どちらかといえ ば 夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかといえ ば 妻又は女性	妻 又はは女性 ほとんど	家族全 体	該 当する世話 や 活動がない	無 記 入	合 計
全体人数	12	9	51	59	88	44	340	76	679
全体 (%)	1.8	1.3	7.5	8.7	13.0	6.5	50.1	11.2	100.0
前回 (%)	0.3	3.2	6.0	7.9	13.9	3.5	44.2	21.1	
女性人数	2	3	26	32	69	28	199	33	392
女性 (%)	0.5	0.8	6.6	8.2	17.6	7.1	50.8	8.4	100.0
前回 (%)	0.0	1.1	5.1	8.4	19.7	1.1	48.9	15.7	
男性人数	10	6	25	27	19	16	139	42	284
男性 (%)	3.5	2.1	8.8	9.5	6.7	5.6	48.9	14.8	100.0
前回 (%)	0.7	5.8	7.2	7.2	6.5	6.5	38.1	28.1	
女性 18・19 歳	0	0	0	1	0	0	5	1	7
20 代	0	0	3	5	5	1	18	1	33
30 代	1	0	3	2	6	5	41	1	59
40 代	0	3	4	5	11	4	45	4	76
50 代	0	0	5	9	18	8	28	5	73
60 代	1	0	10	9	15	5	45	12	97
70 代	0	0	1	1	10	2	13	6	33
80 歳以上	0	0	0	0	4	3	4	3	14
男性 18・19 歳	0	1	0	0	0	0	3	0	4
20 代	0	0	1	3	1	1	11	2	19
30 代	1	0	5	1	1	4	23	5	40
40 代	0	2	6	4	2	4	27	2	47
50 代	3	1	2	8	4	3	26	8	55
60 代	5	2	11	8	8	3	25	10	72
70 代	1	0	0	2	1	1	19	11	35
80 歳以上	0	0	0	1	2	0	5	4	12

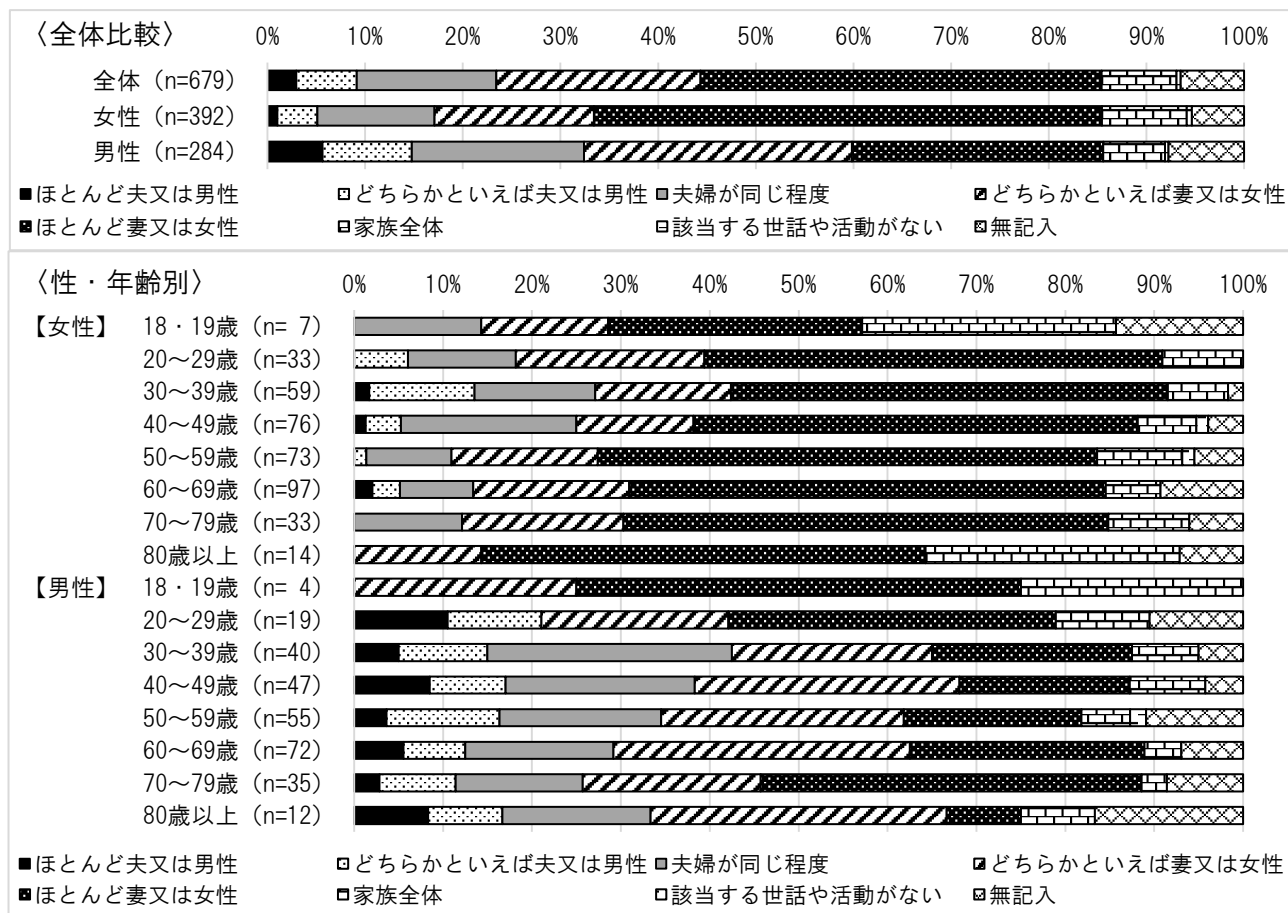
	問 12-⑩ 地域の活動、自治会・町内会								
	夫 又はは男性 ほとんど	どちらかといえ ば 夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかといえ ば 妻又は女性	妻 又はは女性 ほとんど	家族全 体	該 当する世話 や 活動がない	無 記 入	合 計
全体人数	205	169	107	20	41	65	29	43	679
全体 (%)	30.2	24.9	15.8	2.9	6.0	9.6	4.3	6.3	100.0
前回 (%)	22.1	32.2	13.2	3.8	8.5	4.1	3.2	12.9	
女性人数	84	98	77	15	33	51	15	19	392
女性 (%)	21.4	25.0	19.6	3.8	8.4	13.0	3.8	4.8	100.0
前回 (%)	18.5	32.6	16.9	5.1	12.9	3.9	2.8	7.3	
男性人数	120	70	30	5	8	14	14	23	284
男性 (%)	42.3	24.6	10.6	1.8	2.8	4.9	4.9	8.1	100.0
前回調査 (%)	26.6	31.7	8.6	2.2	2.9	4.3	3.6	20.1	
女性 18・19 歳	2	2	0	0	0	1	1	1	7
20 代	6	8	8	1	3	5	2	0	33
30 代	15	15	7	2	8	7	4	1	59
40 代	16	23	15	1	4	10	4	3	76
50 代	13	18	18	4	7	9	0	4	73
60 代	25	22	20	4	5	9	3	9	97
70 代	3	8	8	2	5	5	1	1	33
80 歳以上	4	2	1	1	1	5	0	0	14
男性 18・19 歳	1	0	1	0	0	0	2	0	4
20 代	7	3	2	1	1	1	2	2	19
30 代	13	8	8	0	1	6	2	2	40
40 代	25	9	2	2	1	2	4	2	47
50 代	23	17	3	1	2	1	2	6	55
60 代	31	20	11	1	1	2	1	5	72
70 代	12	12	3	0	1	2	1	4	35
80 歳以上	8	1	0	0	1	0	0	2	12

	問 12-⑪ 子どもの学校の活動・行事								
	ほとんど 夫又は男性	どちらかといえ ば夫又は男性	夫婦が同じ程 度	どちらかといえ ば妻又は女性	ほとんど 妻又は女性	家族全 体	該当する世話 や活動がない	無記入	合 計
全体人数	9	16	114	85	83	21	272	79	679
全体 (%)	1.3	2.4	16.8	12.5	12.2	3.1	40.1	11.6	100.0
前回 (%)	0.9	2.2	12.9	12.0	14.5	1.3	34.7	21.5	
女性人数	1	1	63	55	68	14	155	35	392
女性 (%)	0.3	0.3	16.1	14.0	17.3	3.6	39.5	8.9	100.0
前回 (%)	1.1	1.1	10.7	12.9	20.2	1.7	36.0	16.3	
男性人数	8	14	51	30	15	7	116	43	284
男性 (%)	2.8	4.9	18.0	10.6	5.3	2.5	40.8	15.1	100.0
前回 (%)	0.7	3.6	15.8	10.8	7.2	0.7	33.1	28.1	
女性 18・19 歳	0	0	1	0	1	1	3	1	7
20 代	0	0	4	6	7	1	14	1	33
30 代	0	0	16	14	11	2	15	1	59
40 代	1	0	12	13	22	3	20	5	76
50 代	0	0	12	10	18	3	26	4	73
60 代	0	1	11	9	5	1	56	14	97
70 代	0	0	6	2	2	1	16	6	33
80 歳以上	0	0	1	1	2	2	5	3	14
男性 18・19 歳	0	0	2	0	0	1	1	0	4
20 代	0	1	3	0	1	0	12	2	19
30 代	0	2	11	7	2	2	13	3	40
40 代	5	8	11	5	4	1	11	2	47
50 代	1	0	12	8	4	1	21	8	55
60 代	1	1	12	9	3	0	32	14	72
70 代	1	1	0	0	1	2	20	10	35
80 歳以上	0	1	0	1	0	0	6	4	12

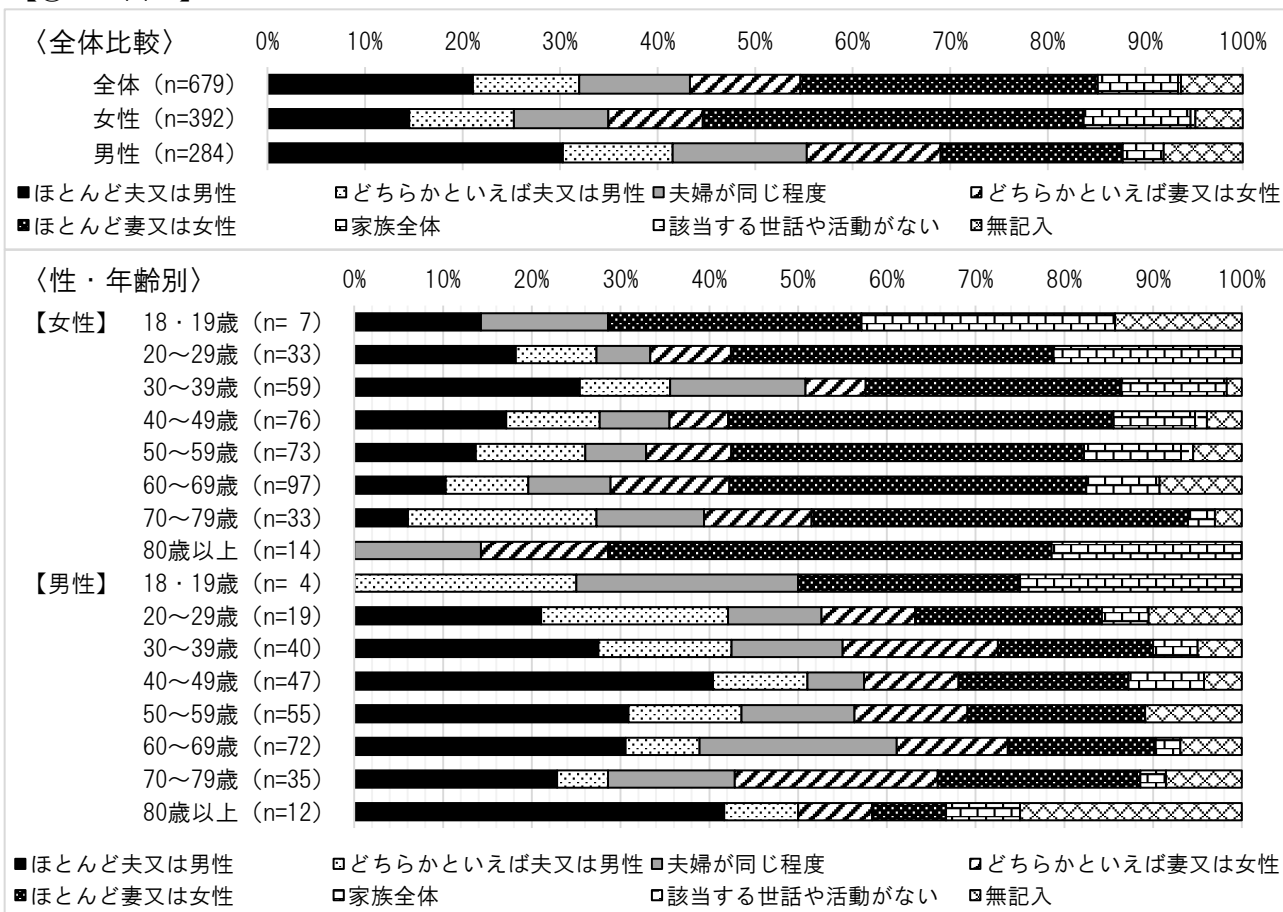
【①食事のしたく】



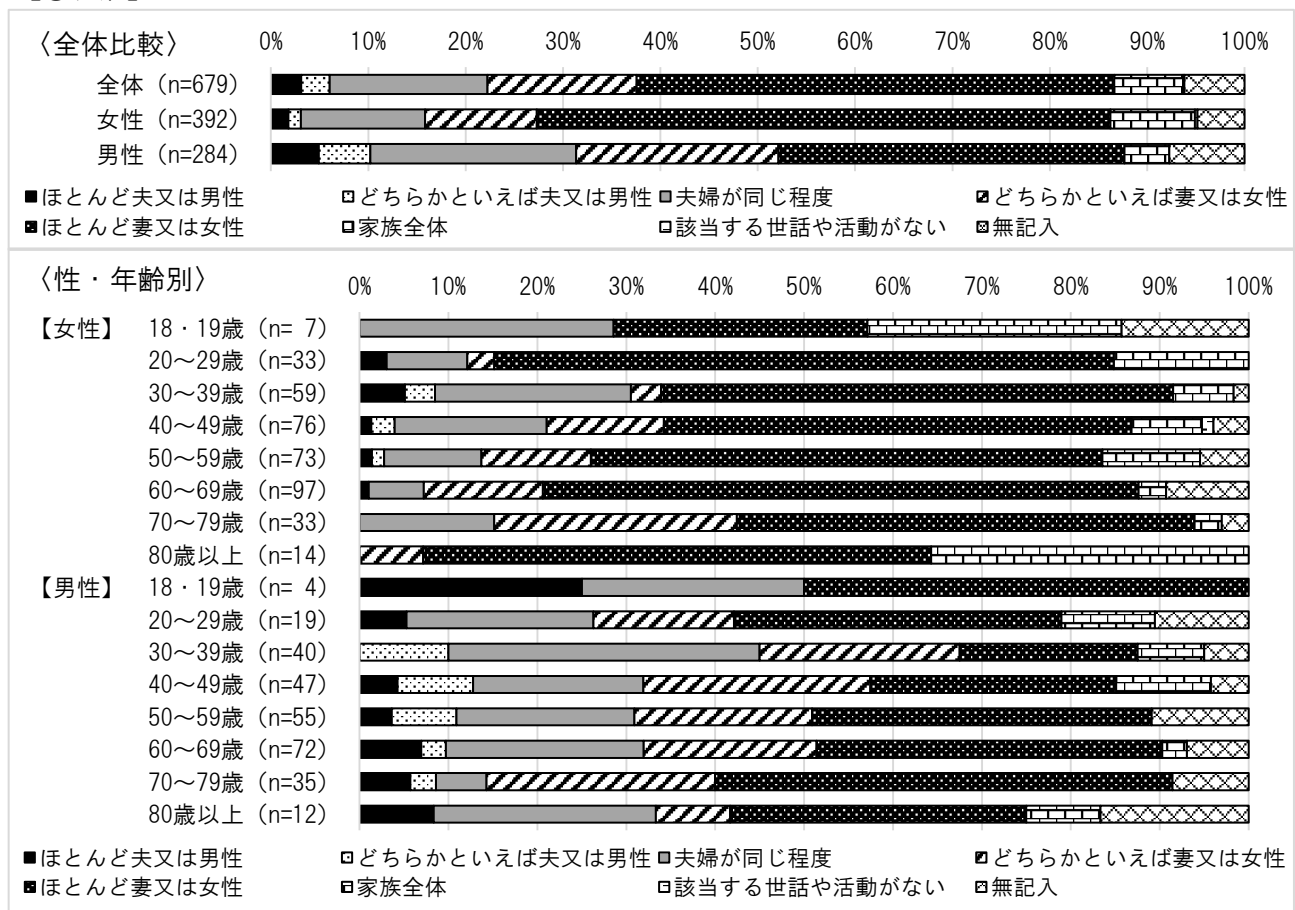
【②食事の片づけ】



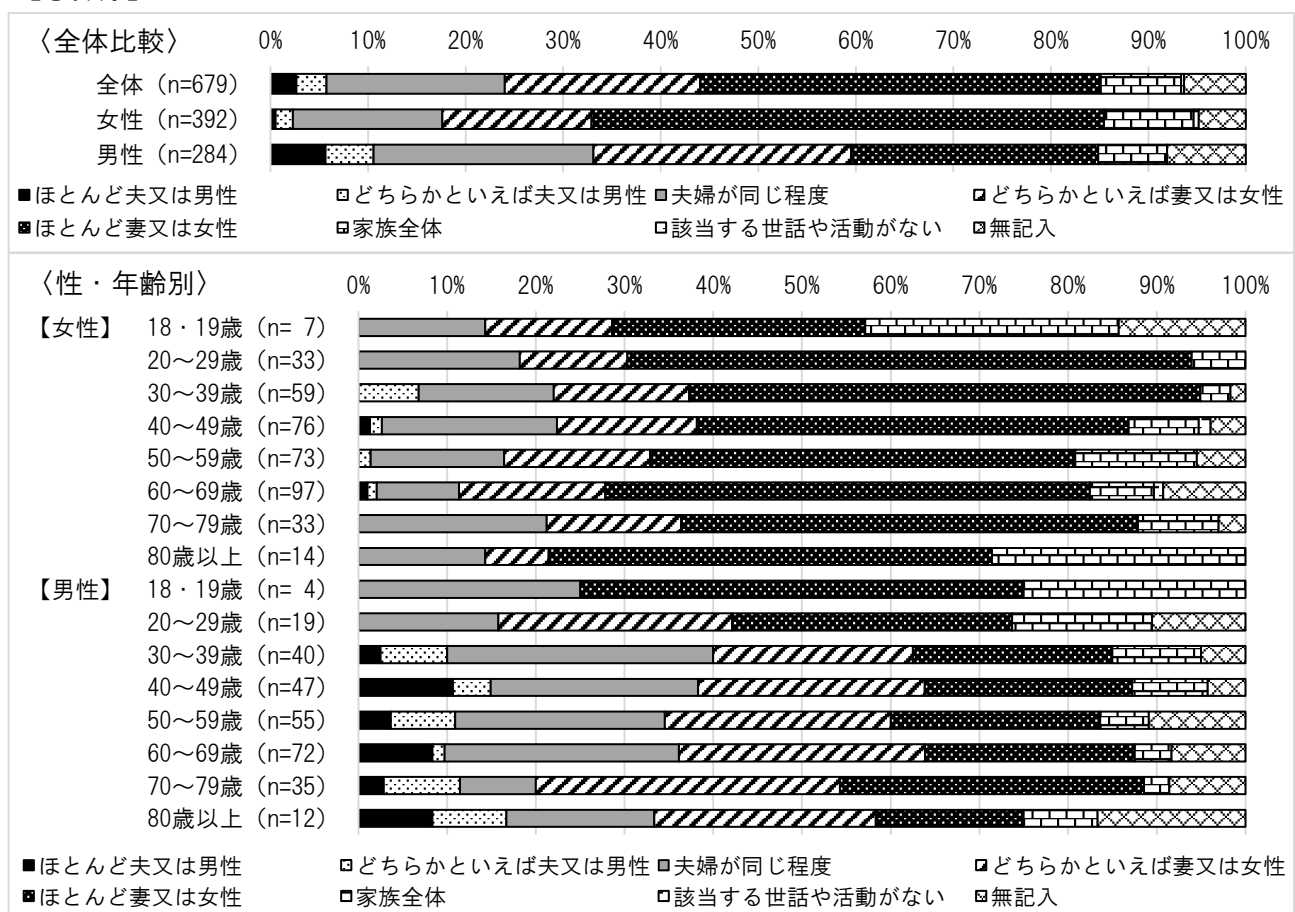
【③ゴミ出し】



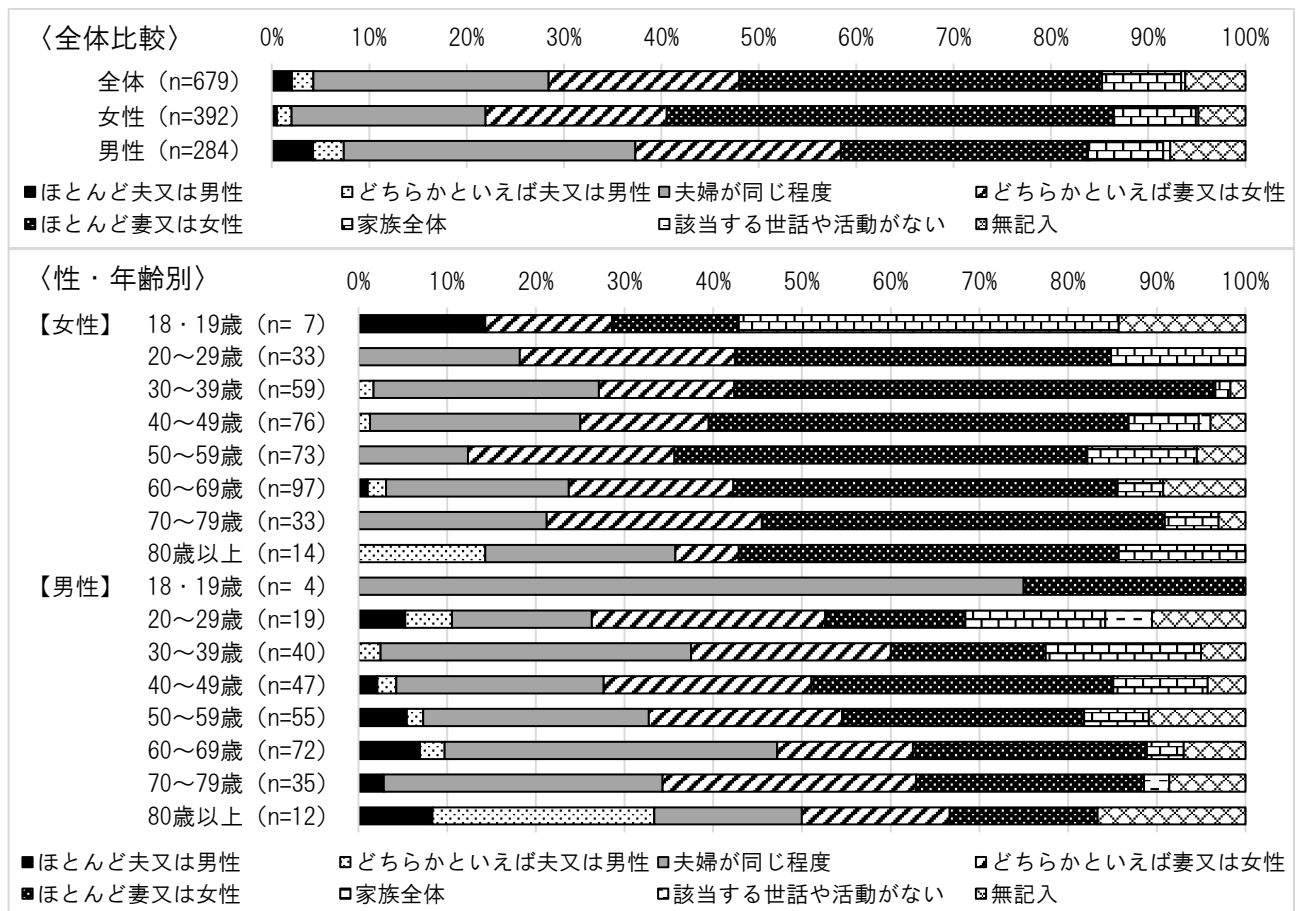
【④洗濯】



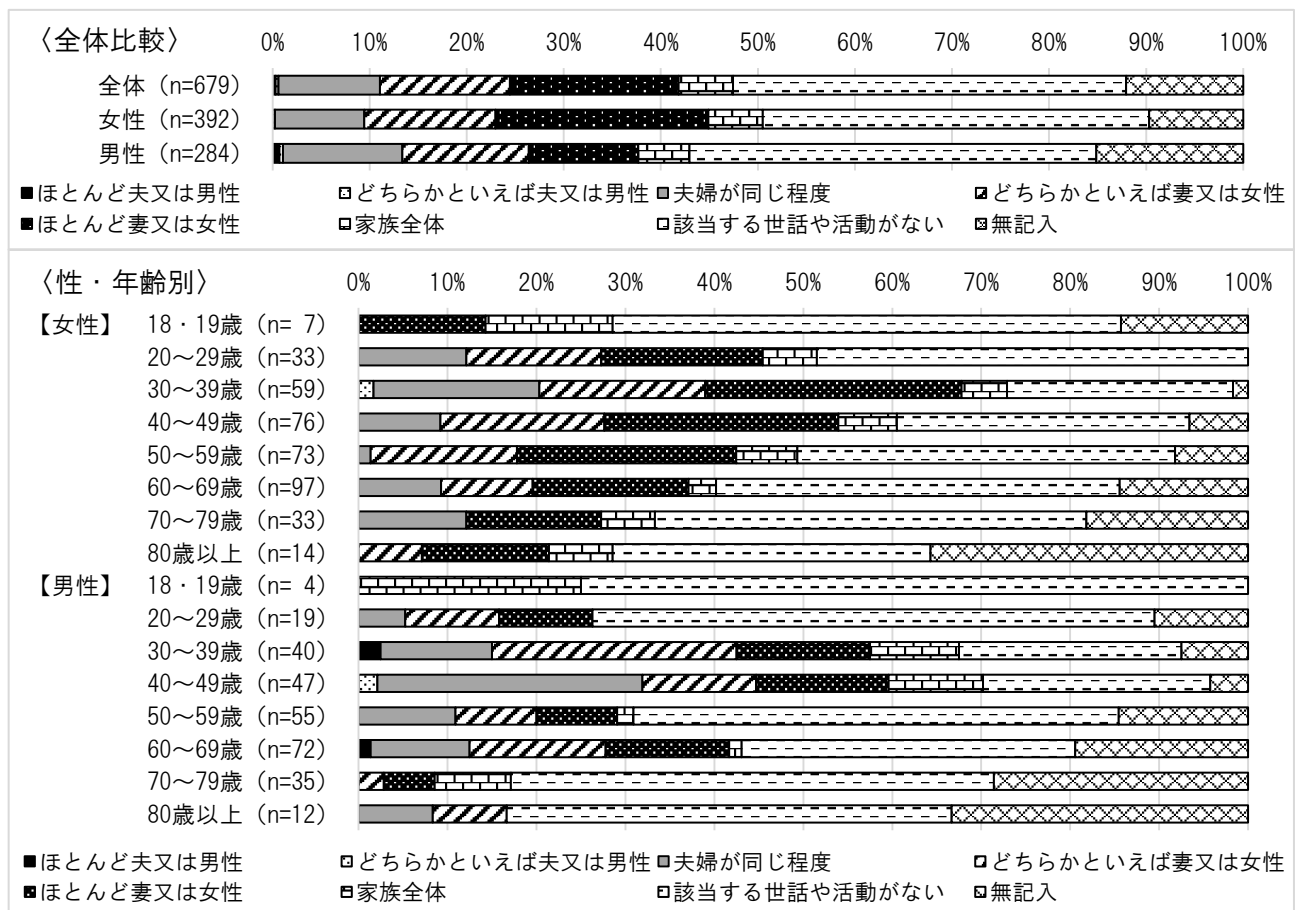
【⑤掃除】



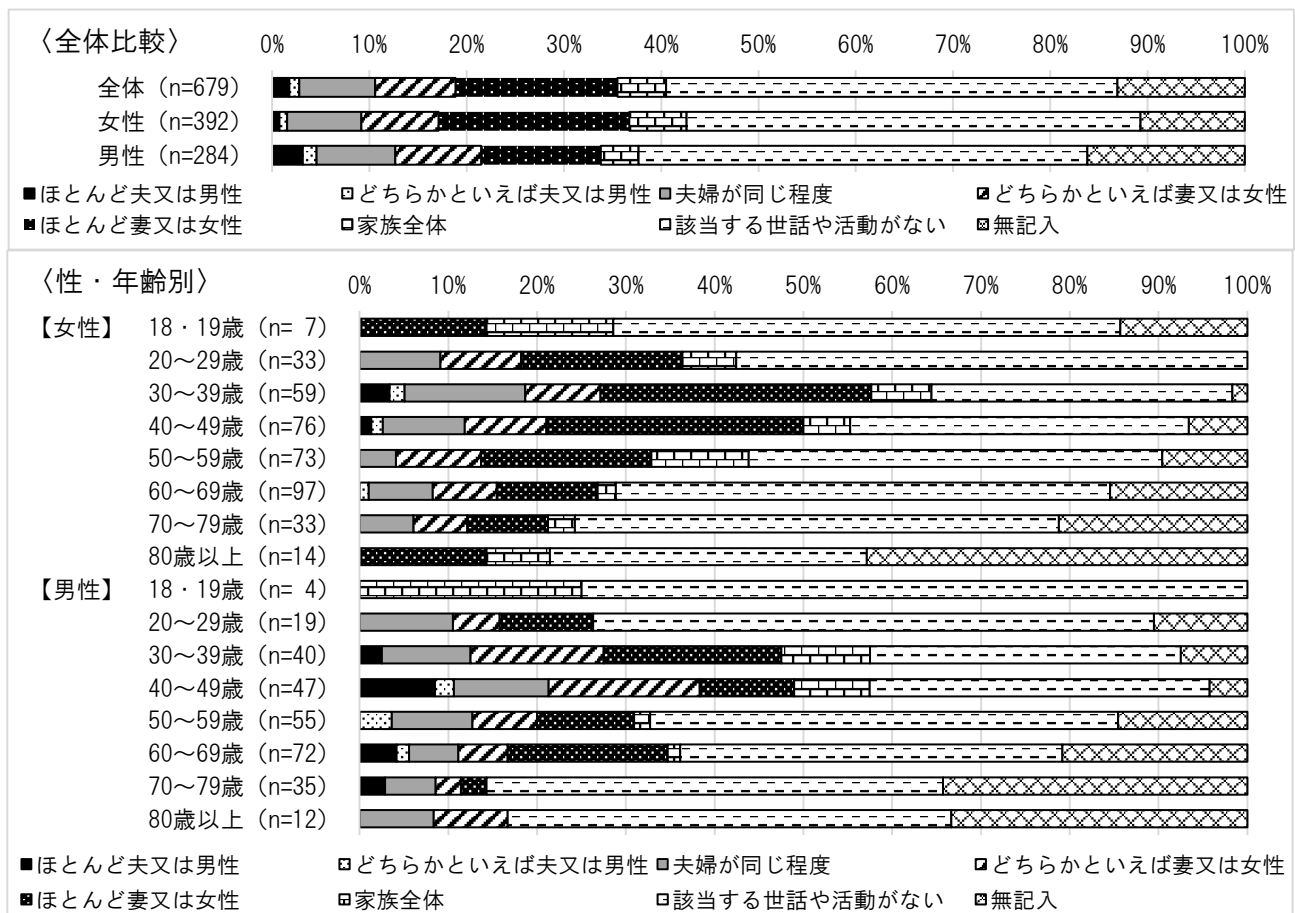
【⑥日常の買い物】



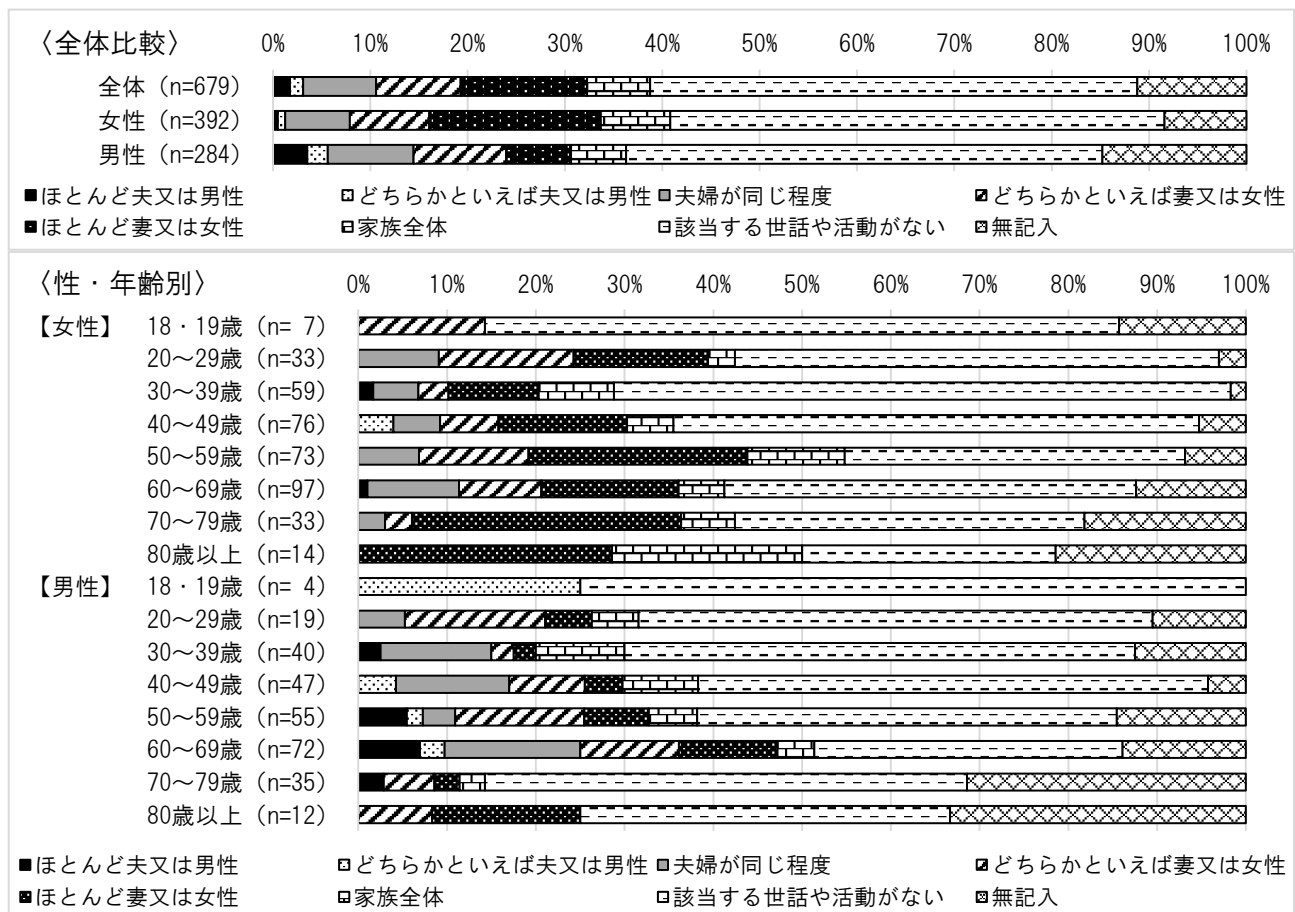
【⑦小さい子どもの世話】



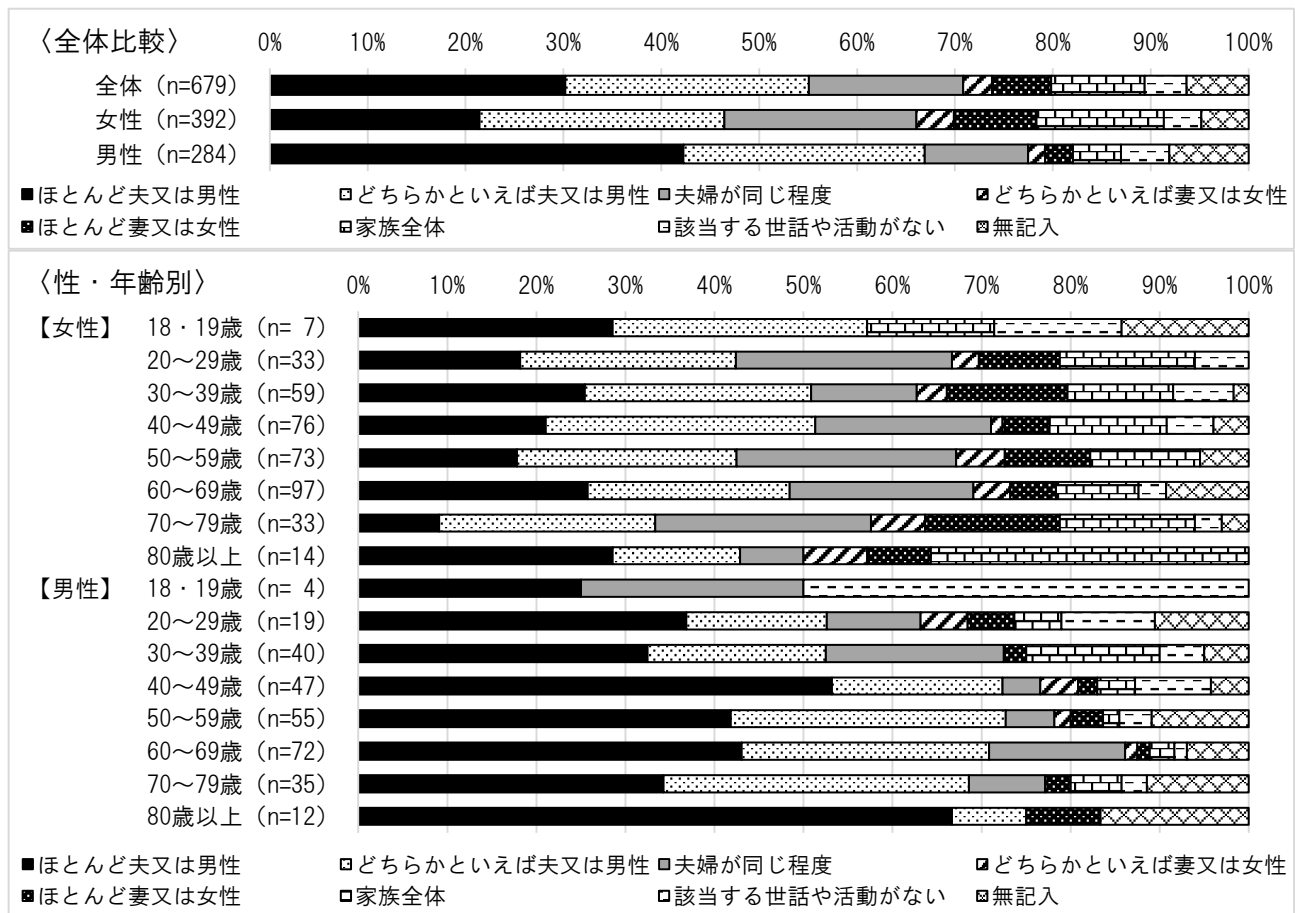
【⑧保育所・幼稚園等への送迎】



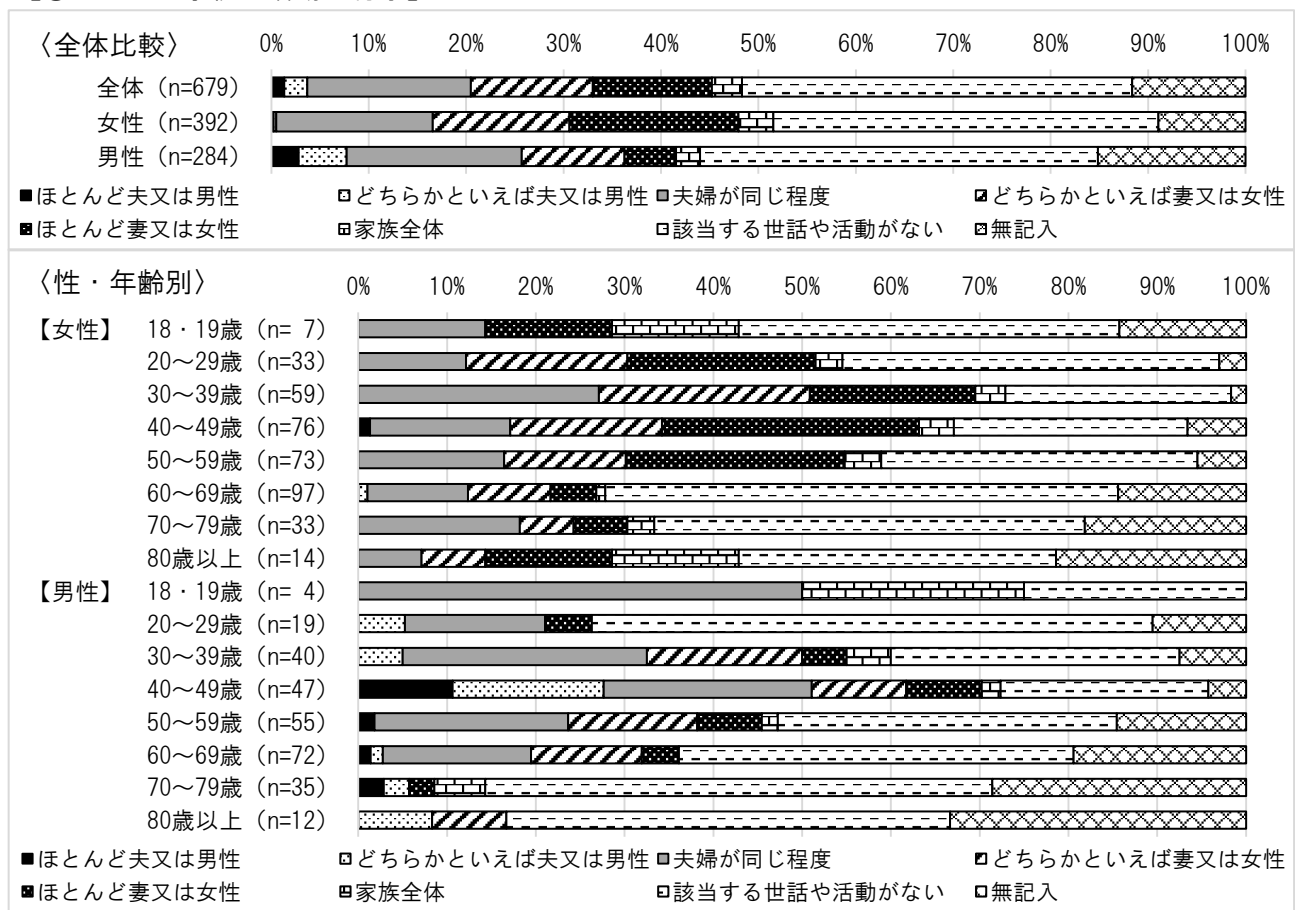
【⑨介護の必要な高齢者・病人の世話】



【⑩地域の活動、自治会・町内会】



【⑪子どもの学校の活動・行事】

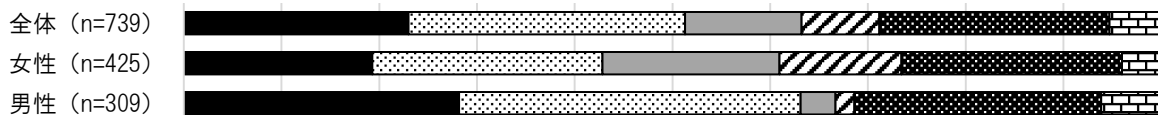


問 1 3 現在の家事分担について、あなたは満足していますか。

【あてはまる数字1つに○】

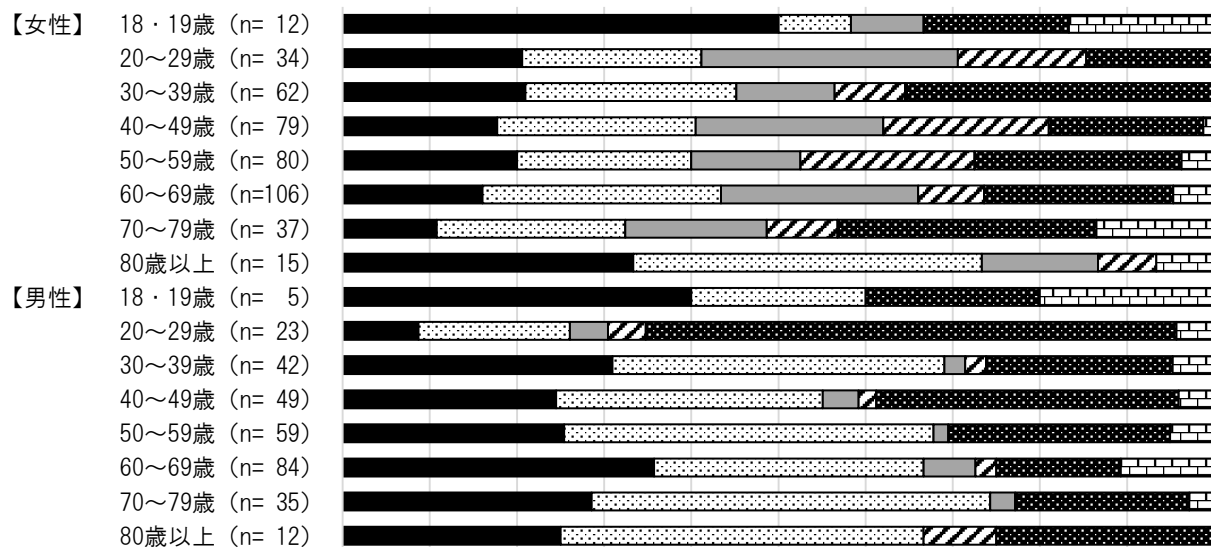
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	どちらともいえない	無記入	合計
全体人数	170	209	88	59	174	39	739
全体 (%)	23.0	28.3	11.9	8.0	23.5	5.3	100.0
前回 (%)	18.7	23.2	15.4	9.6	26.2	6.9	
女性人数	82	100	77	53	96	17	425
女性 (%)	19.3	23.5	18.1	12.5	22.6	4.0	100.0
前回 (%)	12.9	19.4	25.8	14.0	22.6	5.4	
男性人数	87	108	11	6	78	19	309
男性 (%)	28.2	35.0	3.6	1.9	25.2	6.1	100.0
前回 (%)	26.0	28.1	2.1	4.1	30.8	8.9	
女性 18・19 歳	6	1	1	0	2	2	12
20 代	7	7	10	5	5	0	34
30 代	13	15	7	5	22	0	62
40 代	14	18	17	15	14	1	79
50 代	16	16	10	16	19	3	80
60 代	17	29	24	8	23	5	106
70 代	4	8	6	3	11	5	37
80 歳以上	5	6	2	1	0	1	15
男性 18・19 歳	2	1	0	0	1	1	5
20 代	2	4	1	1	14	1	23
30 代	13	16	1	1	9	2	42
40 代	12	15	2	1	17	2	49
50 代	15	25	1	0	15	3	59
60 代	30	26	5	2	12	9	84
70 代	10	16	1	0	7	1	35
80 歳以上	3	5	0	1	3	0	12

〈全体比較〉 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 □不満 ■どちらともいえない □無記入

〈性・年齢別〉 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 □不満 ■どちらともいえない □無記入

問 1 4 次にあげる子育てに対する考え方について、あなたはどのように思いますか。

【①～⑥の項目それぞれについて、あてはまる数字 1 つに○】

問 14-① 女の子は「女らしく」、男の子は「男らしく」育てるのがよい							
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無記入	合計
全体人数	58	211	109	263	65	33	739
全体 (%)	7.8	28.6	14.7	35.6	8.8	4.5	100.0
前回 (%)	13.3	31.9	14.2	29.8	5.1	5.7	
女性人数	22	90	67	186	40	20	425
女性 (%)	5.2	21.2	15.8	43.8	9.4	4.7	100.0
前回 (%)	8.1	28.0	18.8	36.0	5.4	3.8	
男性人数	36	121	42	74	25	11	309
男性 (%)	11.7	39.2	13.6	23.9	8.1	3.6	100.0
前回 (%)	19.9	37.0	8.2	21.9	4.8	8.2	
女性 18・19 歳	0	0	2	7	1	2	12
20 代	0	9	3	17	5	0	34
30 代	3	9	12	34	4	0	62
40 代	2	9	18	36	12	2	79
50 代	6	16	12	38	6	2	80
60 代	7	31	15	43	6	4	106
70 代	4	10	4	8	4	7	37
80 歳以上	0	6	1	3	2	3	15
男性 18・19 歳	0	1	1	1	1	1	5
20 代	2	5	2	11	3	0	23
30 代	4	14	7	10	5	2	42
40 代	7	14	8	15	4	1	49
50 代	6	27	8	12	6	0	59
60 代	12	35	9	17	4	7	84
70 代	4	20	7	4	0	0	35
80 歳以上	1	5	0	4	2	0	12

問 14-② 女の子も、経済的自立ができるように育てるのがよい							
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無記入	合計
全体人数	480	184	15	9	23	28	739
全体 (%)	65.0	24.9	2.0	1.2	3.1	3.8	100.0
前回 (%)	58.7	32.5	1.5	0.6	1.5	5.1	
女性人数	289	95	9	6	11	15	425
女性 (%)	68.0	22.4	2.1	1.4	2.6	3.5	100.0
前回 (%)	61.3	32.8	1.1	0.5	1.6	2.7	
男性人数	188	89	6	3	12	11	309
男性 (%)	60.8	28.8	1.9	1.0	3.9	3.6	100.0
前回 (%)	55.5	32.2	2.1	0.7	1.4	8.2	
女性 18・19 歳	10	0	0	0	0	2	12
20 代	23	8	2	0	1	0	34
30 代	43	14	1	1	3	0	62
40 代	56	17	1	1	3	1	79
50 代	60	15	1	1	2	1	80
60 代	67	30	3	2	2	2	106
70 代	22	7	1	1	0	6	37
80 歳以上	8	4	0	0	0	3	15
男性 18・19 歳	3	1	0	0	0	1	5
20 代	16	5	1	0	1	0	23
30 代	26	14	0	1	0	1	42
40 代	35	10	0	1	2	1	49
50 代	37	19	1	0	2	0	59
60 代	48	21	3	1	5	6	84
70 代	18	14	1	0	0	2	35
80 歳以上	5	5	0	0	2	0	12

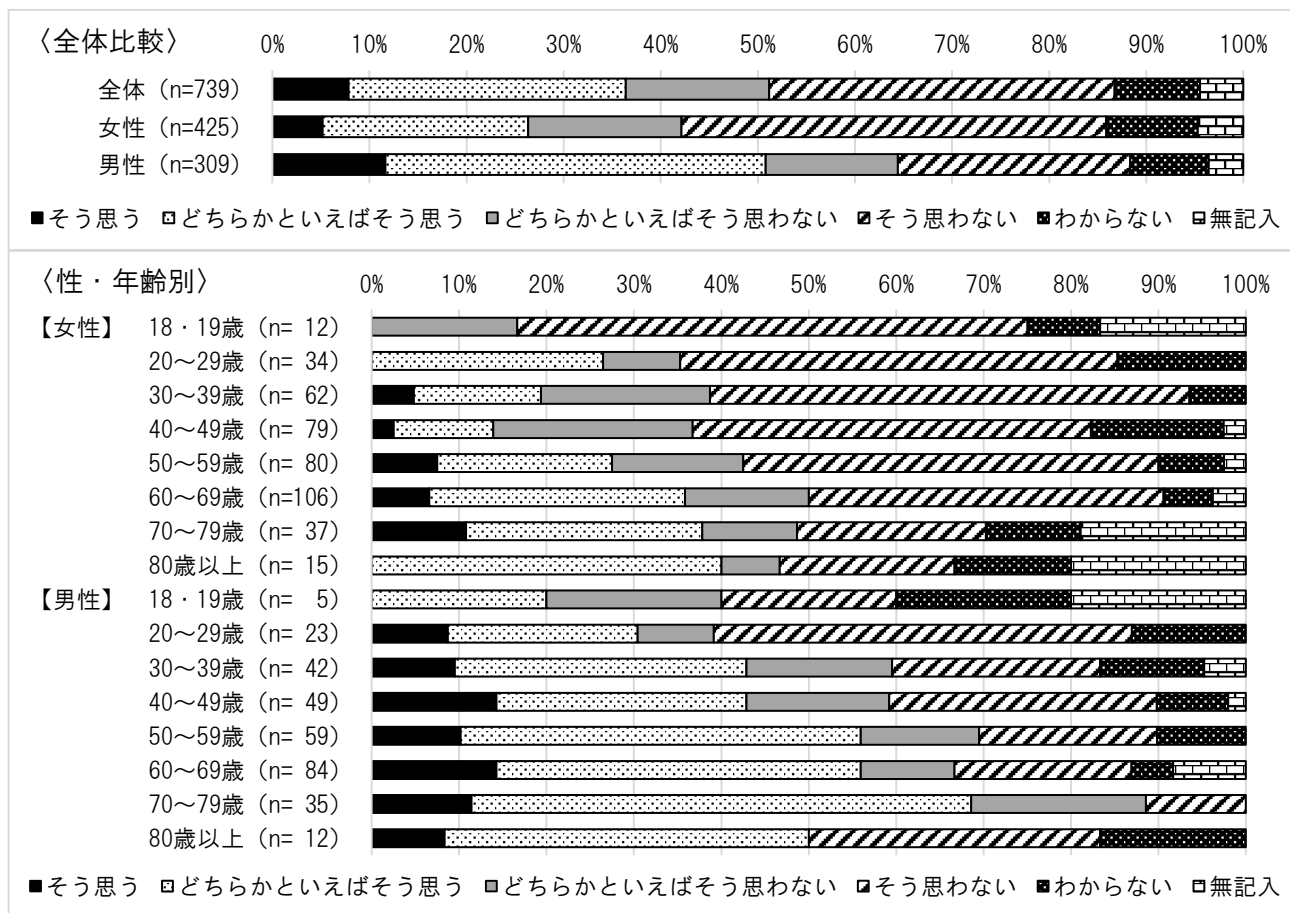
問 14-③ 男の子も、家事ができるように育てるのがよい							
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無記入	合計
全体人数	484	195	8	4	19	29	739
全体 (%)	65.5	26.4	1.1	0.5	2.6	3.9	100.0
前回 (%)	54.5	35.8	1.5	1.8	1.2	5.1	
女性人数	302	90	4	4	8	17	425
女性 (%)	71.1	21.2	0.9	0.9	1.9	4.0	100.0
前回 (%)	61.3	33.3	0.5	1.6	0.5	2.7	
男性人数	179	105	4	0	11	10	309
男性 (%)	57.9	34.0	1.3	0.0	3.6	3.2	100.0
前回 (%)	45.9	39.0	2.7	2.1	2.1	8.2	
女性 18・19 歳	10	0	0	0	0	2	12
20 代	27	5	1	0	1	0	34
30 代	46	14	1	0	1	0	62
40 代	63	12	1	1	1	1	79
50 代	62	14	1	1	1	1	80
60 代	70	27	0	2	4	3	106
70 代	15	16	0	0	0	6	37
80 歳以上	9	2	0	0	0	4	15
男性 18・19 歳	2	2	0	0	0	1	5
20 代	16	7	0	0	0	0	23
30 代	27	12	1	0	0	2	42
40 代	38	8	0	0	2	1	49
50 代	29	26	2	0	2	0	59
60 代	47	28	0	0	3	6	84
70 代	17	16	1	0	1	0	35
80 歳以上	3	6	0	0	3	0	12

問 14-④ 母親は、子どもが 3 歳になるまでは育児に専念するのがよい							
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無記入	合計
全体人数	70	186	130	224	100	29	739
全体 (%)	9.5	25.2	17.6	30.3	13.5	3.9	100.0
前回 (%)	13.6	29.5	14.8	22.9	13.9	5.4	
女性人数	33	102	77	140	57	16	425
女性 (%)	7.8	24.0	18.1	32.9	13.4	3.8	100.0
前回 (%)	10.2	30.1	15.1	26.9	14.5	3.2	
男性人数	37	84	51	84	42	11	309
男性 (%)	12.0	27.2	16.5	27.2	13.6	3.6	100.0
前回 (%)	17.8	28.8	14.4	17.8	13.0	8.2	
女性 18・19 歳	2	1	3	3	1	2	12
20 代	3	5	5	13	8	0	34
30 代	4	14	13	23	8	0	62
40 代	6	14	15	33	10	1	79
50 代	4	19	17	28	11	1	80
60 代	10	34	16	33	9	4	106
70 代	1	10	6	6	7	7	37
80 歳以上	3	5	2	1	3	1	15
男性 18・19 歳	0	1	1	1	1	1	5
20 代	4	7	3	7	2	0	23
30 代	2	8	8	16	6	2	42
40 代	5	7	12	16	8	1	49
50 代	4	22	10	12	11	0	59
60 代	11	26	10	21	9	7	84
70 代	8	9	7	9	2	0	35
80 歳以上	3	4	0	2	3	0	12

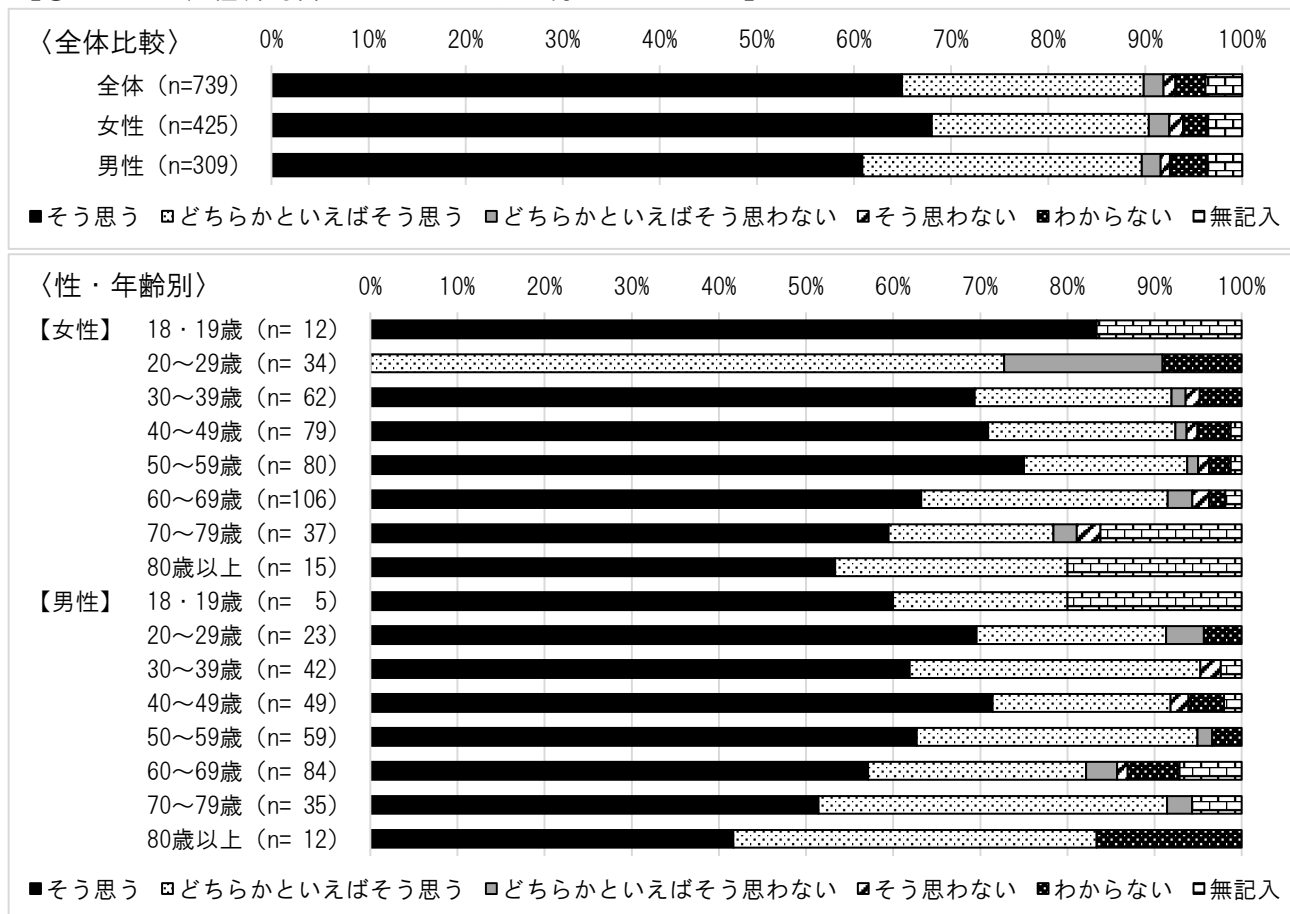
	問 14-⑤ 父親はもっと子育てに関わるのがよい						
	そう 思う	どちらかとい えば そう 思う	どちらかとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	397	258	11	9	36	28	739
全体 (%)	53.7	34.9	1.5	1.2	4.9	3.8	100.0
前回 (%)	45.5	42.5	1.5	2.1	3.0	5.4	
女性人数	253	128	7	4	17	16	425
女性 (%)	59.5	30.1	1.6	0.9	4.0	3.8	100.0
前回 (%)	48.9	45.2	0.5	0.0	2.2	3.2	
男性人数	143	128	4	5	19	10	309
男性 (%)	46.3	41.4	1.3	1.6	6.1	3.2	100.0
前回 (%)	41.1	39.0	2.7	4.8	4.1	8.2	
女性 18・19 歳	6	2	1	0	1	2	12
20 代	25	7	1	0	1	0	34
30 代	44	13	1	0	4	0	62
40 代	50	20	2	1	5	1	79
50 代	52	24	0	1	2	1	80
60 代	59	39	2	1	2	3	106
70 代	11	19	0	0	0	7	37
80 歳以上	6	4	0	1	2	2	15
男性 18・19 歳	1	2	0	0	1	1	5
20 代	14	8	1	0	0	0	23
30 代	18	17	2	1	2	2	42
40 代	32	12	0	0	4	1	49
50 代	24	30	0	1	4	0	59
60 代	39	33	0	3	3	6	84
70 代	12	21	1	0	1	0	35
80 歳以上	3	5	0	0	4	0	12

	問 14-⑥ 子育ては地域社会の支援も必要である						
	そう 思う	どちらかとい えば そう 思う	どちらかとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 記 入	合 計
全体人数	457	195	20	6	32	29	739
全体 (%)	61.8	26.4	2.7	0.8	4.3	3.9	100.0
前回 (%)	60.5	28.3	0.6	0.9	4.5	5.1	
女性人数	278	98	14	1	18	16	425
女性 (%)	65.4	23.1	3.3	0.2	4.2	3.8	100.0
前回 (%)	65.1	27.4	0.0	0.0	4.8	2.7	
男性人数	177	96	6	5	14	11	309
男性 (%)	57.3	31.1	1.9	1.6	4.5	3.6	100.0
前回 (%)	54.8	29.5	1.4	2.1	4.1	8.2	
女性 18・19 歳	10	0	0	0	0	2	12
20 代	25	7	1	0	1	0	34
30 代	44	14	1	0	3	0	62
40 代	55	19	1	0	3	1	79
50 代	50	20	4	0	5	1	80
60 代	66	28	5	1	3	3	106
70 代	21	7	2	0	0	7	37
80 歳以上	7	3	0	0	3	2	15
男性 18・19 歳	1	3	0	0	0	1	5
20 代	13	8	0	1	1	0	23
30 代	28	9	0	1	2	2	42
40 代	30	14	2	1	1	1	49
50 代	33	21	0	1	4	0	59
60 代	47	24	1	1	4	7	84
70 代	20	13	2	0	0	0	35
80 歳以上	5	4	1	0	2	0	12

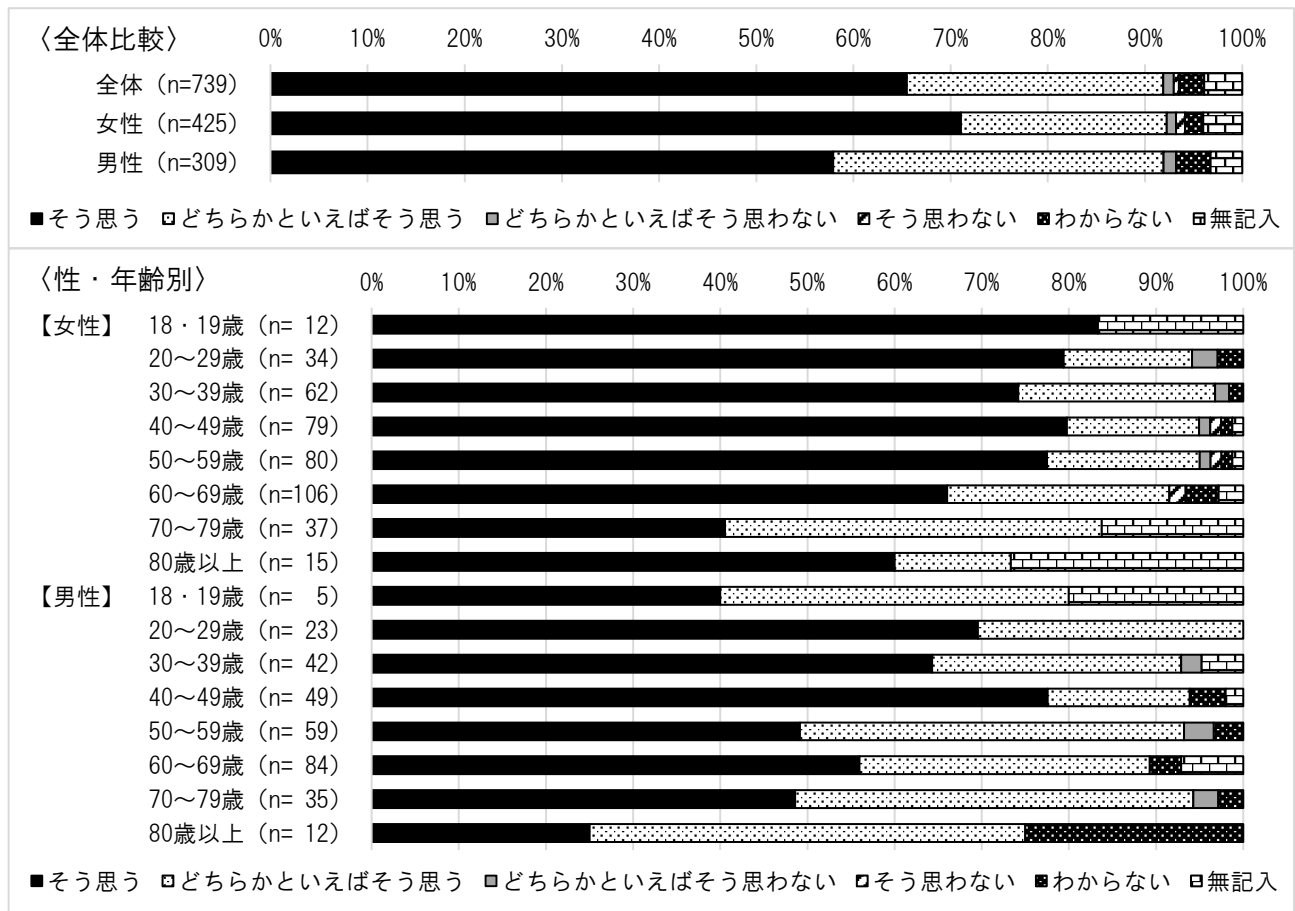
【①女の子は「女らしく」、男の子は「男らしく」育てるのがよい】



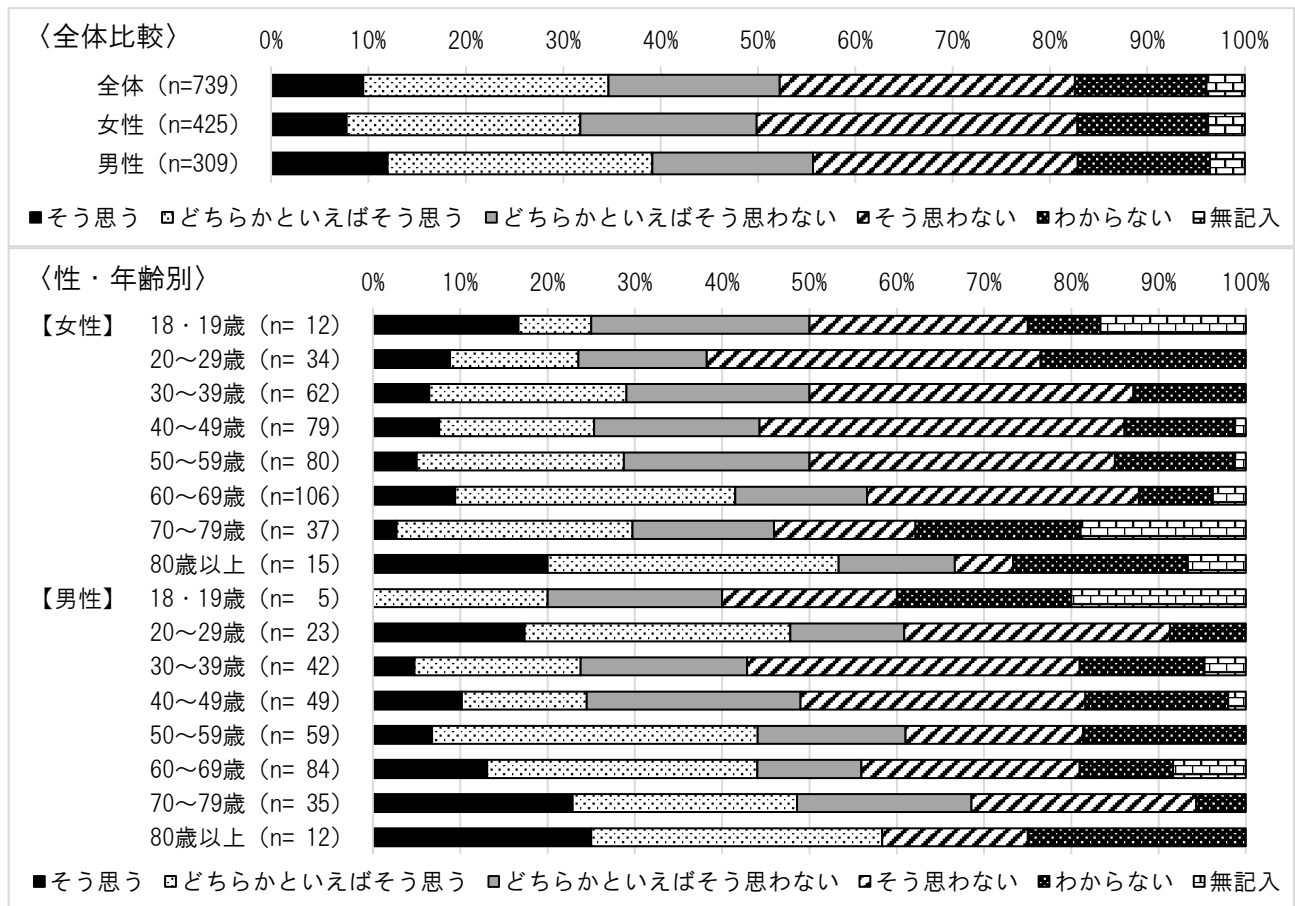
【②女の子も、経済的自立ができるように育てるのがよい】



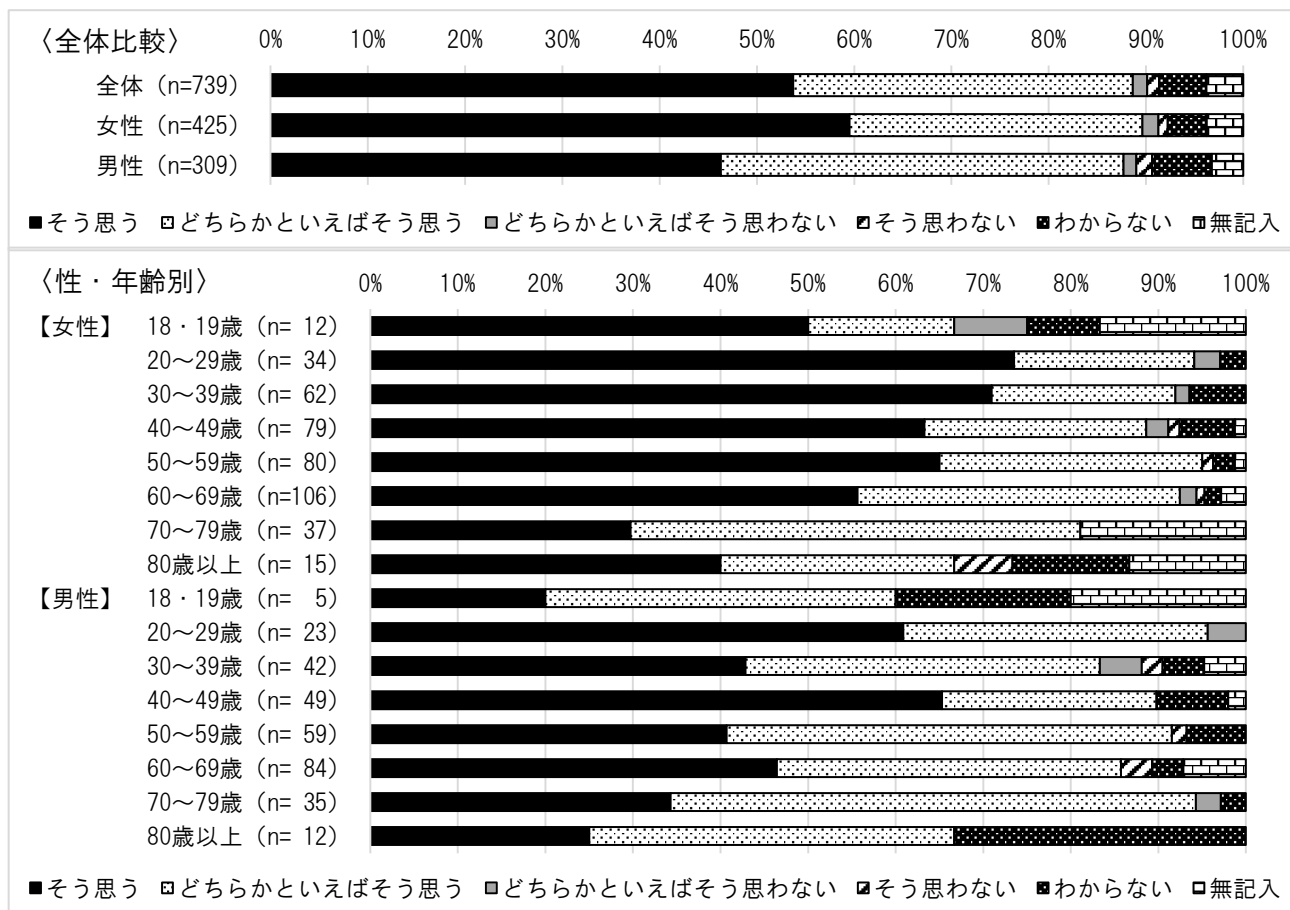
【③男の子も、家事ができるように育てるのがよい】



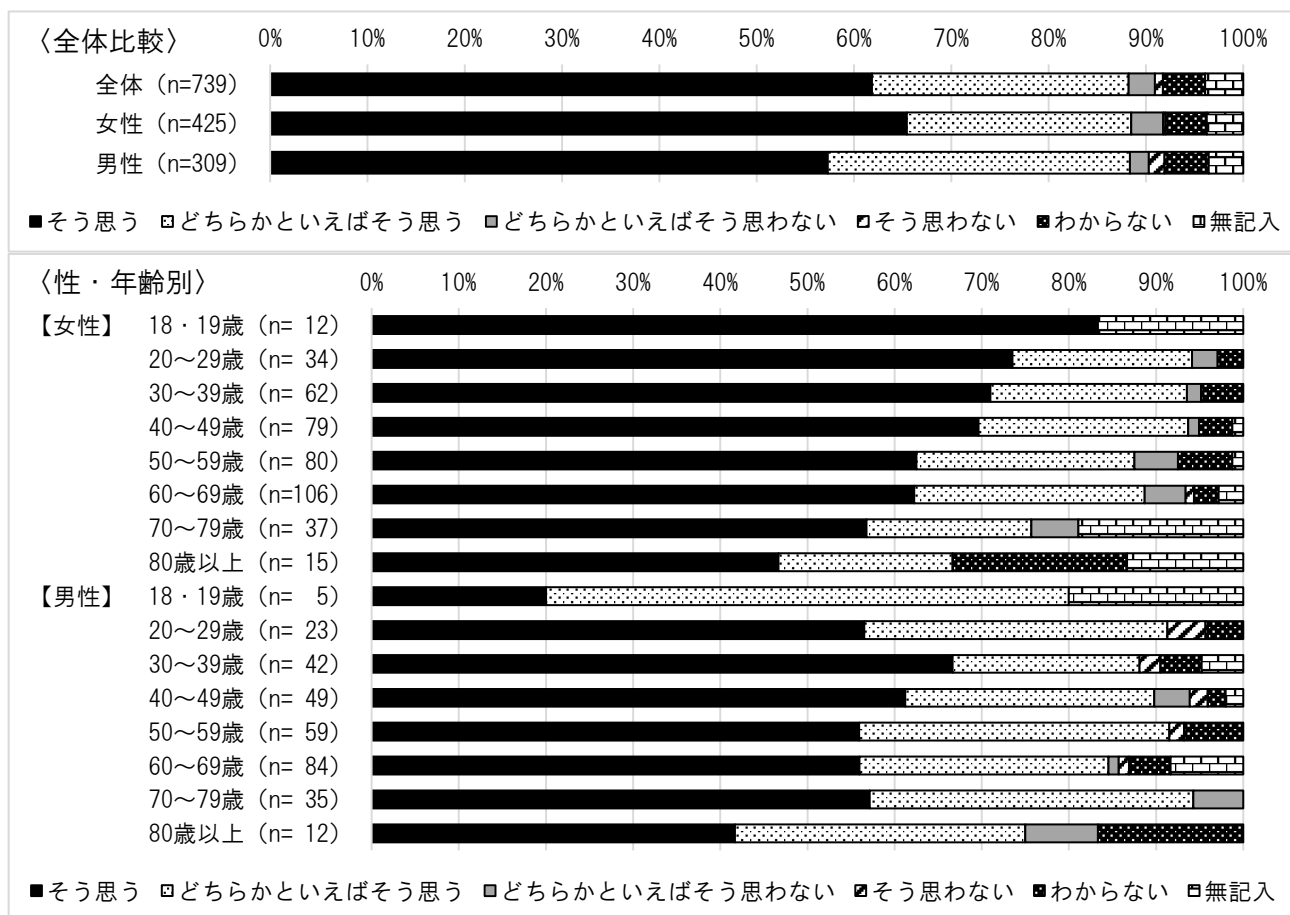
【④母親は、子どもが3歳になるまでは育児に専念するのがよい】



【⑤父親はもっと子育てに関わるのがよい】



【⑥子育ては地域社会の支援も必要である】

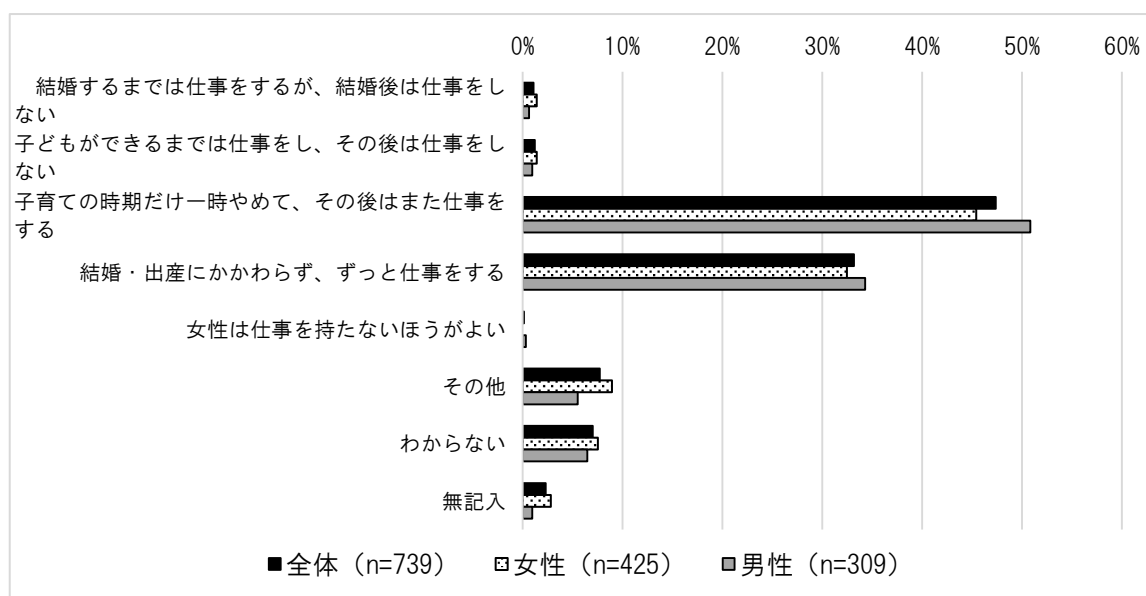


男女の就労についての質問です

問 1 5 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次のどれですか。

【あてはまる数字1つに○】

	結婚するまでは仕事を するが、結婚後は 仕事をしない	子どもができるまでは 仕事をし、その後は 仕事をしない	子育ての時期だけ 一時やめて、その後は また仕事をする	結婚・出産にかかわらず、 ずっと仕事をする	女性は仕事を 持たないほうがよい	その他	わからない	無記入	合計
全体人数	8	9	350	245	1	57	52	17	739
全体 (%)	1.1	1.2	47.4	33.2	0.1	7.7	7.0	2.3	100.0
前回 (%)	1.6	3.1	63.6	40.8	1.3	8.8	4.1	3.9	
女性人数	6	6	193	138	0	38	32	12	425
女性 (%)	1.4	1.4	45.4	32.5	0.0	8.9	7.5	2.8	100.0
前回 (%)	1.7	3.9	66.9	42.5	1.1	8.3	2.8	2.7	
男性人数	2	3	157	106	1	17	20	3	309
男性 (%)	0.6	1.0	50.8	34.3	0.3	5.5	6.5	1.0	100.0
前回 (%)	1.4	2.2	59.4	38.4	1.4	9.4	5.8	5.5	
女性 18・19 歳	0	0	7	4	0	0	0	1	12
20 代	1	0	20	7	0	1	5	0	34
30 代	2	2	29	20	0	6	3	0	62
40 代	1	2	31	29	0	10	5	1	79
50 代	1	0	31	28	0	12	7	1	80
60 代	1	1	52	35	0	7	8	2	106
70 代	0	1	16	9	0	2	2	7	37
80 歳以上	0	0	7	6	0	0	2	0	15
男性 18・19 歳	0	0	4	1	0	0	0	0	5
20 代	1	0	15	2	0	0	5	0	23
30 代	0	0	19	13	0	6	4	0	42
40 代	0	0	25	13	1	7	3	0	49
50 代	0	0	33	23	0	1	2	0	59
60 代	0	2	38	34	0	3	4	3	84
70 代	0	1	17	16	0	0	1	0	35
80 歳以上	1	0	6	4	0	0	1	0	12



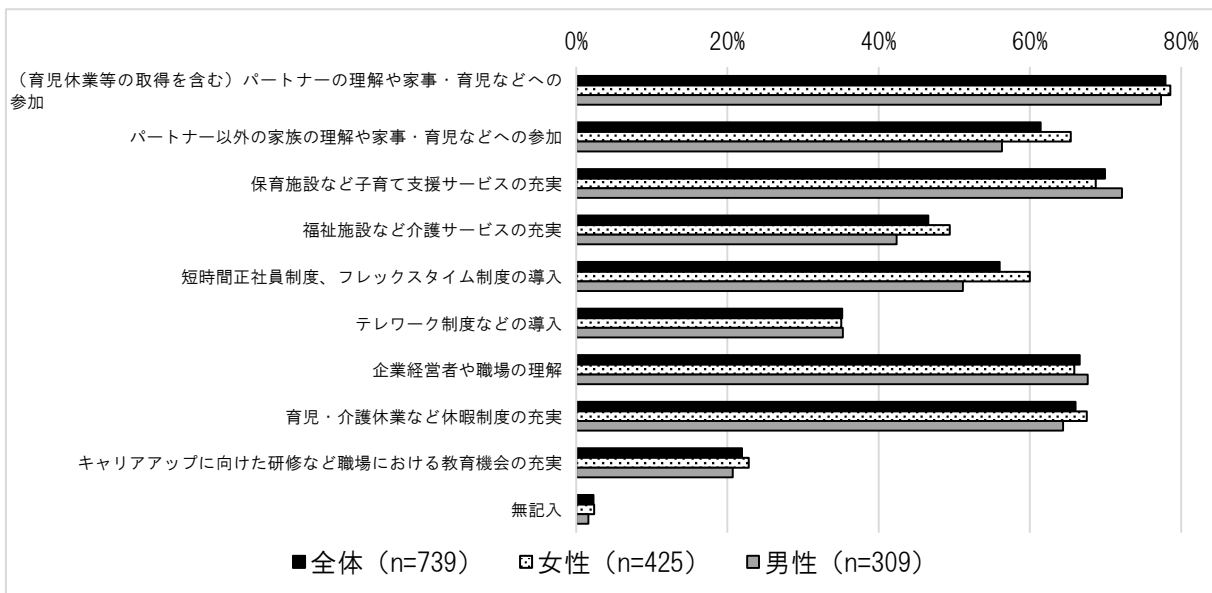
問15「その他」意見

自分がしたいようにすべき。
質問の前提条件が不足している。夫の稼ぎだけで生活が成り立つなら、育児に専念したほうが子どものためであると思う。
個人の希望どおりがよい。型にはめなくてよい。
個人の自由、したい人はすればいいし、したくない人は無理にする必要がなければなくていい。
個人が自由に選択できること。またその選択が尊重されること。
本人の思いでいいと思います。
女性として、ではなく個人の希望で仕事をする。
仕事は続け、必要に応じ休職する。
子育ての状態にあわせて休みが取りやすい職場での仕事。
女性個々人でも働き方についての希望は異なるので、その希望が尊重される環境が望ましい。
こうあらねばならない概念を取り去り柔軟な選択ができるのがよい。
少子高齢化社会の観点から仕事はしないほうが良い。
人それぞれの自由。
出産時は休み、子育ては家族で分担して休みをとる（一方だけが仕事を休まない）。
自分が働きたいように働けば良い。
自分の意志がきちんとやれる環境が良い。
その人の思いに合った環境で認めてもらえる働き方ができるなら仕事を続ける。
自身が決めることであり、まわりがとやかく言うことではない、本人の思うとおりが望ましい。
経済的な部分によっても考え方は変わると思います。後は女性でもスキルを持っている方は社会にどんどん出てもいいし、仕事をやめてもいいし、選択がある事が重要。
ケースバイケースで、女性がどうしたいのか選べるようになる。
各々の夫婦に合った形で良い。
個人の希望が叶う働き方。
べき論ではなく自由にやったらいいと思う。
女性・男性のくくりではなく、個人で選択できることが望ましい。仕事も結婚も性別ではなく個人の意思。男性も主夫になりたい人もいるだろうから。
男女問わず、辞めずに仕事量を控える。
個人の意志を尊重する。
人それぞれ。
夫婦、家族の話し合いで決められるように、家庭家庭で違うと思う。
仕事をしたい人が、やりたい時に仕事につけること。
その時の家族の状況に応じて、ケースバイケース。働いて収入を得たい気持ちはある。
仕事をしたほうが良いが、男性が家のことをしないと意味がない。
個人の自由。
人それぞれだと思う。
本人の希望による。
給料や仕事内容、昇給などの男女差を解消する。
考え方は女性でも色々なので、個々が望む働き方ができるようになることが望ましい。
相談して決めればよい。
同じ女性だとしても人それぞれ考え方は違うので、自らが望む働き方が出来る（選べる）環境が必要だと思う。
自由。
働き方は個人の自由。納税の義務を果たしていればよい。
結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事をしてもいいし、いつ仕事を辞めてもいい。
生き方は人それぞれ。上記の5つの問い自体おかしい。
個人の自由で良いと思う。各家庭で考え方が違うと思う。
各個人、状況で変わって良い。この問い自体、男性のことを（意識）除外したもの。男性にも同じ問いがあってもいい。
個人の自由だと思う。

個々、個々人の考えで行うのが望ましい。
その人がしたいことをすればよい。
本人の意思による働き方をする。
その時々で本人が選択できる環境があればいいと思う。人によって状況・考え方が違うため自由な選択肢が選べるのが理想的。
その本人がしたいようにするのが望ましい。
結婚・出産・仕事に対する個人の価値観による。
家族で話し合って決めればよい。
夫婦間での話し合いによるのではないかと思われる。一概に回答はできない。
結婚・出産するのが前提なのはなぜ？自由では。

問１６ 女性が結婚・出産、育児や介護によって退職をせずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまる数字すべてに○】

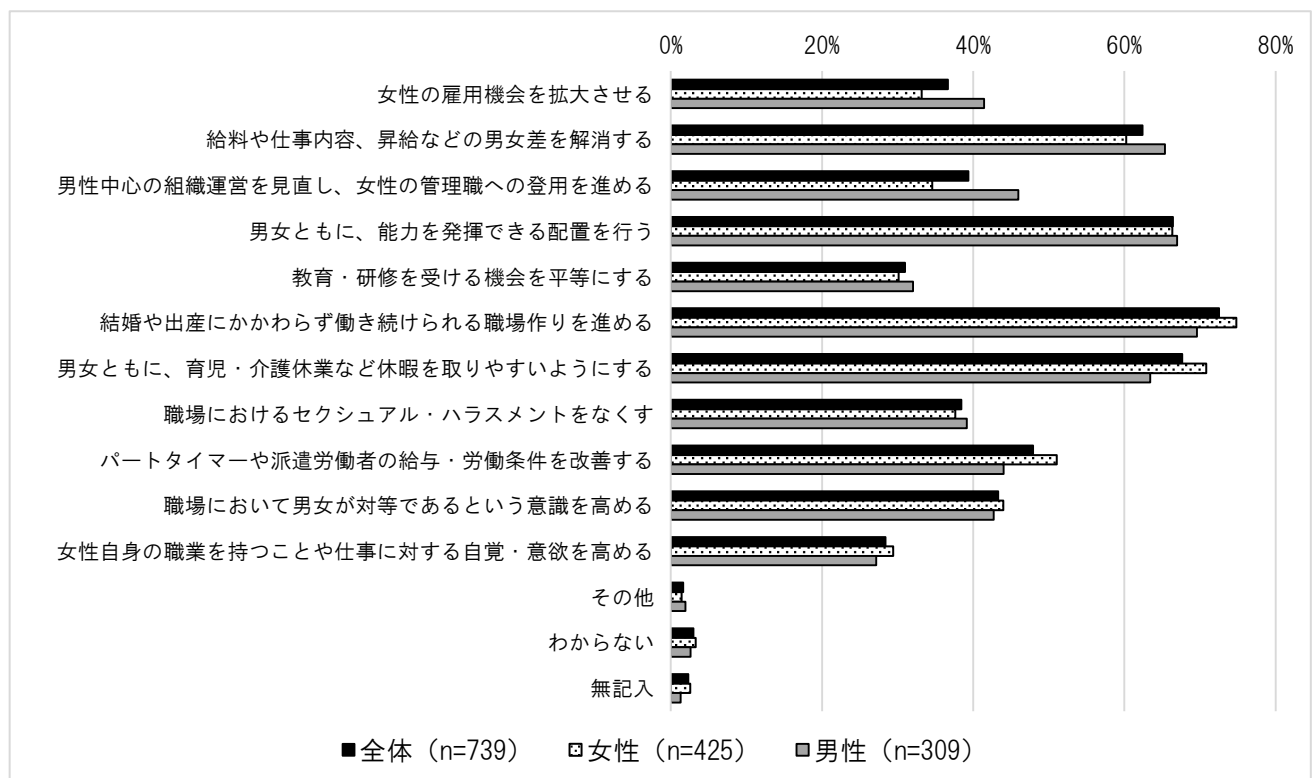
	(育児休業等の取得を含む) パートナーの理解や家事・ 育児などへの参加	パートナー以外の家族の理解や 家事・育児などへの参加	子育て支援サービス等の充実	福祉施設など 介護サービスの充実	短時間正社員制度、 フレックスタイム制度の導入	テレワーク制度などの導入	企業経営者や職場の理解	育児・介護休業など 休暇制度の充実	キャリアアップに向けた 研修など職場における 教育機会の充実	無記入	n
全体人数	576	454	517	344	414	260	492	488	162	17	739
全体 (%)	77.9	61.4	70.0	46.5	56.0	35.2	66.6	66.0	21.9	2.3	
前回 (%)	80.9	62.7	74.7	57.4	49.1	28.7	66.7	66.0	21.3	2.4	
女性人数	334	278	292	210	255	149	280	287	97	10	425
女性 (%)	78.6	65.4	68.7	49.4	60.0	35.1	65.9	67.5	22.8	2.4	
前回 (%)	84.6	68.7	74.2	62.1	50.5	27.5	67.0	69.8	20.9	2.2	
男性人数	239	174	223	131	158	109	209	199	64	5	309
男性 (%)	77.3	56.3	72.2	42.4	51.1	35.3	67.6	64.4	20.7	1.6	
前回 (%)	76.1	54.9	75.4	51.4	47.2	30.3	66.2	61.3	21.8	2.7	
女性 18・19 歳	11	10	10	4	4	4	7	8	3	1	12
20 代	27	20	24	12	26	19	22	26	8	0	34
30 代	44	39	43	28	41	27	43	46	16	0	62
40 代	62	48	51	33	43	21	51	49	12	0	79
50 代	68	52	54	45	51	25	52	52	18	2	80
60 代	88	79	75	59	69	38	76	70	27	1	106
70 代	25	24	27	22	14	12	21	25	9	6	37
80 歳以上	9	6	8	7	7	3	8	11	4	0	15
男性 18・19 歳	4	4	4	1	2	2	3	3	1	0	5
20 代	18	16	14	9	13	6	14	11	3	0	23
30 代	32	31	33	17	26	18	27	33	12	0	42
40 代	45	33	36	18	30	25	39	36	10	0	49
50 代	42	26	43	23	38	22	43	37	13	0	59
60 代	66	44	60	44	37	25	58	53	18	3	84
70 代	25	16	24	16	11	8	20	20	6	1	35
80 歳以上	7	4	9	3	1	3	5	6	1	1	12



問１７ 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【あてはまる数字すべてに○】

	女性の雇用機会を拡大させる	給料や仕事内容、昇給などの男女差を解消する	男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める	男女ともに、能力を発揮できる配置を行う	教育・研修を受ける機会を平等にする	結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場作りを進める	男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする	職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす	パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善する	職場において男女が対等であるという意識を高める	女性自身の職業を持つことや仕事に対する自覚・意欲を高める	その他	わからない	無記入	n
全体人数	271	461	291	491	229	536	500	284	354	320	210	12	22	17	739
全体 (%)	36.7	62.4	39.4	66.4	31.0	72.5	67.7	38.4	47.9	43.3	28.4	1.6	3.0	2.3	
前回 (%)	36.1	63.6	41.4	68.2	34.0	74.1	65.7	31.5	44.8	40.4	31.2	4.0	2.2	2.4	
女性人数	141	256	147	282	128	318	301	160	217	187	125	6	14	11	425
女性 (%)	33.2	60.2	34.6	66.4	30.1	74.8	70.8	37.6	51.1	44.0	29.4	1.4	3.3	2.6	
前回 (%)	33.1	64.1	37.6	71.3	34.8	79.0	71.3	32.6	45.9	42.5	30.4	3.9	1.1	2.7	
男性人数	128	202	142	207	99	215	196	121	136	132	84	6	8	4	309
男性 (%)	41.4	65.4	46.0	67.0	32.0	69.6	63.4	39.2	44.0	42.7	27.2	1.9	2.6	1.3	
前回 (%)	39.9	62.9	46.2	64.3	32.9	67.8	58.7	30.1	43.4	37.8	32.2	4.2	3.5	2.1	
女性 18・19 歳	5	7	5	8	5	10	8	7	2	4	3	0	1	1	12
20 代	13	24	14	23	10	25	30	16	19	19	6	1	1	0	34
30 代	17	40	17	39	15	54	50	29	29	28	13	1	0	1	62
40 代	23	45	24	40	20	56	44	26	34	31	17	2	3	0	79
50 代	23	52	25	60	27	62	54	25	40	32	21	1	3	1	80
60 代	41	64	41	78	34	78	80	42	72	55	43	1	4	1	106
70 代	15	17	14	23	12	23	23	10	14	14	14	0	1	6	37
80 歳以上	4	7	7	11	5	10	12	5	7	4	8	0	1	1	15
男性 18・19 歳	1	2	2	4	2	4	4	3	1	2	0	0	0	0	5
20 代	7	14	11	13	8	16	16	9	8	7	6	1	3	0	23
30 代	16	29	17	30	15	32	27	19	18	15	13	2	0	0	42
40 代	23	33	21	36	12	33	31	23	20	24	17	0	0	0	49
50 代	25	38	30	38	18	41	40	20	25	25	14	3	1	0	59
60 代	32	55	40	50	26	61	52	31	41	36	22	0	2	2	84
70 代	17	23	18	27	13	23	20	14	19	18	9	0	1	2	35
80 歳以上	7	8	3	9	5	5	6	2	4	5	3	0	1	0	12

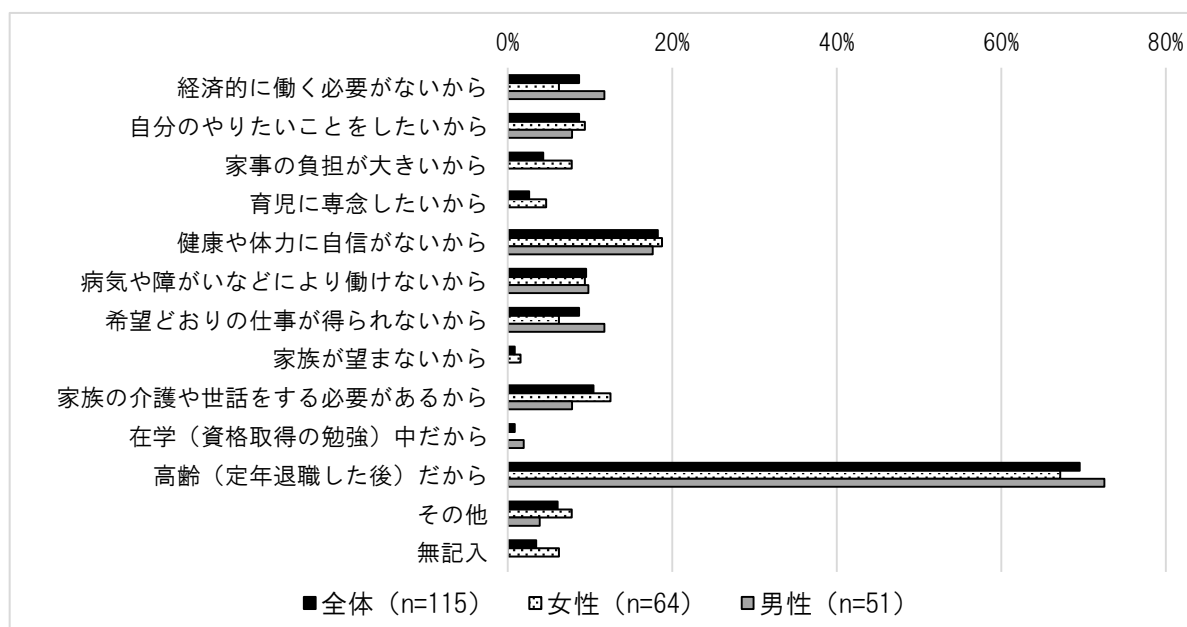


問17 「その他」意見

前提として無理。男女の身体機能が違う以上、対等という言葉は不適切である。
家事負担の軽減。
女性だからこれはできない、難しいという意識を女性側がなおす。
能力に見合った管理職などの登用をしないと、数合わせの女性登用などは色々なところに悪影響が出るので、そういうことをしっかりアドバイスする人も必要。日本企業は右向け右を考えずに実行ばかりするので。
会社役員の教育が必要。
核家族化が進む中、社会からの支援がないと難しい。どちらかが働けなくなり、所得も充分ではない。
女性は十分優遇されている。
家庭（家族）・家事のサポートが必要。
年配の意識改革。
育児を男性が行うことに対する「へんけん」を無くす。

問１８ 現在、**職業をお持ちでない方**におたずねします。あなたが職業をお持ちでないのはどのような理由からですか。【あてはまる数字すべてに○】

	経済的に働く必要がないから	自分のやりたいことをしたいから	家事の負担が大きいから	育児に専念したいから	健康や体力に自信がないから	病気や障がいなどにより働けないから	希望どおりの仕事を得られないから	家族が望まないから	家族の介護や世話をする必要があるから	在学（資格取得の勉強）中だから	高齢（定年退職した後）だから	その他	無記入	n
全体人数	10	10	5	3	21	11	10	1	12	1	80	7	4	115
全体（％）	8.7	8.7	4.3	2.6	18.3	9.6	8.7	0.9	10.4	0.9	69.6	6.1	3.5	
前回（％）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女性人数	4	6	5	3	12	6	4	1	8	0	43	5	4	64
女性（％）	6.3	9.4	7.8	4.7	18.8	9.4	6.3	1.6	12.5	0.0	67.2	7.8	6.3	
前回（％）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男性人数	6	4	0	0	9	5	6	0	4	1	37	2	0	51
男性（％）	11.8	7.8	0.0	0.0	17.6	9.8	11.8	0.0	7.8	2.0	72.5	3.9	0.0	
前回（％）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女性 18・19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3
40代	2	1	0	0	2	2	1	1	1	0	0	0	0	4
50代	1	0	1	0	2	2	0	0	1	0	0	2	0	6
60代	1	4	2	1	5	1	1	0	4	0	20	2	0	24
70代	0	1	0	0	3	1	1	0	2	0	15	0	2	18
80歳以上	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1	9
男性 18・19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
30代	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
40代	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50代	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
60代	3	2	0	0	4	4	2	0	3	0	16	0	0	19
70代	0	1	0	0	3	1	1	0	0	0	15	1	0	17
80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	1	0	8



問１８「その他」意見

会社都合のため休職中。
出産・育休後退職をすすめられた後、希望どおりの仕事を得られないから。
退職した直後。
共働き夫婦の手助けのため保育所の送迎、食事作り等。
国保と社会保険の入れ替えが煩わしいから。

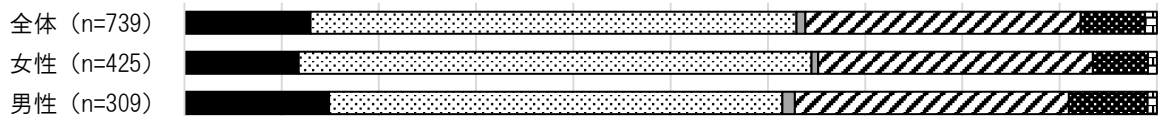
地域・職場・家庭・防災における意識・考え方についての質問です

問１９ 生活における「仕事」「家庭」「地域活動」「個人の生活（学習・趣味・付き合いなど）」の優先度についておたずねします。

問 19-1 「希望」としては何を優先したいですか。【あてはまる数字１つに○】

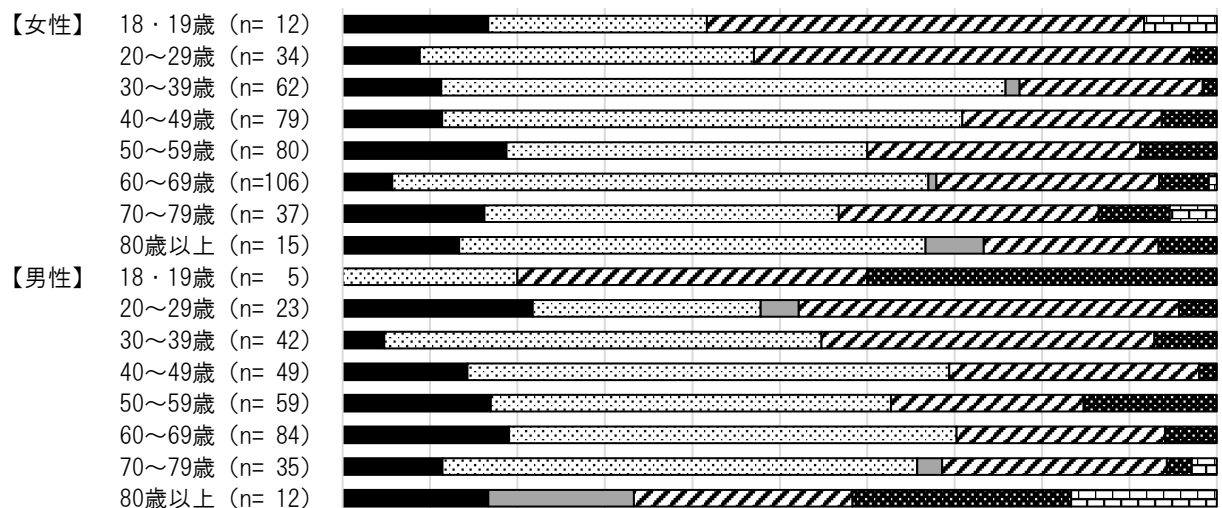
	「仕事」を優先したい	「家庭」を優先したい	「地域活動」を優先したい	「個人の生活（学習・趣味・付き合いなど）」を優先したい	わからない	無記入	合計
全体人数	96	369	7	209	49	9	739
全体（％）	13.0	49.9	0.9	28.3	6.6	1.2	100.0
前回（％）	12.3	50.6	1.2	25.0	7.2	3.6	
女性人数	50	224	3	120	24	4	425
女性（％）	11.8	52.7	0.7	28.2	5.6	0.9	100.0
前回（％）	7.5	58.1	0.0	21.5	8.1	4.8	
男性人数	46	144	4	87	25	3	309
男性（％）	14.9	46.6	1.3	28.2	8.1	1.0	100.0
前回（％）	18.5	41.1	2.7	29.5	6.2	2.1	
女性 18・19 歳	2	3	0	6	0	1	12
20 代	3	13	0	17	1	0	34
30 代	7	40	1	13	1	0	62
40 代	9	47	0	18	5	0	79
50 代	15	33	0	25	7	0	80
60 代	6	65	1	27	6	1	106
70 代	6	15	0	11	3	2	37
80 歳以上	2	8	1	3	1	0	15
男性 18・19 歳	0	1	0	2	2	0	5
20 代	5	6	1	10	1	0	23
30 代	2	21	0	16	3	0	42
40 代	7	27	0	14	1	0	49
50 代	10	27	0	13	9	0	59
60 代	16	43	0	20	5	0	84
70 代	4	19	1	9	1	1	35
80 歳以上	2	0	2	3	3	2	12

〈全体比較〉 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■「仕事」を優先したい
 ■「地域活動」を優先したい
 ■わからない
 □「家庭」を優先したい
 ■「個人の生活（学習・趣味・付き合いなど）」を優先したい
 □無記入

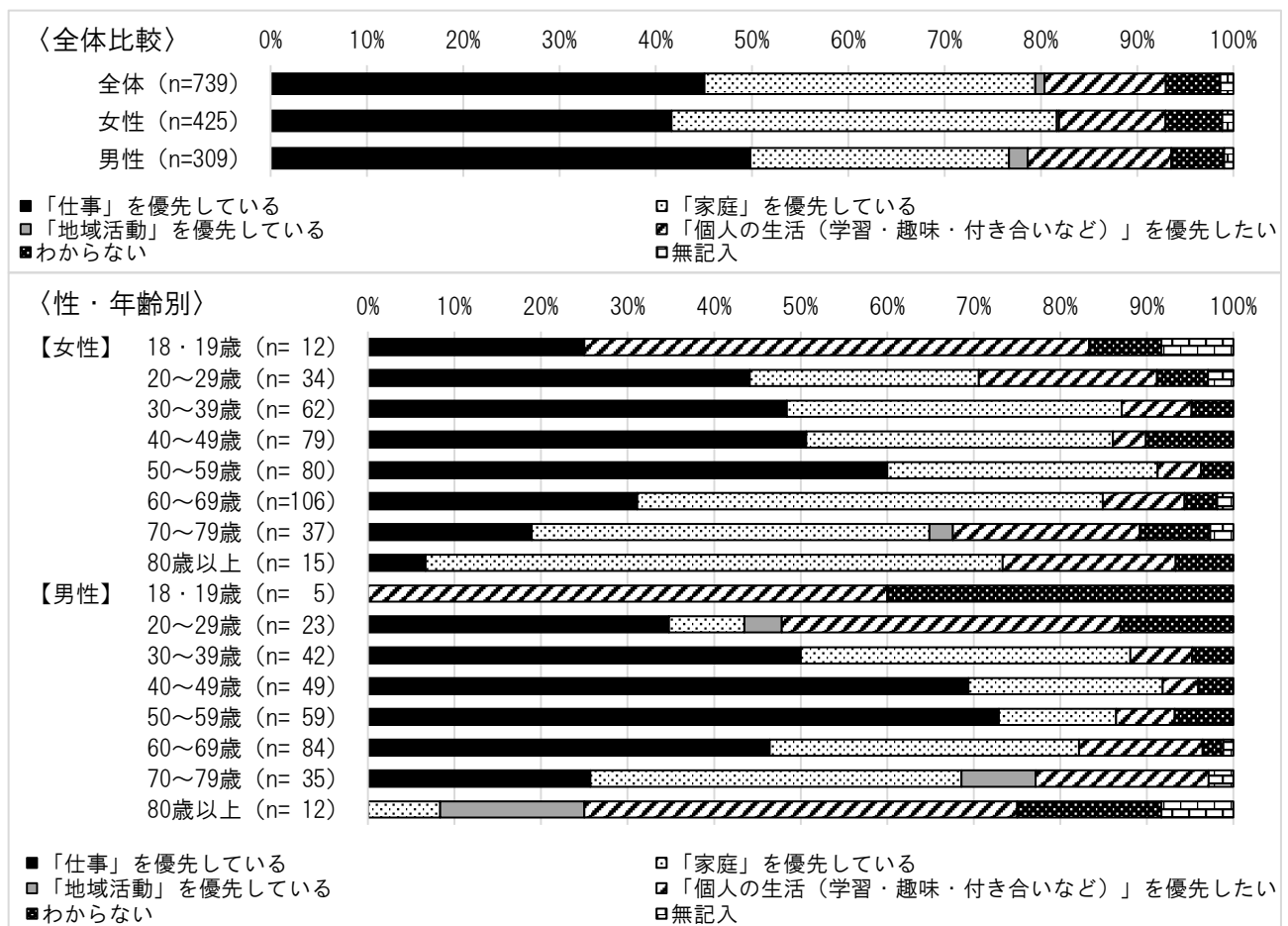
〈性・年齢別〉 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■「仕事」を優先したい
 ■「地域活動」を優先したい
 ■わからない
 □「家庭」を優先したい
 ■「個人の生活（学習・趣味・付き合いなど）」を優先したい
 □無記入

問 19-2 「現実（現状）」では何を優先していますか。【あてはまる数字1つに○】

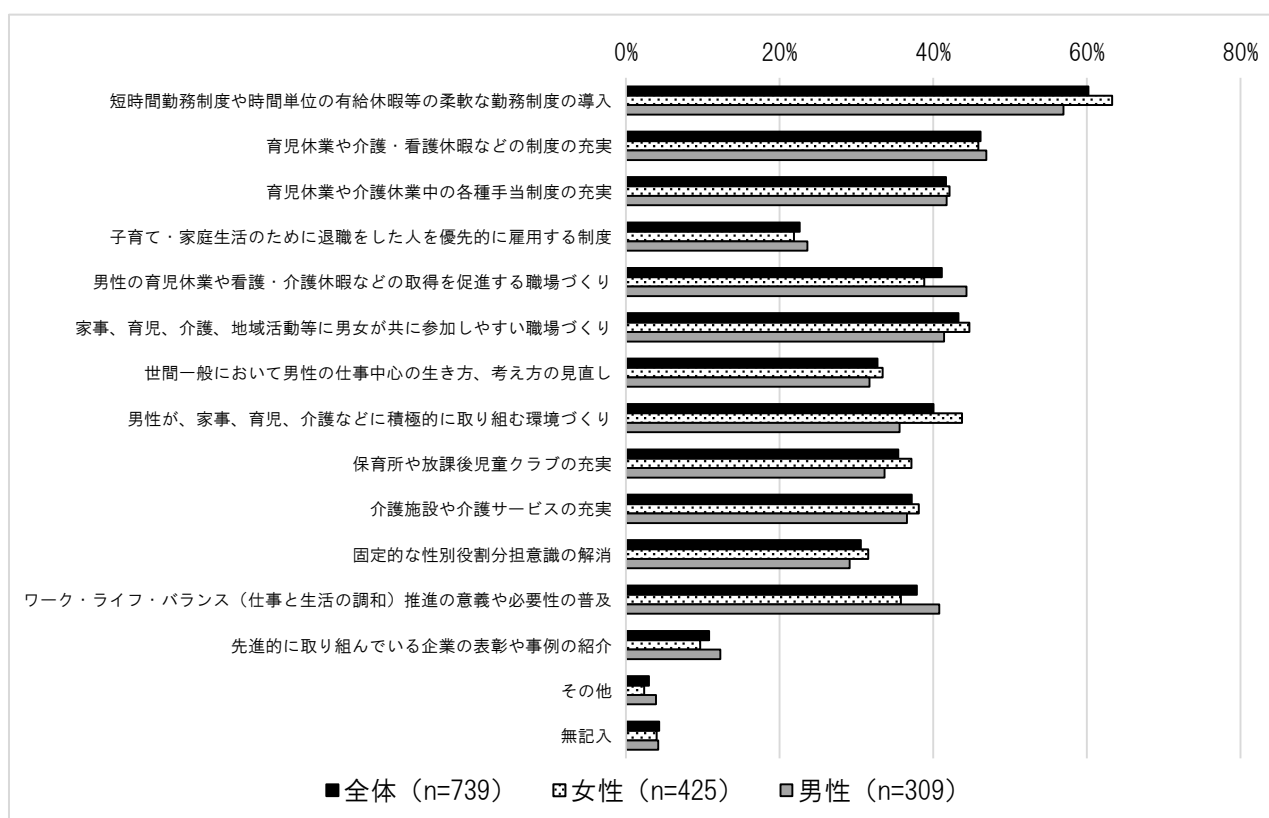
	優先している 「仕事」を	優先している 「家庭」を	優先している 「地域活動」を	「個人の生活 （学習・趣味・付き合い など）」を優先している	わからない	無記入	合計
全体人数	333	254	7	93	42	10	739
全体（％）	45.1	34.4	0.9	12.6	5.7	1.4	100.0
前回（％）	49.7	31.9	2.1	10.2	3.3	2.7	
女性人数	177	170	1	47	25	5	425
女性（％）	41.6	40.0	0.2	11.1	5.9	1.2	100.0
前回（％）	43.0	39.2	1.6	9.7	3.8	2.7	
男性人数	154	83	6	46	17	3	309
男性（％）	49.8	26.9	1.9	14.9	5.5	1.0	100.0
前回（％）	58.2	22.6	2.7	11.0	2.7	2.7	
女性 18・19歳	3	0	0	7	1	1	12
20代	15	9	0	7	2	1	34
30代	30	24	0	5	3	0	62
40代	40	28	0	3	8	0	79
50代	48	25	0	4	3	0	80
60代	33	57	0	10	4	2	106
70代	7	17	1	8	3	1	37
80歳以上	1	10	0	3	1	0	15
男性 18・19歳	0	0	0	3	2	0	5
20代	8	2	1	9	3	0	23
30代	21	16	0	3	2	0	42
40代	34	11	0	2	2	0	49
50代	43	8	0	4	4	0	59
60代	39	30	0	12	2	1	84
70代	9	15	3	7	0	1	35
80歳以上	0	1	2	6	2	1	12



問20 「仕事」「家庭」「地域活動」「個人の生活（学習・趣味・付き合いなど）」の調和のとれた生活をするためには、どのような条件整備が必要だと思いますか。

【あてはまる数字すべてに○】

	短時間勤務制度や時間単位の有給休暇等の柔軟な勤務制度の導入	育児休業や介護・看護休暇などの制度の充実	育児休業や介護休業中の各種手当制度の充実	子育て・家庭生活のために退職をした人を優先的に雇用する制度	男性の育児休業や看護・介護休暇などの取得を促進する職場づくり	家事、育児、介護、地域活動等に男女が共に参加しやすい職場づくり	世間一般において男性の仕事中心の生き方、考え方の見直し	男性が、家事、育児、介護などに積極的に取り組む環境づくり	保育所や放課後児童クラブの充実	介護施設や介護サービスの充実	固定的な性別役割分担意識の解消	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進の意義や必要性の普及	先進的に取り組んでいる企業の表彰や事例の紹介	その他	無記入	n
全体人数	445	341	308	167	304	320	242	296	262	275	226	280	80	22	32	739
全体（％）	60.2	46.1	41.7	22.6	41.1	43.3	32.7	40.1	35.5	37.2	30.6	37.9	10.8	3.0	4.3	
前回（％）	61.1	52.2	44.3	30.1	38.9	44.3	34.8	43.4	38.9	42.7	35.4	35.1	13.6	4.4	4.8	
女性人数	269	195	179	93	165	190	142	186	158	162	134	152	41	10	17	425
女性（％）	63.3	45.9	42.1	21.9	38.8	44.7	33.4	43.8	37.2	38.1	31.5	35.8	9.6	2.4	4.0	
前回（％）	67.4	51.1	46.1	30.3	37.1	45.5	33.1	50.0	42.7	46.1	38.2	34.8	14.0	2.2	4.3	
男性人数	176	145	129	73	137	128	98	110	104	113	90	126	38	12	13	309
男性（％）	57.0	46.9	41.7	23.6	44.3	41.4	31.7	35.6	33.7	36.6	29.1	40.8	12.3	3.9	4.2	
前回（％）	52.9	53.6	42.0	29.7	41.3	42.8	37.0	34.8	34.1	38.4	31.9	35.5	13.0	7.2	5.5	
女性 18・19歳	5	8	6	3	5	5	3	4	5	3	4	5	1	0	1	12
20代	27	22	20	6	18	15	10	20	18	5	10	16	5	1	1	34
30代	45	36	33	20	29	27	21	26	32	15	20	26	5	1	1	62
40代	53	32	29	17	25	31	29	36	24	27	21	25	8	4	1	79
50代	54	35	32	16	26	39	29	35	22	35	34	29	5	1	2	80
60代	63	43	44	19	47	50	39	47	38	49	35	38	13	3	3	106
70代	18	14	12	9	12	16	8	14	15	21	8	9	3	0	4	37
80歳以上	4	5	3	3	3	7	3	4	4	7	2	4	1	0	4	15
男性 18・19歳	2	3	2	2	2	1	1	1	2	1	1	2	0	1	0	5
20代	14	12	13	4	9	9	5	10	5	5	7	9	3	1	1	23
30代	26	21	23	10	19	15	10	11	18	11	10	21	7	4	1	42
40代	33	22	16	11	24	19	21	13	13	10	16	22	5	0	1	49
50代	41	28	26	20	31	35	20	23	25	28	19	29	11	1	0	59
60代	40	36	32	16	31	29	29	31	28	40	25	32	7	4	3	84
70代	15	17	16	8	18	13	11	16	11	15	10	8	4	0	4	35
80歳以上	5	6	1	2	3	7	1	5	2	3	2	3	1	1	3	12



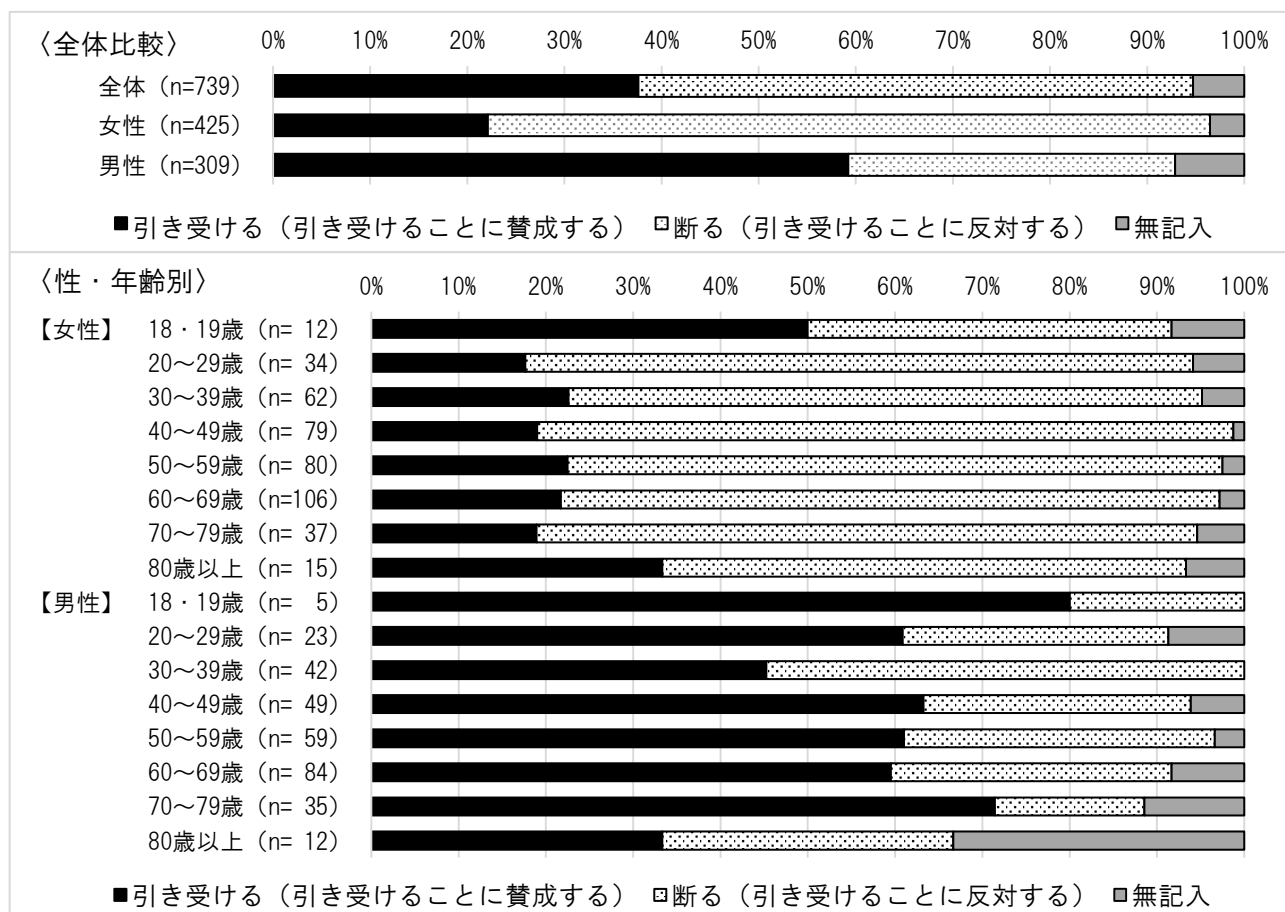
問20 「その他」意見

賃上げ一択。金があっても幸せとは限らない。しかし、金がないのは確実に不幸である。
130万の壁問題。個人で年金を支払うことになれば、更に生活が難しくなる。
経営状況を判断した上での賃金の上昇。
税金を安くする。負担額の落差を。
減税。
生活に困らない程度の収入（お金）。
給与の増額。
何事も直接関わりがないので解答できません。
本人の意識。
雇用主側は時間外勤務に対する対価をきちんと支払うこと。
個人的な差があるから私には難しい。
健康。
在宅勤務、リモートワークの活用、推進。
わからない。
質問が複雑すぎて答えられない。
景気の回復、向上。
わかりません。
年配の考え方（男＝仕事、女＝家庭）の廃止。
育児や介護で休暇を取る際の、職場の人的補償、支援。同僚に迷惑をかけると思うと休みにくい ため。
過疎化地域の地域活動削減。

問 2 1 自治会長や区長、公民館長、PTA会長などの地域の役職について伺います。女性の方は、もしあなたが推薦されたら引き受けますか。男性の方は、妻などの身近な女性が推薦されたとしたら引き受けることに賛成しますか。

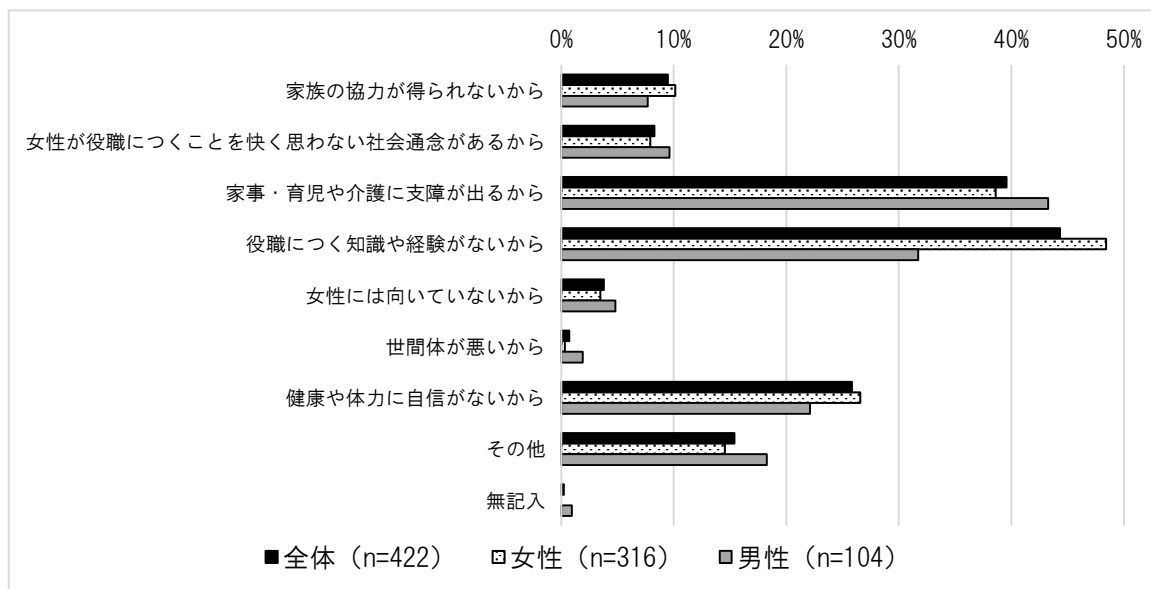
【あてはまる数字1つに○】

	(引き受けることに賛成する)	(引き受けることに反対する)	無記入	合計
全体人数	278	422	39	739
全体 (%)	37.6	57.1	5.3	100.0
前回 (%)	34.3	61.4	4.2	
女性人数	94	316	15	425
女性 (%)	22.1	74.4	3.5	100.0
前回 (%)	17.2	79.6	3.2	
男性人数	183	104	22	309
男性 (%)	59.2	33.7	7.1	100.0
前回 (%)	56.2	38.4	5.5	
女性 18・19 歳	6	5	1	12
20 代	6	26	2	34
30 代	14	45	3	62
40 代	15	63	1	79
50 代	18	60	2	80
60 代	23	80	3	106
70 代	7	28	2	37
80 歳以上	5	9	1	15
男性 18・19 歳	4	1	0	5
20 代	14	7	2	23
30 代	19	23	0	42
40 代	31	15	3	49
50 代	36	21	2	59
60 代	50	27	7	84
70 代	25	6	4	35
80 歳以上	4	4	4	12



問2 2 問2 1で「2 断る（引き受けることに反対する）」を選択された方におたずねします。その理由は何ですか。最も近いものを選んでください。
【あてはまる数字すべてに○】

	家族の協力が得られないから	女性が役職につくことを快く思わない社会通念があるから	家事・育児や介護に支障が出るから	役職につく知識や経験がないから	女性には向いていないから	世間体が悪いから	健康や体力に自信がないから	その他	無記入	n
全体人数	40	35	167	187	16	3	109	65	1	422
全体 (%)	9.5	8.3	39.6	44.3	3.8	0.7	25.8	15.4	0.2	
前回 (%)	16.2	8.8	44.6	44.6	2.0	1.0	-	15.7	0.3	
女性人数	32	25	122	153	11	1	84	46	0	316
女性 (%)	10.1	7.9	38.6	48.4	3.5	0.3	26.6	14.6	0.0	
前回 (%)	14.2	8.8	45.3	50.7	1.4	0.7	-	13.5	0.0	
男性人数	8	10	45	33	5	2	23	19	1	104
男性 (%)	7.7	9.6	43.3	31.7	4.8	1.9	22.1	18.3	1.0	
前回 (%)	21.4	8.9	42.9	28.6	3.6	1.8	-	21.4	0.7	
女性 18・19 歳	0	0	1	4	0	0	3	0	0	5
20 代	1	1	10	16	1	0	7	1	0	26
30 代	2	3	25	17	2	0	7	10	0	45
40 代	10	1	27	34	1	0	11	8	0	63
50 代	8	6	26	29	4	0	14	9	0	60
60 代	7	10	22	38	2	1	23	16	0	80
70 代	2	4	7	12	1	0	16	1	0	28
80 歳以上	2	0	4	3	0	0	3	1	0	9
男性 18・19 歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
20 代	0	1	4	2	0	0	0	1	0	7
30 代	3	2	10	7	0	1	3	6	1	23
40 代	2	1	9	5	0	0	2	3	0	15
50 代	1	1	11	5	1	0	6	3	0	21
60 代	1	2	8	9	4	1	9	3	0	27
70 代	0	1	2	2	0	0	3	1	0	6
80 歳以上	1	1	1	3	0	0	0	2	0	4



問22 「その他」意見

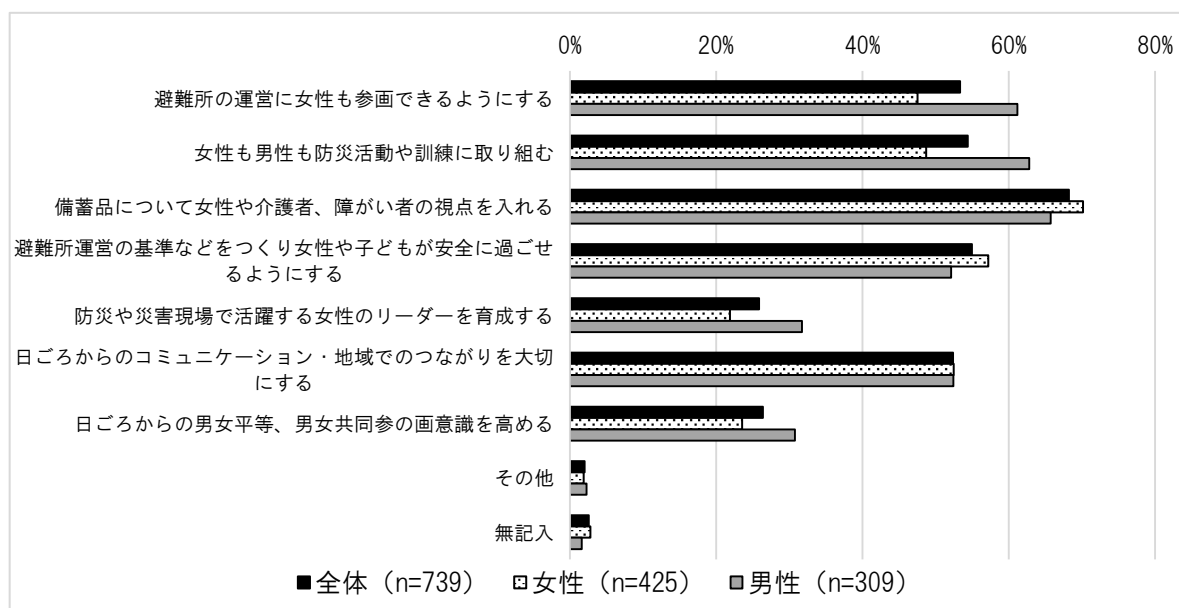
仕事に支障が出るから。
割に合わない。時間を使うため金銭的な報酬があるなら引き受けてもいいと思う。
妻に負担をかけたくないから。それだったら自分がする。
前任者の男性、地域の男性から協力を得ることが困難です。これまで男性のみでやってきたため、女性とのコミュニケーションが図れない人たちのなんと多いことでしょう・・・。
私には向いていないから。
やりたくないから。それ以外にもっとやりたいことがある。
核家族化が進んでいるのに過去と同じことを続けるのは、現状にそぐわない。
勤務とのバランスがとれないから。
小さい子どもがいるので、家庭内だけで忙しいのに、外部の事が入ると、更に忙しくなり、自分の時間も全くない。
本人が希望しないから。
現在両親介護中。
大変だから。
人をまとめて事をやることは自分には無理です。
人前に出ることが精神的に厳しいから。
ただでできればやりたくない。
家事・介護などで休日・夜間に出るのが難しいから。
体調不良。
そういうのがいろんな意味で嫌だから。
地域活動に興味がないので、そもそも引き受けたくない。
男性軍が意見を否定的にとらえ、「誰が言った」と言って犯人探しをする。行政の中にも、その傾向がある。
適正がない。
自ら進んで役をやりたい場合は応援するが、そうでないなら断る（断る意思を尊重する）。
高齢である。
過去に実施済のため。
仕事に支障が出そうだから。
家庭、これから仕事をしていく上で+αの要素は厳しい。
男女とかではなく、自分自身に資質がないと思うから。
前例が無いと不安。
地域の人が協力的でないから。自分のことばかり。人の批判ばかりするから。
仕事を第一優先にしたいため。
男女ということに関わらず、ふさわしい人が引き受けるほうが社会が円滑に回るから。
まず、推される風土ではないので解答できません。皆がやりたい人ばかりなので、助かります。
仕事が忙しいから。
パソコンが使えないから。
仕事との両立が困難なため。
自分の性格上、上に立つのは無理だと思うから。
休日や夜間の訪問、打ち合わせなど忙殺されますよ。可能な方はよいが一般的には負担が大変です。
能力がないから。
役職に関心がないから。
能力的に出来る自信がないから。
地域の役職につくことが嫌いだから。
仕事がいつも遅くまで残業で大変だから。
時間的に余裕がないから。仕事もあり。
自由に移動する手段がありません。
役職につく知識や経験がないまま、いきなりは無理。その準備期間としての下積み（委員的な活動期間）をきちんと設けて知識・経験を積む仕組みをつくるのが大切。

地域活動で休日が潰れる。田舎は畑の草刈り等ただでさえ休みが潰れがち。
時間がない。
ただやりたくない。めんどくさいから。
自分に向いてないから。
大変そうだから。
障害があるので。
自分がまとめ役に向いてないと思うから。
仕事が多忙でできない。
女性特有の悪質な事案が聞かれる事があったから。

問 2 3 近年、大規模災害が全国で発生しています。東日本大震災では災害直後の避難所運営に女性が参加していないことや、日ごろの防災や震災対応に女性の視点が足りないことなどの問題が指摘され、現在、地域防災・災害における男女共同参画推進施策を行っているところで。男女の多様な視点を取り入れて災害に備えるため、これからどのようなことが必要だと思いますか。

【あてはまる数字すべてに○】

	避難所の運営に女性も参画できるようにする	女性も男性も防災活動や訓練に取り組む	備蓄品について女性や介護者、障がい者の視点を入れる	避難所運営の基準などをつくり女性や子どもが安全に過ごせるようにする	防災や災害現場で活躍する女性のリーダーを育成する	日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする	日ごろからの男女平等、男女共同参画意識を高める	その他	無記入	n
全体人数	394	402	504	406	191	387	195	15	19	739
全体 (%)	53.3	54.4	68.2	54.9	25.8	52.4	26.4	2.0	2.6	
前回 (%)	56.0	57.9	62.3	50.9	32.0	58.9	30.1	3.2	4.8	
女性人数	202	207	298	243	93	223	100	8	12	425
女性 (%)	47.5	48.7	70.1	57.2	21.9	52.5	23.5	1.9	2.8	
前回 (%)	52.5	50.3	65.5	53.7	26.0	59.3	25.4	1.7	4.8	
男性人数	189	194	203	161	98	162	95	7	5	309
男性 (%)	61.2	62.8	65.7	52.1	31.7	52.4	30.7	2.3	1.6	
前回調査 (%)	60.4	67.6	58.3	47.5	39.6	58.3	36.0	5.0	4.8	
女性 18・19 歳	5	6	8	6	3	6	4	1	1	12
20 代	17	14	23	19	7	14	7	1	0	34
30 代	23	34	47	41	14	30	15	0	0	62
40 代	34	37	54	45	15	31	16	0	1	79
50 代	45	31	61	52	14	38	15	2	2	80
60 代	54	58	78	56	26	73	31	4	2	106
70 代	18	18	21	16	9	22	8	0	4	37
80 歳以上	6	9	6	8	5	9	4	0	2	15
男性 18・19 歳	2	4	4	2	2	1	1	0	0	5
20 代	13	16	16	14	5	12	5	1	0	23
30 代	26	22	30	26	15	24	12	2	0	42
40 代	28	29	33	27	13	22	12	1	0	49
50 代	41	40	44	35	19	32	24	0	1	59
60 代	46	53	51	39	28	45	26	3	1	84
70 代	25	22	19	15	14	20	10	0	1	35
80 歳以上	8	8	6	3	2	6	5	0	2	12



問 2 3 「その他」意見

災害時の女性の安全確保に男女とも理解が足りていないと感じる（能登に行った人の話を聞いて）。
コロナ以後希薄になった地域コミュニケーションを取り戻す。
動物等（犬、猫）も家族の一員。訓練・活動・避難所取り組みに、入れてほしいです。
わからない。
男女共同参画を国や地方が過度に意識しすぎるところも原因があると思う。
女性消防団・防災士が中心になってほしい。行政の積極的な意識の改革。
見せかけではない助け合いの心さえあれば良いのでは。八頭町にはそれは全くないのですよネ。
女性の性被害があってはならない。そのための対策が必要。
ペットを飼っている人達に避難しやすい環境づくりを！！
女性も力仕事をするべき（汗を流すことへの意識を高めてほしい）。
協力していただける人であるならば男女ではない。
防災訓練など女性の方が多く出席している。
個人レベルの問題。

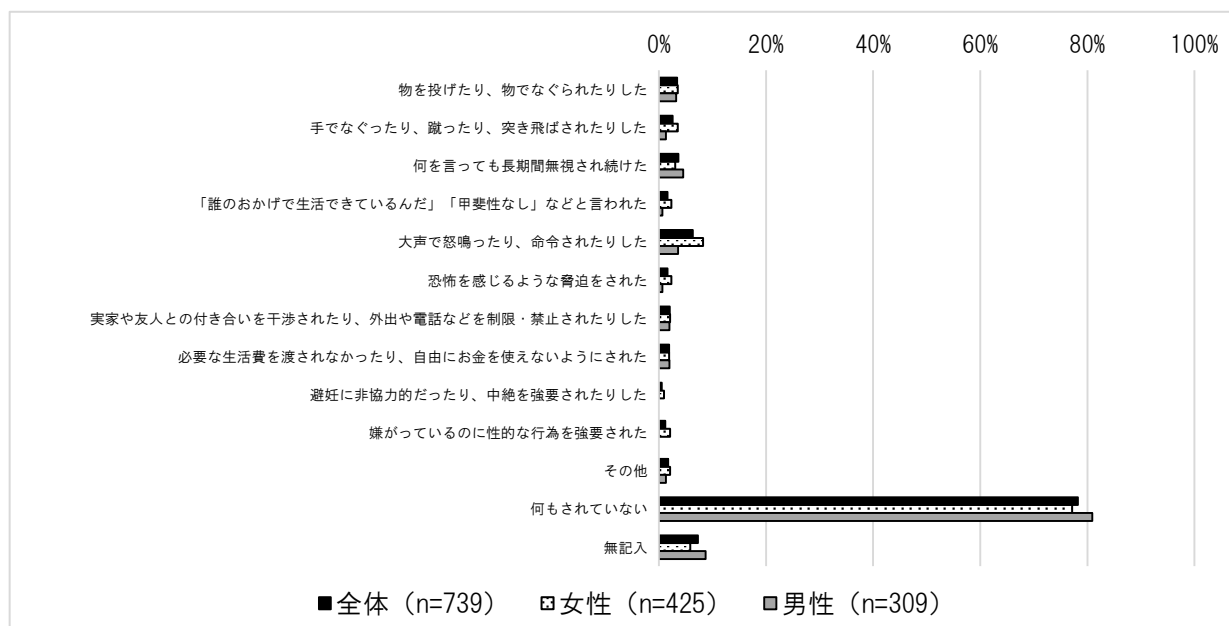
男女間における暴力についての質問です

問 2 4 「ドメスティック・バイオレンス（DV）」についておたずねします。DVは家族間、とりわけ恋人・配偶者・パートナーからの身体的、精神的、性的な暴力をさすものです。あなたは、これまでに（過去5年程度）、恋人・配偶者・パートナーとの間で、次のようなことをされたことがありますか。

【あてはまる数字すべてに○】

※「恋人・配偶者・パートナー」とは、夫、妻、元夫、元妻、同棲相手、恋人、元恋人など、一定期間親密な関係にある（あった）相手をさします。

	物を投げたり、物でなぐられたりした	手でなぐったり、蹴ったり、突き飛ばされたりした	何を言っても長期間無視され続けた	「誰のおかげで生活できているんだ」「甲斐性なし」などと言われた	大声で怒鳴ったり、命令されたりした	恐怖を感じるような脅迫をされた	実家や友人との付き合いを干渉されたり、外出や電話などを制限・禁止されたりした	必要な生活費を渡されなかったり、自由にお金を使えないようにされた	避妊に非協力的だったり、中絶を強要されたりした	性的な行為を強要された	その他	何もされていない	無記入	n
全体人数	25	19	27	12	47	12	15	14	4	9	13	578	54	739
全体 (%)	3.4	2.6	3.7	1.6	6.4	1.6	2.0	1.9	0.5	1.2	1.8	78.2	7.3	
前回 (%)	3.0	3.3	6.0	4.2	5.7	2.4	3.6	2.7	0.6	2.1	1.2	83.7	0.3	
女性人数	15	15	13	10	35	10	9	8	4	9	9	328	25	425
女性 (%)	3.5	3.5	3.1	2.4	8.2	2.4	2.1	1.9	0.9	2.1	2.1	77.2	5.9	
前回 (%)	3.8	5.4	6.5	5.9	8.1	4.3	5.4	3.8	1.1	3.8	1.1	80.1	0.0	
男性人数	10	4	14	2	11	2	6	6	0	0	4	250	27	309
男性 (%)	3.2	1.3	4.5	0.6	3.6	0.6	1.9	1.9	0.0	0.0	1.3	80.9	8.7	
前回 (%)	2.1	0.7	5.5	2.1	2.8	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	88.3	0.7	
女性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	12
20 代	2	2	0	0	2	1	1	0	0	1	0	29	1	34
30 代	2	2	3	3	7	4	0	1	1	2	1	46	2	62
40 代	5	3	2	1	8	4	2	3	3	4	3	57	5	79
50 代	3	4	4	4	8	1	2	3	0	2	0	61	6	80
60 代	3	4	0	1	5	0	3	1	0	0	4	88	3	106
70 代	0	0	3	1	4	0	1	0	0	0	0	26	4	37
80 歳以上	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	10	3	15
男性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
20 代	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	20	2	23
30 代	3	1	4	0	2	2	2	4	0	0	0	31	3	42
40 代	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	46	1	49
50 代	2	1	4	2	2	0	1	1	0	0	0	49	4	59
60 代	4	2	5	0	3	0	1	1	0	0	1	65	9	84
70 代	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	27	6	35
80 歳以上	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	7	2	12

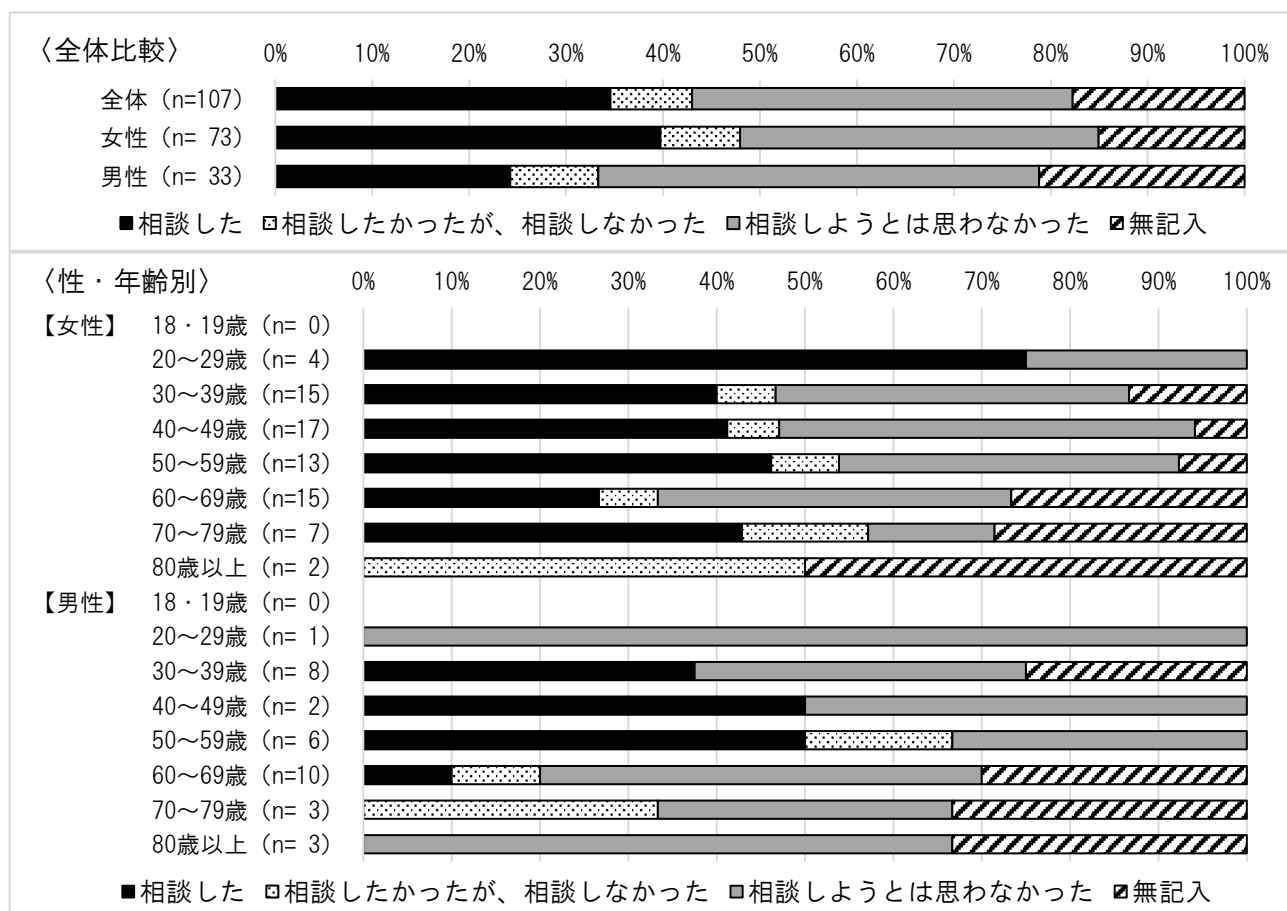


問24 「その他」意見

無言の圧力・家庭の事を当たり前させる。
ぼろくそに言われた。
したことがない。
少しの干渉はありかな？
その様な事をされたら100倍返ししますからやられないでしょう。
生活費はすべて相手がもっている。
そのような事がまったくなかった。
お互いタワイのない話。
理由もなく怒られた。
過去5年以内にない。
言葉の暴力。女だろ。など。
連れ子への精神的虐待。

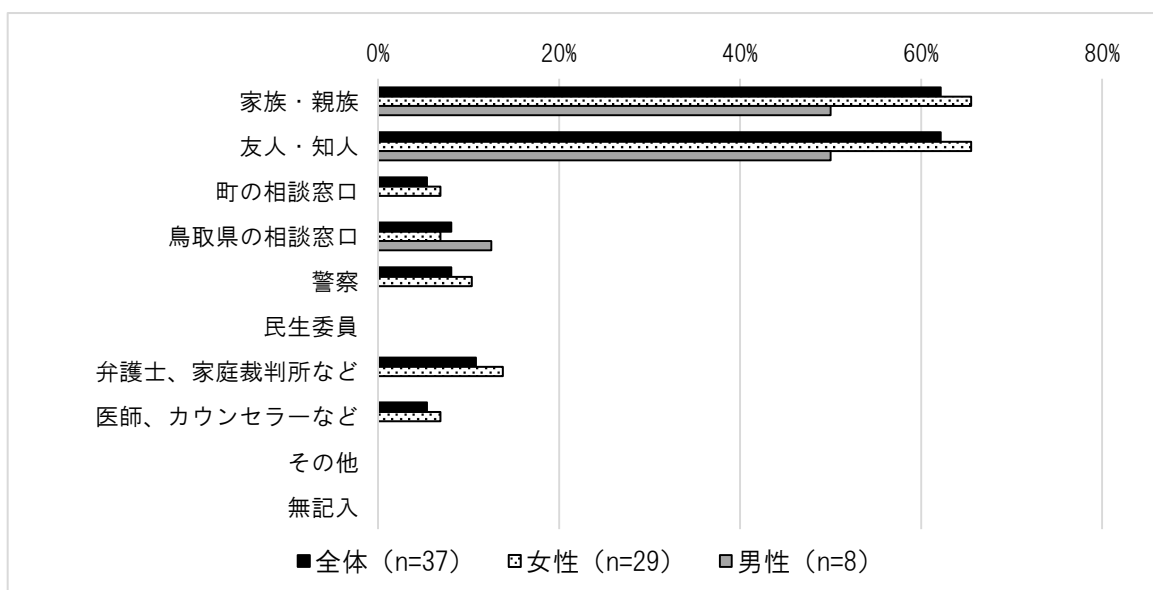
問 2 5 問 2 4 で「1 2 何もされていない」以外を選択された方におたずねします。
 あなたは、問 2 4 であげたような経験をしたことを誰かに相談したり、打ち明けたりしましたか。【あてはまる数字 1 つに○】

	相談した	相談したかったが、 相談しなかった	相談しようとは思わなかった	無記入	合計
全体人数	37	9	42	19	107
全体 (%)	34.6	8.4	39.3	17.8	100.0
前回 (%)	29.1	1.8	58.2	10.9	
女性人数	29	6	27	11	73
女性 (%)	39.7	8.2	37.0	15.1	100.0
前回 (%)	40.5	2.7	56.8	0.0	
男性人数	8	3	15	7	33
男性 (%)	24.2	9.1	45.5	21.2	100.0
前回 (%)	5.6	0.0	61.1	33.3	
女性 18・19 歳	0	0	0	0	0
20 代	3	0	1	0	4
30 代	6	1	6	2	15
40 代	7	1	8	1	17
50 代	6	1	5	1	13
60 代	4	1	6	4	15
70 代	3	1	1	2	7
80 歳以上	0	1	0	1	2
男性 18・19 歳	0	0	0	0	0
20 代	0	0	1	0	1
30 代	3	0	3	2	8
40 代	1	0	1	0	2
50 代	3	1	2	0	6
60 代	1	1	5	3	10
70 代	0	1	1	1	3
80 歳以上	0	0	2	1	3



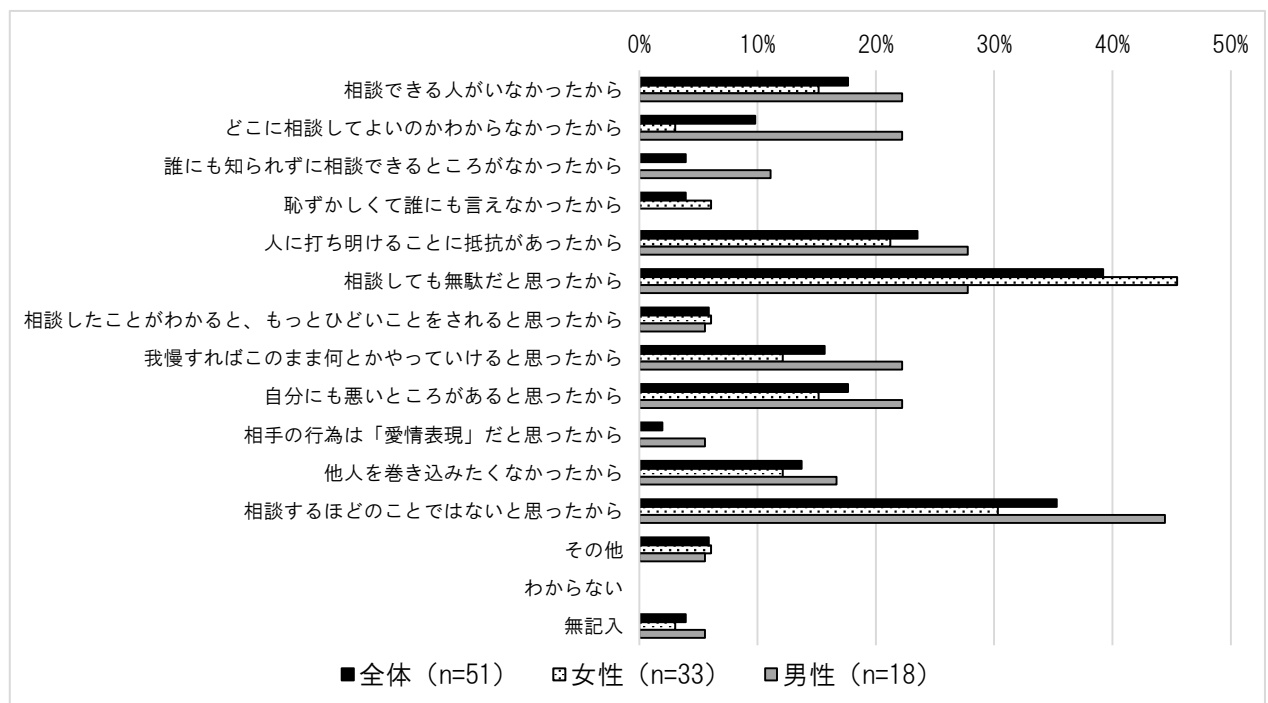
問 2 6 問 2 5 で「1 相談した」を選択された方におたずねします。
あなたが相談した相手はどなたですか。【あてはまる数字すべてに○】

	家族・親族	友人・知人	町の相談窓口	鳥取県の相談窓口	警察	民生委員	弁護士、 家庭裁判所など	カウンセラー、 医師など	その他	無記入	n
全体人数	23	23	2	3	3	0	4	2	0	0	37
全体 (%)	62.2	62.2	5.4	8.1	8.1	0.0	10.8	5.4	0.0	0.0	
前回 (%)	81.3	56.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
女性人数	19	19	2	2	3	0	4	2	0	0	29
女性 (%)	65.5	65.5	6.9	6.9	10.3	0.0	13.8	6.9	0.0	0.0	
前回 (%)	80.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
男性人数	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	8
男性 (%)	50.0	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
前回 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
女性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 代	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
30 代	2	4	1	1	0	0	0	1	0	0	6
40 代	3	6	0	0	2	0	1	0	0	0	7
50 代	6	3	0	0	1	0	3	1	0	0	6
60 代	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
70 代	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	3
80 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 代	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
40 代	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50 代	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
60 代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
70 代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



問27 問25で「1 相談した」以外を選択された方におたずねします。
その理由は次のうちどれですか。【あてはまる数字すべてに○】

	相談できる人が いなかったから	どこに相談してよいのか わからなかったから	誰にも知られずに相談できる ところがなかったから	恥ずかしくて誰にも 言えなかったから	人に打ち明けることに 抵抗があったから	相談しても無駄だと 思ったから	相談したことがわかると、 もっとひどいことをされると 思ったから	我慢すればこのまま何とか やっていけると思ったから	自分にも悪いところ があると思ったから	相手の行為は「愛情表現」 だと思ったから	他人を巻き込みたく なかったから	相談するほどのことでは ないと思ったから	その他	わからない	無記入	n
全体人数	9	5	2	2	12	20	3	8	9	1	7	18	3	0	2	51
全体 (%)	17.6	9.8	3.9	3.9	23.5	39.2	5.9	15.7	17.6	2.0	13.7	35.3	5.9	0.0	3.9	
前回 (%)	6.5	3.2	0.0	19.4	29.0	51.6	3.2	25.8	32.3	9.7	16.1	35.5	3.2	0.0	0.6	
女性人数	5	1	0	2	7	15	2	4	5	0	4	10	2	0	1	33
女性 (%)	15.2	3.0	0.0	6.1	21.2	45.5	6.1	12.1	15.2	0.0	12.1	30.3	6.1	0.0	3.0	
前回 (%)	9.5	4.8	0.0	23.8	38.1	61.9	4.8	33.3	28.6	0.0	14.3	38.1	4.8	0.0	0.5	
男性人数	4	4	2	0	5	5	1	4	4	1	3	8	1	0	1	18
男性 (%)	22.2	22.2	11.1	0.0	27.8	27.8	5.6	22.2	22.2	5.6	16.7	44.4	5.6	0.0	5.6	
前回 (%)	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	0.0	10.0	40.0	30.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.7	
女性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 代	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
30 代	1	0	0	1	2	5	1	1	1	0	1	0	0	0	0	7
40 代	0	0	0	0	3	5	0	0	2	0	2	2	1	0	0	9
50 代	1	0	0	0	1	1	1	2	0	0	1	4	0	0	0	6
60 代	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	2	1	0	1	7
70 代	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2
80 歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
男性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
30 代	1	0	1	0	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3
40 代	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1
50 代	0	1	0	0	1	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	3
60 代	2	2	1	0	1	2	0	0	0	0	1	3	1	0	1	6
70 代	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
80 歳以上	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2



問27 「その他」意見

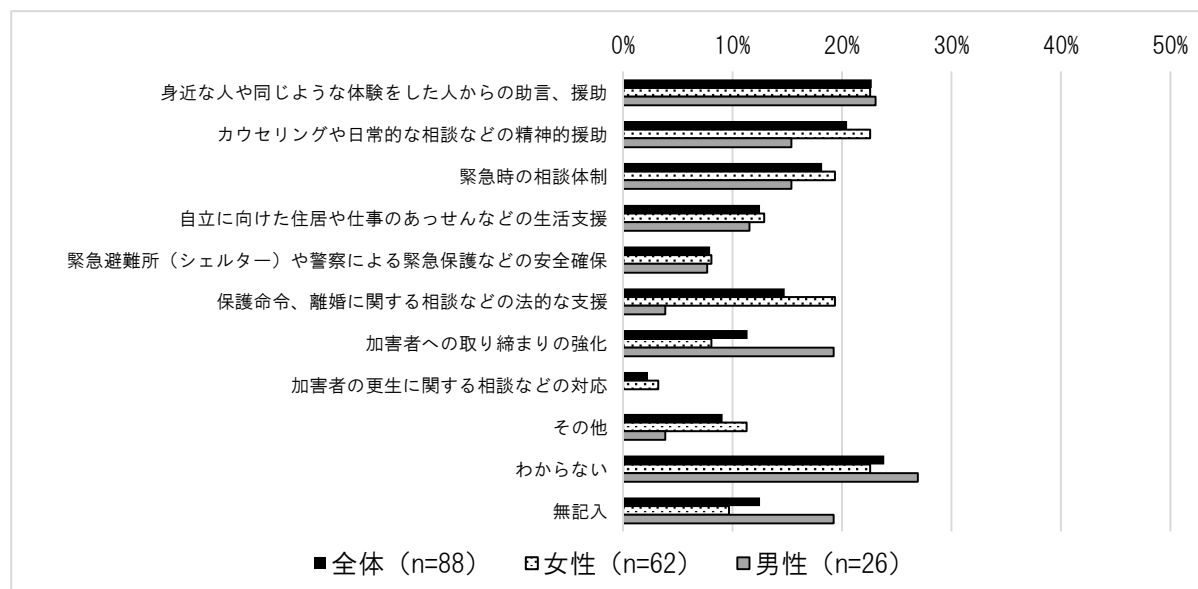
その人が持病があったから。
時間が経てば元に戻るから。
友人などに聞いてもらう。

問 2 8 問 2 6、問 2 7に回答したすべての方におたずねします。

あなたは、そのときどのような助けがあればよいと思いましたか。

【あてはまる数字すべてに○】

	身近な人や同じような体験をした人からの助言、援助	カウンセリングや日常的な相談などの精神的援助	緊急時の相談体制	自立に向けた住居や仕事のあっせんなどの生活支援	緊急避難所（シェルター）や警察による緊急保護などの安全確保	保護命令、離婚に関する相談などの法的な支援	加害者への取締まりの強化	加害者の更生に関する相談などの対応	その他	わからない	無記入	n
全体人数	20	18	16	11	7	13	10	2	8	21	11	88
全体（％）	22.7	20.5	18.2	12.5	8.0	14.8	11.4	2.3	9.1	23.9	12.5	
前回（％）	27.3	25.0	27.3	20.5	9.1	6.8	4.5	6.8	13.6	31.8	3.3	
女性人数	14	14	12	8	5	12	5	2	7	14	6	62
女性（％）	22.6	22.6	19.4	12.9	8.1	19.4	8.1	3.2	11.3	22.6	9.7	
前回（％）	30.3	30.3	33.3	24.2	12.1	9.1	6.1	9.1	15.2	24.2	2.2	
男性人数	6	4	4	3	2	1	5	0	1	7	5	26
男性（％）	23.1	15.4	15.4	11.5	7.7	3.8	19.2	0.0	3.8	26.9	19.2	
前回（％）	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	54.5	4.8	
女性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 代	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	4
30 代	2	3	3	1	1	3	2	1	0	3	0	13
40 代	6	5	2	2	1	2	0	0	3	3	1	16
50 代	3	3	4	2	2	5	2	0	1	2	1	12
60 代	1	1	2	1	1	2	1	0	2	3	3	11
70 代	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	5
80 歳以上	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
男性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 代	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
30 代	1	1	2	2	2	1	4	0	0	1	0	6
40 代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
50 代	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	6
60 代	1	3	2	0	0	0	0	0	0	3	2	7
70 代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
80 歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2



問 2 8 「その他」意見

特に必要ないと思う。

男性への教育の機会を増やす。

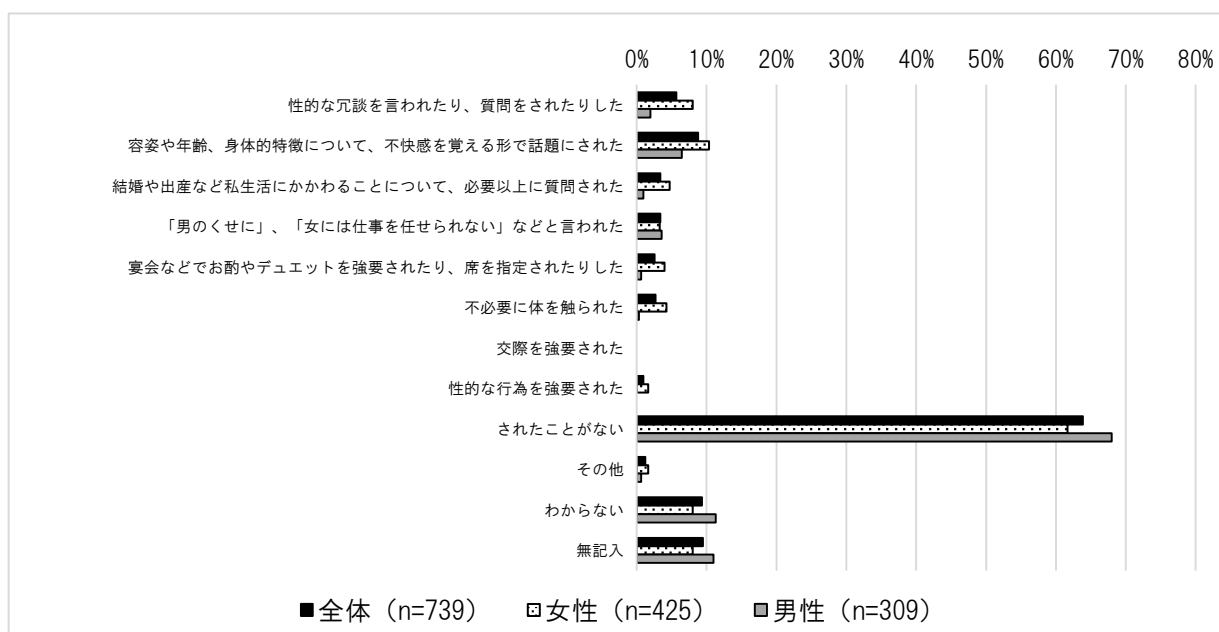
お互いを思いやる心。

その人の性格だと思うので特に支援は必要ないと思った。

現状では身近な人に相談して、何とかしのいでいる。

問 2 9 セクシュアル・ハラスメントとは、性別に関係なく、性的な言動によって相手を不快にさせたり、性的な行為を強要したりすることで、人権問題のひとつです。
あなたは、これまでに（過去5年程度）、次のようなことがありましたか。
【あてはまる数字すべてに○】

	性的な冗談を言われたり、質問をされたりした	容姿や年齢、身体的特徴について、不快感を覚える形で話題にされた	結婚や出産など私生活にかかわることについて、必要以上に質問された	「男のくせに」、「女には仕事を任せられない」などと言われた	宴会などでお酌やデュエットを強要されたり、席を指定されたりした	不必要に体を触られた	交際を強要された	性的な行為を強要された	されたことがない	その他	わからない	無記入	n
全体人数	42	65	25	25	19	20	0	7	472	9	69	70	739
全体 (%)	5.7	8.8	3.4	3.4	2.6	2.7	0.0	0.9	63.9	1.2	9.3	9.5	
前回 (%)	16.2	15.5	5.4	6.1	7.4	7.7	1.3	0.3	65.7	1.3	-	10.5	
女性人数	34	44	20	14	17	18	0	7	262	7	34	34	425
女性 (%)	8.0	10.4	4.7	3.3	4.0	4.2	0.0	1.6	61.6	1.6	8.0	8.0	
前回 (%)	22.8	18.7	6.4	5.8	11.1	11.7	2.3	0.6	56.1	0.6	-	8.1	
男性人数	6	20	3	11	2	1	0	0	210	2	35	34	309
男性 (%)	1.9	6.5	1.0	3.6	0.6	0.3	0.0	0.0	68.0	0.6	11.3	11.0	
前回 (%)	7.1	11.1	4.0	6.3	2.4	2.4	0.0	0.0	78.6	2.4	-	13.7	
女性 18・19 歳	1	0	0	0	1	2	0	0	8	0	1	1	12
20 代	3	4	1	0	0	1	0	0	22	0	4	1	34
30 代	9	13	9	5	6	5	0	3	31	1	4	2	62
40 代	10	10	5	3	4	3	0	2	47	2	7	3	79
50 代	6	7	2	3	4	4	0	1	48	2	7	5	80
60 代	3	9	3	3	2	3	0	0	72	1	7	11	106
70 代	1	1	0	0	0	0	0	0	24	1	2	8	37
80 歳以上	1	0	0	0	0	0	0	1	10	0	2	3	15
男性 18・19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
20 代	1	2	0	0	1	0	0	0	20	0	1	0	23
30 代	2	7	1	5	1	1	0	0	20	0	6	4	42
40 代	1	2	0	1	0	0	0	0	35	0	8	2	49
50 代	2	6	1	3	0	0	0	0	41	0	6	4	59
60 代	0	3	1	2	0	0	0	0	60	1	8	12	84
70 代	0	0	0	0	0	0	0	0	24	1	4	7	35
80 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	5	12



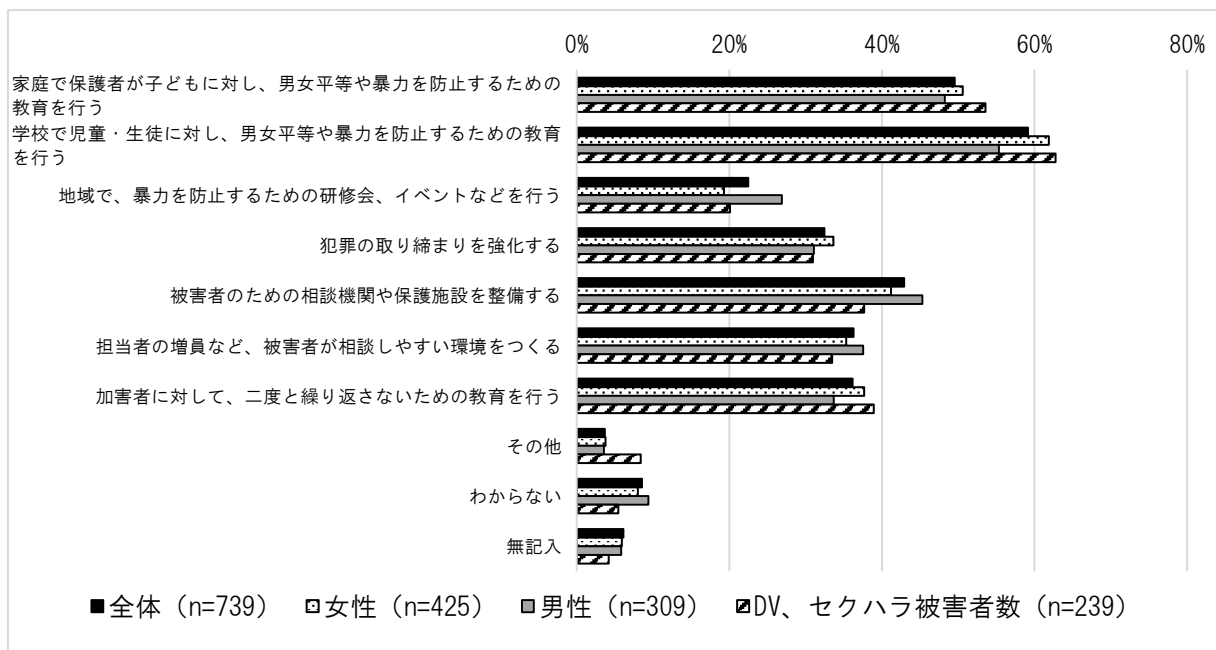
問 29 「その他」意見

子どもを生み育てることを繁殖中と例えられた。
お茶出しを「女性の方がよい」と言われた。
したことがない。
セクハラなどどうでもよい。本人が強くあればよい。パワハラやカスハラの方が遥かに問題ですネ。
5年以上前。
過去5年は老齢のため、なし。
結婚することを選択しないことに対する批判や、結婚したほうがよいという押し付け。
ストーカーに、何十年も嫌がらせをされている。

問30 DV、セクシュアル・ハラスメントなどをなくすために何が重要であると思いますか。

【あてはまる数字すべてに○】

	家庭で保護者が子どもに対し、男女平等や暴力を防止するための教育を行う	学校で児童・生徒に対し、男女平等や暴力を防止するための教育を行う	地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	犯罪の取締まりを強化する	被害者のための相談機関や保護施設を整備する	担当者の増員など、被害者が相談しやすい環境をつくる	加害者に対して、二度と繰り返さないための教育を行う	その他	わからない	無記入	n
全体人数	366	437	166	240	317	268	267	27	63	45	739
全体 (%)	49.5	59.1	22.5	32.5	42.9	36.3	36.1	3.7	8.5	6.1	
前回 (%)	51.1	61.6	21.5	31.9	46.3	36.2	35.5	3.9	8.1	7.5	
女性人数	215	263	82	143	175	150	160	16	34	25	425
女性 (%)	50.6	61.9	19.3	33.6	41.2	35.3	37.6	3.8	8.0	5.9	
前回 (%)	52.3	62.6	20.1	32.2	50.6	35.1	34.5	3.4	5.7	6.5	
男性人数	149	171	83	96	140	116	104	11	29	18	309
男性 (%)	48.2	55.3	26.9	31.1	45.3	37.5	33.7	3.6	9.4	5.8	
前回 (%)	49.6	60.2	23.3	31.6	40.6	37.6	36.8	4.5	11.3	8.9	
DV、セクハラ被害者数	128	150	48	74	90	80	93	20	13	10	239
DV、セクハラ被害者 (%)	53.6	62.8	20.1	31.0	37.7	33.5	38.9	8.4	5.4	4.2	
前回 (%)	50.8	62.1	20.5	0.0	37.9	30.3	33.3	3.8	6.8	4.3	
女性 18・19歳	5	7	1	8	4	5	4	0	0	1	12
20代	18	23	6	19	13	15	14	0	3	0	34
30代	36	40	14	29	28	21	29	4	6	0	62
40代	35	49	10	28	24	21	26	3	10	2	79
50代	41	51	20	22	37	27	31	3	4	4	80
60代	53	63	23	26	53	45	39	6	6	9	106
70代	21	23	6	5	12	13	11	0	1	8	37
80歳以上	6	7	2	6	4	3	6	0	4	1	15
男性 18・19歳	3	4	2	2	1	3	3	0	1	0	5
20代	9	12	4	14	13	9	9	0	0	0	23
30代	15	19	8	21	17	14	19	5	4	3	42
40代	23	28	13	16	25	23	20	1	2	1	49
50代	29	30	15	17	26	24	20	1	8	2	59
60代	45	51	24	19	41	28	23	4	6	5	84
70代	18	20	13	5	16	13	9	0	6	4	35
80歳以上	7	7	4	2	1	2	1	0	2	3	12



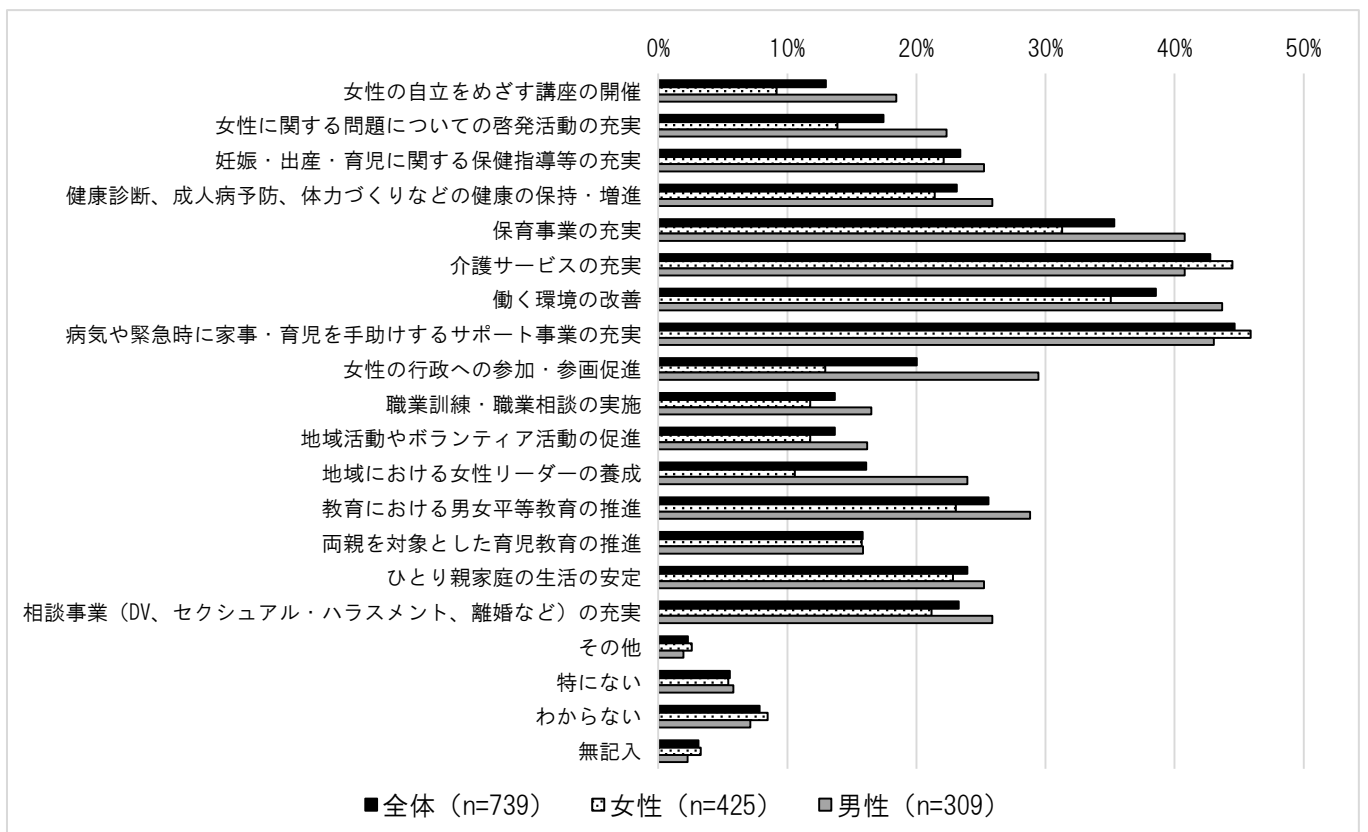
問30 「その他」意見

各コミュニティで適切に処罰されるべき。ひどいものは法で裁かれるべき。
ハラスメントは相互間の信頼関係でその有無が決定する。信頼関係の構築方法について教育する。
職場で研修。
町報等を活用して、DV・セクハラの実例を定期的に周知する。
企業での教育、研修（特に年齢が上の世代に対して）。
ストーカーなど、加害者の行動がエスカレートする場合は、強制的に加害者を隔離する。
罰則を厳しくする。場合によっては親の同意なく子ども保護する権限を児相と警察に持たせる。通報窓口の周知。
被害者のための心のケアをする体制を作る。
自分の命を守るために、DVとは何か、セクシュアル・ハラスメントは何か等、子どもに教育することで、善悪が理解できれば改善するのではないかな？ 家庭の愛情。
加害者に地域のコミュニティに参加させる。
他県に逃げたり等引っ越し費用の助成をする。
小さい時から、自分の体のプライベートゾーンの大切さの教育、性教育、同意なしの性的行為を強要してはいけないことや妊娠の仕組み（過程）を学ぶことができるようにする。
看護師・保健師などの専門家の指導により、保育所の年長？～中学生まで性教育を行う。正しい知識（身体の機能なども含め）を教育する。昔のような男女別での教育では、正しい知識を得ることはできない。
冗談半分で言っている、やっている人に重要さを意識させる。
セクハラだと認識していない中年男性に意識を高める機会を増やす。無意識なセクハラ発言をするのは上司の男性など、言いづらい立場の人が多いため。
加害者に対して、二度と繰り返さないための教育を行うことが最も重要だと思います。いじめと同じ。100%加害者が悪い。
被害者が被害に遭っていることを認知・不快に思っているという認識は、間違っていないと教える。
これらは重大な犯罪であるという事を知らしめる。なかった事にはさせない。しない。
厳しく罰せられる法律をつくる。
道徳の大切さを教える。
子供は教育かもしれないけど、大人の場合は教育ではなく心の病気としてカウンセリングが必要だと思う！！
円満な人間関係を築ける人格教育が必要では。
加害者にGPSを取り付けて被害者が位置情報を確認できるようにしてほしい。
目安箱を設置し、改善に努める。
法をもっと厳罰化（日本はゆるすぎる）、すぐに釈放されて同じ事をしている。
当事者は全くわかっていないので、そこが問題である。管理者などの研修をすすめるべき。

今後の課題と取り組みについての質問です

問3 1 男女共同参画社会を実現していくために、今後、八頭町はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。【あてはまる数字すべてに○】

	女性の自立をめざす講座の開催	女性に関する問題についての啓発活動の充実	妊娠・出産・育児に関する保健指導等の充実	健康診断、成人病予防、体力づくりなどの健康の保持・増進	保育事業の充実	介護サービスの充実	働く環境の改善	病気や緊急時に家事・育児を手助けするサポート事業の充実	女性の行政への参加・参画促進	職業訓練・職業相談の実施	地域活動やボランティア活動の促進	地域における女性リーダーの養成	教育における男女平等教育の推進	両親を対象とした育児教育の推進	ひとり親家庭の生活の安定	相談事業（DV、セクシュアル・ハラスメント、離婚など）の充実	その他	特にない	わからない	無記入	n
全体人数	96	129	173	171	261	316	285	330	148	101	101	119	189	117	177	172	17	41	58	23	739
全体（％）	13.0	17.5	23.4	23.1	35.3	42.8	38.6	44.7	20.0	13.7	13.7	16.1	25.6	15.8	24.0	23.3	2.3	5.5	7.8	3.1	
前回（％）	15.3	20.4	22.4	21.1	32.3	-	50.5	47.9	25.2	17.9	17.6	19.5	30.4	19.2	28.1	29.1	3.2	6.4	6.7	5.7	
女性人数	39	59	94	91	133	189	149	195	55	50	50	45	98	67	97	90	11	23	36	14	425
女性（％）	9.2	13.9	22.1	21.4	31.3	44.5	35.1	45.9	12.9	11.8	11.8	10.6	23.1	15.8	22.8	21.2	2.6	5.4	8.5	3.3	
前回（％）	10.1	15.2	21.3	23.0	28.7	-	51.1	52.8	19.7	19.1	15.2	14.0	28.7	18.5	28.1	30.9	2.8	6.2	7.3	4.3	
男性人数	57	69	78	80	126	126	135	133	91	51	50	74	89	49	78	80	6	18	22	7	309
男性（％）	18.4	22.3	25.2	25.9	40.8	40.8	43.7	43.0	29.4	16.5	16.2	23.9	28.8	15.9	25.2	25.9	1.9	5.8	7.1	2.3	
前回（％）	22.2	27.4	23.7	18.5	37.0	-	49.6	41.5	32.6	16.3	20.7	26.7	32.6	20.0	28.1	26.7	3.7	6.7	5.9	7.5	
女性 18・19 歳	1	1	7	4	5	6	4	4	2	1	3	3	3	2	4	3	1	0	2	1	12
20 代	3	5	12	12	12	14	17	17	5	8	6	3	10	9	10	6	0	0	4	0	34
30 代	4	6	23	14	34	22	29	27	6	8	7	5	14	11	18	12	0	3	6	1	62
40 代	8	8	17	13	17	28	20	41	5	7	6	8	13	14	13	12	2	6	9	2	79
50 代	7	11	8	15	23	44	28	32	10	8	8	7	18	12	15	17	4	5	1	1	80
60 代	12	23	21	17	31	53	37	51	18	15	15	15	33	18	25	33	3	4	10	5	106
70 代	4	2	4	10	9	17	11	17	6	3	4	2	4	1	9	5	1	3	3	3	37
80 歳以上	0	3	2	6	2	5	3	6	3	0	1	2	3	0	3	2	0	2	1	1	15
男性 18・19 歳	1	2	3	2	2	3	1	3	2	0	1	1	1	1	1	0	0	0	2	0	5
20 代	4	4	5	7	8	6	8	6	5	7	4	2	8	6	5	7	0	1	3	0	23
30 代	8	7	13	13	23	12	24	22	9	10	4	5	11	6	8	11	1	3	3	1	42
40 代	8	7	12	5	21	16	24	22	17	7	4	9	11	5	13	18	1	3	1	1	49
50 代	11	17	16	14	25	27	27	26	16	13	12	17	18	10	20	14	2	4	3	0	59
60 代	14	21	18	23	33	38	31	33	24	10	14	22	24	14	19	20	2	3	5	2	84
70 代	10	8	9	13	11	18	15	16	15	4	9	15	13	6	9	7	0	3	3	2	35
80 歳以上	1	3	2	3	3	6	5	5	3	0	2	3	3	1	3	3	0	1	2	1	12



問31 「その他」意見

子どもに対しての補助金の導入。子どもの経験に使えるなら、お金でなくてもチケットなどでもいい。
男性向けの講習。
認識が変わらなければ負担は変わらない。
相談事業は迅速に被害者を救助するところまでをセットにする。
こちらに書かれている事は何となく、身近に感じません。
病気や緊急時だけでなく、家事・育児を手助けするサポート事業が充実していれば母親の負担が軽減されるのではないかと、母親が元気であることが家庭円満につながるのでは？（精神的・経済的に安定して）。
男性の料理教室（料理ができない男性がいる）。
小中学校での教育を充実させる。
地域で子育てをする風土の復活。
小児科医等（病院）の数を増やす。
DV、育児困難等のサポートを行う人の育成。
家庭、地域における男女平等意識。
介護サービスの充実。相談したくてもなかなか相談できない人もたくさんいるはず。
男性に男女共同参画社会を実現するための研修を実施し、男女共同参画が推進されるよう意識改革を推進する。
田舎特有の環境が根付いていて、住みやすいようで住みにくいように思うので、そのあたりを考えてもらい働きやすい環境を作ってもらいたい。
男性への教育の推進。

◎最後に、町の男女共同参画施策について、ご意見ご要望がありましたらご自由にお書きください。

なかなか難しい問題です。個々によく考えていくしかないのではないのでしょうか。
町内の中で、男性が育休をとられた経験談とかを話してもらおうなどして、男性が育休をとって、どんなに子育てに役に立ったか等を啓発してほしい。 まずは八頭町からでも、せめて産後休暇を1ヶ月でも男性も同時にとることをどんどん奨励して休暇をとることを当たり前にしてほしい。その間の給料を補償するとかして、赤ちゃんを育てることがどんなに大変なことか、男性にも感じてほしい。 女性が色々与实际問題困っていること等をフリーで言える場がもっとあれば、いいのかも。
私自身は母子家庭世帯で働きながら子育てをしています。職場は男女平等でやる気と能力があれば昇級もでき、育児・介護に理解あり。また八頭町は子どもに関する制度も充実しており特に、困ることなく生活できています。しかしながら、世の中には男女差別で悩んでいたりと、金銭的に厳しい家庭の方、困っているが声を上げられない、制度を知らずに活用できていない方もいらっしゃると思います。そういった方が適切な支援が受けられるように環境を整備し、八頭町をより良い町にしていだけたらと思います。
男女共同とあるが、女性の社会参加を推進し始めて、明らかに人口の減少が見られている。これは人口統計と時代背景を照らし合わせれば分かることであり、仕事を持つことで、女性が男性を頼らなくても生きていけるようになり、結果、結婚しなくてもよくなった背景がある。女性の社会進出や人権尊重は、当然されるべき事柄であり、素晴らしい事だが、それによって人口減少や高齢化、生産性の低下により、日本自体の衰退が目に見えている以上、地方自治体の生き残り方法を考えてもらいたい。男女共同参画施策でどこまで出来るか分からないが、出生率向上と都市部への若年者流出防止、結婚施策、子どもの教育に対する出資などを期待する。
書店やコンビニに不適切な本を置くのを止めてほしい。家庭が変わらなければ地域も変わらない。まず男性の意識が変わらなければ何も進まない。家事・育児・介護などを女性に丸投げしている状態で、さらに女性が地域やPTAのトップに就くことは、男女共同参画ではないと思う。
田舎の地域コミュニティは、依然として男性が役割を果たしています。少子化で人材が少なくなる中、区長をはじめ各種役員はほとんど男性です。でも、班長会などで出席されるのは、女性が多く無責任な質問に笑ってしまうことが多々あります。もっと、地域の問題を理解して協力できるように、女性にも役員をしていただきたいのですが実際は難しいのが現状です。私の偏見かもしれませんが、最近の男性はゴミ出し、買い物、掃除、洗濯、草刈、水路掃除など、以前は女性がやっていたことをほとんど、こなされている方が多いようです。若い女性に関しても同様で、外見を綺麗に見せることに熱心で、個人的に魅力がない女性が多くなっているように感じます。（当然、そんな男性や女性ばかりではありませんが、年齢のせい気になってしまうことが多々あります。）

アンケートの設問に疑問に思う内容が多くあった。男女の性別差を問題にする以前に個人が尊重されることが大切だと思う。女性でも男性でも経済的に自立している人もいれば、女性でも男性でも家事が好きな人もいる。問14の子育てについての設問は何について聞かれているのかよくわからなかった。仕事をすることも家事をすることも、個人の志向や選択の自由だと思うし、それを尊重できるような子どもに育てたいと思う。 固定的な性別役割分担意識の存在や男女差別につながる偏った考え方は、教育で変えていくしかないと思う。
働く世代への支援には力を入れたほうがいいと思います。 システムエンジニア、プログラマー、UI/UXデザイナー、WEBデザイナーなど、IT業界で活躍できる人材育成の機会を作るなど給料面を考えてもこういった職業に興味を持つ女性は多いかと思っています。 また、企業側もこういった人が働きたいと思うような職場改善、待遇改善などをしたほうがいいかと思っています。
男女共同参画は、本当の意味での男女平等。施策で女性何割とかという考え方はやめてほしい。女性で能力がなくても役職に就く。これが本当に平等なのか疑問。
引き続き、家庭支援と地域社会の意識改革の推進をお願いします。
この度のアンケートありがとうございました。私は、高齢のため現在のいろんな言葉もわかりにくくて、思うようにできませんでした。どうぞ、これから先、男女がともに輝くまちづくりを目指してくださいませ。
農業林業など地域特有の産業における男女共同参画の政策の立案。 少子高齢化の進む地域における子育て支援と就業支援に関する施策。 男女共同参画センターの活動について、効果の測定と検証を行ってほしいと思います。
「男女共同参画」という言葉を使い、何かと男女平等で女性の地位向上を主張する団体がいらっしゃるように思います。確かに過去の歴史をみると、女性だからといって理不尽な扱いを受けていた事例があることは事実です。しかし、女性だからやらなくてよいという風潮で、男性から見ると女性が優遇されると感じる場合もありますが、そこに関しては改革を主張されません。本当の男女平等を訴えるならば、都合の悪いことも含めて平等な社会を推進していく必要があると思いますが、そのような主張は誰もしていません。どうしても性別によるできる、できないが存在するため、何もかもを男女平等な社会にすることは実質不可能だと思います。個人が認知する性別を尊重し、社会全体が求めている役割をそれぞれが担い、補い合える形になることが求められると思います。
日本人女性はあまりにも控えめで色々な事に消極的なところがある。最近は少し良くなったとは思いますがまだまだ積極的に行動をしていないと思う。 ただ、男女の体力的な部分等、最初から違うというのも事実として受け止めていかなければいけない。なのでお互いに理解し合い、そしてできる事を互いに考え協力し合う世の中になればいい。
国が男女共同参画を推進しているので、八頭町もしているだろうが、最近は、中小企業でも男女の給料差はないし、男女格差は感じません。パートなら女性優先採用したり、トイレ掃除がある同じ仕事でも力仕事が多いほうに男性に回って貰ったり、そんなに男性が優遇されているとは思わない。 すでに活躍したい女性は、公務員でもキャリアになったり、上場企業でも社長や役員になったり、活躍している。 最近は、女性を幹部や社長や大臣にしたほうがいいという風潮になっているが、人数は男のほうが多いので能力で決めるべきだ。 活躍する女性はすでに活躍しているし、活躍したくない女性の人権も守るべき。子どもを産めよ、社会奉仕作業せよ、働けよ、って言うのは、女性を酷使する鬼のような政策に感じる。八頭は婦人会や町内会が強制なので、若い女性が、嫁に来ない。市内にマンションや家を建てる。若い女性が忙しくすると少子化になると思う。
”イケメン”はいいけど”イクメン”という単語がイヤだ。母はして当たり前なのに？父がしたら、褒められる？おかしいでしょ・・・。
このような内容でアンケートが行われていることをもっと周知するべきと思う。 鳥取県は女性職員の管理職登用など男女共同参画には積極的先進的とのこと。八頭町の現状がどうなっているか知りたい。
子どもの発熱などで急にお迎えに行かなければならない時など、職場の他の職員に仕事のしわ寄せがいくことが問題となるので、その分の手当てなどがあると良いなと思った。子どもや親が病気の時、子どもの世話を頼めるサービスがあると助かります。
社会活動に女性が参加できても、家庭での負担が同じなら、より苦しいだけ。何でも平等が正しいかという、そうは言いきれない部分もあり女性と男性の良いところも持ちつつ男女共同参画であればいいと思う。
女性自体がリーダー的地位に就く事を避けている。もっと女性が積極的になるべき。 村役等全て避けている現状が大きい。

八頭町の男女共同参画の状態について、具体的な問題点が見えているのか。 また、具体的な目標は見えているのか。 それを明確にしないと迷走して、お金と時間を浪費することになると思う。
町内において三世代同居を解消する施策を推進する。これをしない限り人口減少は止まらないし、男女共同参画は無理。
男性（父親）が家事・育児をがんばっているとイクメンと褒められるが、女性（母親）が同じことをしても当然のこととして扱われる。子どもの頃からみんなで協力して子育てをする（母親だけががんばらなくていい）意識づくりを学校教育や家庭教育、社会全体で作っていったら母親の育児負担が少しでも減るのではと感じています。男性だから、女性だから「～すべき」という固定的な役割にとらわれず、一人ひとりの能力や意思が尊重される社会になると誰もが生きやすくなると思います。
国の長、代議士、自治体の長などに、しっかりと男女共同参画施策について、自覚をもってほしい。まず、国の制度を改革しなければならないと思います。
自分の能力を活かしたり伸ばしたりしたいと思っても、家族のこと＝女性がメインで行うという考えが当たり前になっていて、男性のように自由に時間が使えない。男性は何でも決定権があり自分で決めて動いていいなと思う。（夫婦の場合）妻は「～していいか？」「この日は大丈夫か？」など夫の確認や許可がいるのに、夫は妻の都合に関係なく予定が決められる。それは女性が家庭の事をしているから。（我が家の場合ですが、こういう話をよく聞きます。）女性（男性）なのだからという考えがなくなるといいと思います。
私は基本的には男と女は身体も心も全く違う「生き物」だと思っています。どんなに努力しても男性には出産できないし、母性と父性は違います。何もかも「平等」でひとくくりにしてしまう社会はおかしいと思います。体力的に無理なことは男性に任せて（甘えて）女性ができることだけやって仕事の分担をすればいいのではないのでしょうか。
充実、改善、促進とかはわかるのですが、実際は何をどうされたいのかの事柄が上から目線に感じます。声を上げる場をもう少し考えられては。
町の組織でも副町長は女性を参画するべきでは（町長でもよいですがまずは副町長）。
施設に行って研修を受けるのはハードルが高かったり、時間が取りづらかったりという点があると思います。正直、めんどろという意見もあったり。（人によっては）それぞれのスマホなどで気軽に、短時間で見れる啓発、教育の動画を発信する。若い世代は以前に比べたらそれぞれがY o u T u b e や T i k T o k など男女共同参画的な内容の価値観の教養は自然と得られている気がします。
設問に恣意的なものを感じたため、途中で回答をやめました。
男女共同参画も大事だが、男女という理念を取り除いて個人個人の考え方で、できることを尊重するという新しい考え方も取り入れたほうがよいと思う。 町や役所などは新しいことを自分たちで考えてやることはあまりしないと思うので、国や県に言われたことをそのままやるだけの印象なので期待はしていない。
地域の役員など男性がやって当たり前のようになっており、逆に男性は大変だなと思ったりする。 女性だから楽という部分もなくはない。 子どもや孫には、女の子でも自立してほしいと思う。男でも女でも強く、優しく、しなやかに生きてほしい。
八頭町の男女共同参画施策について理解していません。今まで一生懸命働いていて情報をあまり収集していないのが現状です。すみません。
若い世代の意見をきいて子育て世代の人々が住み続けたいと思える八頭町にしてください。
男性の意見優先的な議会運営の改善。町長の判断で決定する行政方針の改善。たらいまわしに担当し、部署の職員の無責任。
以前も別のアンケートに答えたことがありますが、このアンケートが役に立っているのなら嬉しいですが、形式だけのものであればやめてほしいです。以前、意見した事が全く反映されていないように思います。
いずれ変わっていくことと思われるが、固有の性のメリットや必要性。 社会的に変えられない現状では無理をしないほうが良い。 半世紀以上かけていくようなテーマであると思う。 八頭町男女共同参画センターの活動内容、活動実績等が、よくわからない。（お世話になっていると思いますが）
八頭町発展のためありがとうございます。今後とも、より一層八頭町のため宜しくお願いします。 老いた私には何もできませんが、子ども、孫の時代が良き時になりますように！！

職場で男性の育児休業を取得している社員に対して、社長や総務などから陰であてにならない、信用できないなどの声が聞こえる。そんな中、本当に育児休業を取得していいのか不安がある人がいる。職場の教育、経営者の教育がかなり必要。男性の育児休業はまだまだ大きな壁がある。
男女共同参画社会の推進で併せて考えられなければならないのは子ども達の問題です。将来を担う子ども達の心が満たされ、大切にされている事が実感できてこそその皆にとっての住みやすい社会だと考えています。そのためには大きな問題と矛盾も感じています。
様々な講座や研修を計画し取り組んでおられると感じます。男女共同参画に限ったことではありませんが、参加者に偏りがあり、いつも同じような方々で、広がりが無いと思います。役員（団体）も同様。誰が役を受けてもできるような、行政のサポートや各種団体の会員の支え合いが必要ではないかと思います。1人の100歩より100人の1歩。せめて50人の1歩くらい進むとよいのかな・・・と感じています。
八頭郡の自然を活用した共同参画の取り組み。農地、山村を利用した産業をもっと増やし、老若男女を参加させるような企画ができないでしょうか。（介護サービスの車ばかり走っているのが目立ちます。） 毎年の村の総会等、各戸から1人出ることで（なっているらしい）、ほとんど男性が出られます。可能ならば（子どもがまだ小さい等は仕方ありませんが）、2人ずつ（できれば男性でも女性でも）出ることを推奨してはどうだろうかと思えます。書類は1戸1部で良い。わりあい、地域の事が出ないかと分らないので。
「かがやき」が男女・年齢を問わず、誰でも自由に出入りでき、居場所となる施設になればと思います。敷居が高く、静か過ぎ気軽に立ち入ることが出来ない雰囲気を感じています。
身体的に妊娠・出産はできないため、休養が必要になる。この時期に仕事ができなくなりすべて女性が負担する。核家族で孤独に休む間もなく育児をし、夫は今の時代一馬力で生活できるほどの収入がない。これでどの部分で共同参画のことを考えられるのか。子どもを持つことでここまで生きていくことが苦しくなるとは思わなかった。
女性は弱い、地位が低いなんて時代ではない。 男性でも女性でも本人しだいではないか。 自身が働く会社でも管理職はすべて男性。 それはただ単に管理職になりたい、もしくはその実力のある女性がいらないだけ。
このアンケートもそうですが、「女性が」「女性の」「女性に」と、「女性」を強調することに違和感をもつようになった。
この施策は町単位で取り組むより国レベルの啓発が大切だと思う。 町単位では最小限の事業にしてほしい。 当て職が参加するだけの講演会やイベントは結局、男女共同参画推進に関係しないことが多いのではないでほしい。
八頭町の中学生の制服のポスターに、男子のスカート姿がなかったのが残念でした。
八頭町の人口が増えないと、若者が何をするにもなかなか進まないのでは。
三世代同居家庭の祖父母世代への意識啓発。
法律が変わっても、人の意識が変わらないと何の意味もない。自分は配偶者が「前例がない」「忙しいから休みづらい」と仕事を休めなかったので、新婚旅行に行けず、育児休暇も取れなかったので産後とても辛かった。子どもを育てる負担が大きすぎてきょうだいは作らないと決めた。
弱い立場の女性への手助けは重要です。色々な制度もあり、離婚しても生活可能な社会になりつつあると実感します。その反面、都合の良いようになっていることも多いかと。平等と言うからには、女だからと、男の人に仕事を押しつけているように見える時もあり。友達と集まれば夫や上司のことをボロカスに言ってストレス発散する姿もあり。女は、と言ってる男の人と同じでしょ。男女平等、真の意味で、うまくすすんだ社会になればと思います。一人ひとり思いやりのある行動が求められるでしょうね。
基本は男女の区別をしないで平等に扱う。
男女平等に仕事と簡単に言いますが、実際には男じゃないとできない力仕事があります。やはり力では負けます。そういうことも考えてほしいです。どうしても女が子育て、家事をするようになります。働いていてもです。女でも仕事がしたいです。でも、子どもの世話もしたいです。仕事を優先して夫に子育て、家事を任せたくても、やはり男の方のほうが給料が高いので、何も言えません。難しい事だと思います。男女平等は、できることもありますが・・・。大変ですががんばってください。若い人たちが平等で生活できるように・・・。
詳しく把握しておりません。申し訳ありません。
ヨーロッパ、アメリカなど外国のやり方を取り入れ、時には教わることも大切だ。
いつでも病院で診察できる環境を作ってほしい。お医者さんの人数も限られていますがお願いしたいです。 感染症の関係で急な発熱の場合も予約でないと診察してもらえない時が多々あったため。
検診、福祉サービス等お世話になりました。市と比べても充実していると感じています。引き続きよろしくお願いします。

病児保育の環境が整うことを希望します。私自身はもう小さい子はいませんが、同僚は市内まで病児保育で預け出勤したりしています（この家庭は基本的に母親が子の病気の対応をしています）。妻・夫、どちらが仕事を休みやすいかは、各家庭ごとに異なると思いますが、子育ての負担が軽くなるような取り組みを行ってほしいです。
「旦那さんが協力的ですてきですね。」とよく聞くと、その反対はない。育児は女性がするものだという考えが軽くなれば良いと思う。
子育て世帯への行政からの取り組み、支援が十分ではない。生活を圧迫している住居費などの支援を行ってほしい。
問9の選択肢に「女性の能力開発の機会を設ける」、「女性があらゆる分野の活動に積極的に参画する」とあることがすでに女性は劣っている、女性を下に見ているという表れだと思う。能力開発しなくても能力のある人はたくさんいるし、活動への積極的な参画を求めるならまずその環境を整えるべきだと思います。女性だけが色々取り組んだ所で全く意味がないと思います。男女関係なくまずは意識改革が必要なのではないでしょうか。
主に年寄りの差別が多いので、年寄りに教育の機会を設ける。
経験を豊かにすることが第一だと思います。
町として、様々なサポート・事業をしているかと思いますが、情報弱者には届いていない。例え、スマホ・PCを持っていたとしても困りごとを検索しない、仕方がわからない、そういう人を救済できることを考えてほしい。困っていると思っていない、言えない人に〇〇な支援を受ければ、もっと生きやすくなるよ等の周知の仕方を考えてほしい。
よくわかりませんが、何か、昭和の時代のアンケートのように感じました。（失礼）
70才以上の男女は、男女差別を感じて実感して生きてきました。 その中で上手に自分をおさえて今まで暮らしてきました。 体力ではかなわないけど、知識と忍耐力はついてきました。 問12の家庭の仕事をほとんど女性がしている状況では、結婚・出産しない日本も仕方ないな、と思います。
介護はなかなか男の人が面倒を見るのが難しく、どうしても女の人に負担がかかってしまい、実際重度でなければ施設にも入れないという高いハードルがあります。高齢の女の人（介護する人）にも安心して介護サービスの提供を受けれる情報を提供して、安心して、今後の人生を送ってもらえるようなシステムをもっといろいろ教えてもらえると有り難いです。
男性にお茶くみ、女性に肉体労働 できない理由ではないが無理がある L G B Tを含め平等を目指すならできる事とできない事を わきまえた上で
なんでも男女共同ということには少しギモンを感じる。
男、女をことさら言うことに違和感を覚えます。かつてあった家庭の安らぎはどこに求めたらよいのでしょうか。みんなが社会進出、活躍の場がある。大いに結構。子どもが学校から帰ったときに迎えてくれる人がいることの安堵感は、子どもの明日への大きな活力剤だと思うのですが・・・。学校→学童保育、大切です。でも子どもは一日中小さな社会の中で疲れを重ねています。将来を担う子どもの心をもっと考えませんか。
私は妻にいつも感謝しています。食事・洗濯その他諸々弁当なども。 家内が明るく楽しく過ごせるように私は妻の申し出には反対しません。 ずっと仲良く過ごしたいと願っています。
放送での伝達が主流のため、外出しにくいようなところがある。（仕事をしていると帰宅が遅かったり、放送のある時間帯にスピーカーの部屋に居ないといけないので、過ごしにくい所がある。） 回覧板のみにする等の方法は難しいのか？！スピーカーで聞き取りにくいことも多いので、後でTEL確認することもあり二度手間なところもある。 町内で女性部みたいな女性だけの集まりがあり誘われるが、入会しないとイケない雰囲気になっていて嫌。やめてほしい。
男だから、女だからでなく、言いたい事は言う、でよいはずだ。
県や国の機関に勤務していると体制が整っているので、過剰な程の子の看護休暇や介護休暇が職員にはありますが、一般企業で同じように休むと居づらいのが現状です。時短勤務、子の看護休暇、臨時休校による休みが重なると半分以上出勤していない等あるので、配属を部署ごとに年齢層に分ける等人事にも気を配ってほしい。
都合のよいときだけ女性として扱うべきとの考えは改めてほしい。力の弱い男性もいれば外仕事が好き女性もいるだろう。給与の格差というが、役職や地位に見合った働き方をしなければ誰からの理解もないだろう。女性の立場を改善するなら仕事もきちんとしろ。

以前の問題があります。村がなくなりそうです。人口が少なくて高齢です。畑は荒れて他の人と会うこともこの夏少なくなりました。スーパーを早く再開店してほしいです。行政の方をお願いします。子どもの声が聞こえるようがんばる必要があります。また、山間地の住民への手当がいると思います。移住を促進しないと八頭町は税金を払う人がいなくなりそうです。
もっと子どもにいい暮らしができるようにしてほしいのと、子どもの支援金を増やしてほしいです。
がんばってください。
知らない言葉があり勉強になりました。私はひとり親で自分の親も少し離れた所（八頭町外）に住んでいるので、学校の役員や町内の役員・行事など免除してほしい。1人で働いて家事をして今は手いっぱいです。両親そろっている家庭が率先してやってほしい。全く協力したくないという意味ではありませんが、大人が1人の家と2人以上の家とは違うと思う。
不登校の子どもを抱えて一緒に過ごせる職場・環境が町内にあれば助かる人はいっぱいいると思います。
どこまでめんどくさがらず踏み込めるかだと思う。男性女性関わらず子育て・親の介護等の憂いを少なくする活動をしてほしい。
子育て世代の支援をし、安心して働ける環境整備に力を入れるべき。
ここ数年（5年以内）で3回目のアンケートです。協力はしますがちょっと多くないですか。抽出方法が毎回同じではないでしょうか。
このアンケートのように、地域の方々の意見を聞いたり取り入れることは、とても良いことだと思います。
女性が活躍できるように家族・地域・行政のサポートや理解が促進できるといいと思います。
男女共同参画といっても男性でないと女性でないとわからないことも。
同じ環境にある人との接点、ふれあいなどの集まり。
ひとり親に対して厳しすぎる。実家に住んでいて手当がもらえず、家も出れず、生活しづらい。相手がいると母子手当がもらえないのもおかしいと思う。相手がいるから助けてもらえるわけではない。その人にも生活がある。男女共同ではないかもしれないが生活しにくい。
地域で集まって講座を開催したり意見を交わすのは大切だと思うが、なかなか出席できないのが現状である。近頃、小・中学生があいさつをしなくなったと思うのですが、地域での生活や子ども会の活動が行われているのでしょうか。地域の活動とは、そこから始まるのではないのでしょうか。
何かあれば受け入れる事のできる体制の整った施策にしてもらいたい。いろんな角度で見れば、大変問題が多いが、今回のアンケートで見られる問題から考えていてもらいたい。偏見が多く見られる事も見聞きします。